

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
鈴木康夫	班長	厚生労働科学研究費補助金「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度第2回班会議	東京	2020年1月23-24日
鈴木康夫	潰瘍性大腸炎の新治療時代	各務原消化器病連携講演会 潰瘍性大腸炎治療を学ぶ	岐阜	2019年7月31日
鈴木康夫	班長	厚生労働科学研究費補助金「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度第1回班会議	東京	2019年7月25-26日
鈴木康夫	「炎症性腸疾患治療の変遷と今後の課題～生物学的製剤の貢献と地域医療連携の重要性～」	第21回日本医療マネジメント学会学術総会	名古屋	2019年7月20日
鈴木康夫	UC：実臨床におけるヒュミラの有効性	第97回日本消化器内視鏡学会ランチョンセミナー9	東京	2019年5月31日
鈴木康夫	「IBD領域における適切なバイオ製剤の使い方」	第30回君津木更津消化器病研究会	千葉	2019年5月15日
鈴木康夫	シンポジウム6：特別発言「難治性潰瘍性大腸炎の治療戦略における外科と内科のコラボレーション」	第105回日本消化器病学会総会	石川	2019年5月11日
鈴木康夫	パネルディスカッション7：特別発言「炎症性腸疾患診療のリアルワールド～生物学的製剤に対するクリニカルクエスチョンを解決する」	第105回日本消化器病学会総会	石川	2019年5月9日
鈴木康夫	「潰瘍性大腸炎の新治療時代」	Mito UC Forum	茨城	2019年4月17日
鈴木康夫	クローン病治療 up date～最適なBioの使い方 ステラールを中心に～	日本消化器病学会関東支部第354回例会ランチョンセミナー	東京	2019年4月13日
鈴木康夫	白吸的臨床应用之详细说明	第一届世界华人IBD大会	上海	2018年8月19日
鈴木康夫	「クローン病の病態と薬物治療に関して-New steroidの可能性-」	Pediatrics IBD conference	千葉	2019年2月28日
鈴木康夫	【ランチョンセミナー】「クローン病治療 up date～最適なBioの使い方 ステラールを中心に～」	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019年2月23日
鈴木康夫	UCにおける抗TNF製剤の長期寛解維持特効効果を実臨床から考察する	第33回大阪クローン病治療研究会	大阪	2019年2月22日
鈴木康夫	「難治性潰瘍性大腸炎の新たな治療戦略～抗TNF抗体製剤の最適な投薬法～」	第60回摩消化器病研究会	東京	2019年2月15日
鈴木康夫	「潰瘍性大腸炎 Up Date～基本から応用へ」	飯伊消化器研究会	長野	2019年1月25日
鈴木康夫	班長	厚生労働科学研究費補助金「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成30年度第2回班会議	東京	2019年1月17～18日
鈴木康夫	【ランチョンセミナー】潰瘍性大腸炎治療におけるGolimumabの有用性～実践から見えてきた好適症例像とは？～	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
鈴木康夫	【パネルディスカッション】IBDに対する薬物療法の長期成績	第73回日本大腸肛門学会学術集会	東京	2018年11月9日
鈴木康夫	【デジタルポスターセッション】ベドリズムで改善した中等症・重症の日本人潰瘍性大腸炎患者での疾患悪化及び治療失敗までの期間に関する探索的評価	JDDW2018	神戸	2018年11月1日
鈴木康夫	潰瘍性大腸炎基本治療の押さえるべきポイント～病診連携を踏まえて～	山武IBD治療セミナー	千葉	2018年10月25日
関 駿介, 佐々木大樹, 西宮哲夫, 大内裕香, 木村道明, 柴本麻衣, 岩下裕明, 古川潔人, 宮村美幸, 勝俣雅夫, 岩佐亮太, 菊池秀昌, 山田哲弘, 中村健太郎, 長村愛作, 高田伸夫, 鈴木康夫, 松岡克善	常染色体優性多発性嚢胞腎に小腸憩室出血を合併した1例	日本消化器病学会関東支部第351回例会	東京	2018年9月22日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
鈴木康夫	班長	厚生労働科学研究費補助金「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成30年度第1回班会議	東京	2018年7月26~27日
鈴木康夫	IBD診療 Up To Date	第15回肝・消化器代謝栄養研究会	大阪	2018年6月16日
鈴木康夫	第2回班会議(福田班)	厚生労働科学研究費補助金「難治性疾患等を対象とする持続可能で効果的な医療の提供を実現するための医療経済評価の手法に関する研究」	東京	2018年5月23日
鈴木康夫	炎症性腸疾患の病態と新規治療法～JAK阻害剤の可能性～	第104回日本消化器病学会総会 ランチョンセミナー26	東京	2018年4月21日
Ken Takeuchi, Akihiro Yamada and Yasuo Suzuki	The air-enema image of ultra-low dose CT colonography can be an alternative diagnostic technique for the assessment of mucosal healing in the patients with ulcerative colitis.	13th Congress of ECCO	Messe Wien, Vienna, Austria	2018年2月16日
Ken Takeuchi, Ryuichi Furukawa, Daiki Sasaki and Yasuo Suzuki	The Early Response to Tacrolimus is likely to be a Predictor of the Long-term Outcome in the Patients with Ulcerative Colitis	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017年6月17日
鈴木康夫	IBD診療のUp To Date	第12回南大阪内視鏡の会	大阪	2018年1月25日
鈴木康夫	班長	厚生労働科学研究費「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成29年度第2回班会議	東京	2018年1月18~19日
鈴木康夫	会長	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
鈴木康夫	【イブニングセミナー・総合発言】IBDのアジアチーム医療を考える	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
鈴木康夫	潰瘍性大腸炎の治療の基本から応用まで～最新の治療戦略～	土浦UCフォーラム	茨城	2017年11月28日
鈴木康夫	【シンポジウム3・特別発言】IBDに対する内科治療の進歩と外科治療	第70回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
鈴木康夫	【ランチタイムセミナー】潰瘍性大腸炎の基本治療を考える	第71回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
鈴木康夫	【教育講演2】炎症性腸疾患診療のup to date	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
鈴木康夫	「潰瘍性大腸炎の治療の基本から応用まで」～最新の治療戦略	ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸	茨城	2017年10月27日
岡住慎一, 加藤良二, 鈴木康夫	【統合プログラム5】クローン病手術における2系統造影MD-CTを用いた術前診断による切除と抗TNF-抗体療法による再発防止の成績	JDDW2017福岡	福岡	2017年10月14日
鈴木康夫	【デジタルポスターセッション】活動性潰瘍性大腸炎(UC)患者におけるトファシニブ寛解維持試験(国際共同P3臨床試験)の日本人部分集団解析	JDDW2017福岡	福岡	2017年10月13日
鈴木康夫	潰瘍性大腸炎診療の新展開	大館潰瘍性腸疾患講演会	秋田	2017年10月4日
鈴木康夫	IBDの新規治療	第21回東北北部IBD(炎症性腸疾患)研究会	千葉	2017年9月22日
鈴木康夫	「IBD治療におけるインフリキシマブのLCM(Life Cycle Management)とそのインパクト～医療現場のニーズに応えた育薬～」	第181回東北薬剤師勉強会	茨城	2017年9月8日
鈴木康夫	潰瘍性大腸炎診療の新展開	潰瘍性大腸炎治療の最前線	茨城	2017年8月30日
鈴木康夫	班長	厚生労働科学研究費「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成29年度第1回班会議	東京	2017年7月19~20日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
鈴木康夫	当番会長	日本消化器病学会関東支部第345回例会	東京	2017年7月15日
岩下裕明, 高田伸夫, 佐々木大樹, 勝俣雅夫, 宮村美幸, 菊地秀昌, 岩佐亮太, 長村愛作, 中村健太郎, 竹内 健, 鈴木康夫, 清水直美, 笹井大督, 徳山 宣, 蛭田啓之	B型肝炎加療中に悪性リンパ腫を発症した一例	日本消化器病学会関東支部第345回例会	東京	2017年7月15日
柴本麻衣, 木村道明, 大内裕香, 古川潔人, 岩下裕明, 佐々木大樹, 勝俣雅夫, 菊地秀昌, 岩佐亮太, 長村愛作, 中村健太郎, 竹内 健, 高田伸夫, 鈴木康夫	若年および高齢者潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の有効性の検討	日本消化器病学会関東支部第345回例会	東京	2017年7月15日
鈴木康夫	潰瘍性大腸炎治療の基本から応用へ	第21回K-NET病診連携懇話会～IBD診療の実態について～	埼玉	2017年7月13日
鈴木康夫	「クローン病治療 up date」～最適なBioの使い方～	Hitachiクローン病セミナー	茨城	2017年7月4日
鈴木康夫	難治性潰瘍性大腸炎における最新治療戦略	日本消化器病学会東北支部第203回例会/第159回日本消化器内視鏡学会東北支部例会	岩手	2017年7月1日
鈴木康夫	炎症性腸疾患における新治療戦略	第19回IBD治療研究会	名古屋	2017年6月2日
鈴木康夫	IBD内科治療の進歩～過去・現在そして未来～	第10回レミケードカンファレンス	東京	2017年5月31日
鈴木康夫	IBD難治症例に対する治療戦略	水戸共同病院病診連携講演会	茨城	2017年5月30日
竹内 健, 岩佐亮太, 鈴木康夫	潰瘍性大腸炎におけるインフリキシマブ導入2週間後のCRPレベルは長期有効性を予測する	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20日
鈴木康夫	UCにおけるこれからの抗体製剤治療を整理する～臨床成績から～	第104回日本消化器病学会総会 ランチョンセミナー1	東京	2017年4月20日
Takahashi K, Bamba S, Andoh A	Optimization of Thiopurine Drugs Using the 6-MMP/6-TGN Ratio	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's and Colitis	Taipei	2019年7月15日
Imai T, Nishida A, Bamba S, Inatomi O, Andoh A	Characterization of Fungal Dysbiosis in Inflammatory Bowel Disease	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's and Colitis	Taipei	2019年7月15日
Tatsumi G, Kawahara M, Imai T, Nishishita-Asai A, Nishida A, Inatomi O, Yokoyama A, Kakuta Y, Kito K, Andoh A	Thiopurine-Mediated Impairment of Hematopoietic Stem and Progenitor Cells in NUDT15R138C Knock-in Mice and Potentiality of NUDT15 Genotype-based Precision Medicine for Acute Leukemia	The 24th Congress of European Hematology Association	Amsterdam	2019年7月14日
Ohno M, Andoh A, Inohara N	Role of Surface Polysaccharides of Adherent-invasive Escherichia Coli	Digestive Disease Week 2019	San Diego	2019年5月19日
今井隆行, 河原真大, 辰巳剛一, 大野将司, 稲富 理, 角田洋一, 安藤 朗	NUDT15 遺伝子多型を有する妊婦へのチオプリン投与が胎児に与える影響についての検討	第5回 G-PLUS	東京	2019年12月14日
大野将司, 安藤 朗, 猪原直弘	遺伝子組み換え大腸菌のプロバイオティクスへの応用	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
森田康大, 馬場重樹, 今井隆行, 杉谷義彦, 大野将司, 高橋憲一郎, 稲富 理, 安藤 朗	クローン病患者におけるウステキヌマブの有用性の検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
Yasuhiro Morita, Shigeki Bamba, Akira Andoh	Clinical significance of ustekinumab trough levels and anti-ustekinumab antibodies in patients with Crohn's disease	JDDW 2019	神戸	2019年11月23日
大野将司, 安藤 朗, 猪原直弘	遺伝子組み換え大腸菌のプロバイオティクス効果	JDDW 2019	神戸	2019年11月22日
森田康大, 馬場重樹, 大野将司, 高橋憲一郎, 安藤 朗	クローン病患者におけるウステキヌマブの薬物動態モニタリングについて	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
高橋憲一郎; 馬場重樹, 村田雅樹, 大野将司, 杉本光繁, 佐々木雅也, 辻川知之, 安藤 朗	クローン病患者の粘膜治癒の臨床的意義について	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
馬場重樹, 大野将司, 高橋憲一郎, 濱本奈津美, 芝原あずさ, 稲富 理, 安藤 朗, 佐々木雅也	炎症性腸疾患とCT画像で評価した体組成との関連性について	第50回日本消化吸収学会総会	東京	2019年10月5日
高橋憲一郎, 馬場重樹, 村田雅樹, 西田淳史, 稲富 理, 佐々木雅也, 杉本光繁, 安藤 朗	当院クローン病患者の粘膜治癒達成と長期経過	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Andoh A	「The cutting edge issues in management of IBD 2018」 Place of TDM in optimal use of biologics	Asian Pacific Digestive Week 2018	Seoul	2018年11月16日
Nishida A, Nishino K, Takahashi K, Bamba S, Andoh A	Protective effect of autophagy on endoplasmic reticulum stress-induced apoptosis of intestinal epithelial cells in chronic colitis model	International Symposium IBD and Liver: East Meets West	Kyoto	2018年9月7日
西田淳史、井上 亮、杉谷義彦、大野将司、稲富 理、馬場重樹、内藤裕二、安藤 朗	成分栄養剤の腸内細菌に対する効果の検討	第16回 日本機能性食品医科学会	新潟	2018年12月16日
西野恭平、西田淳史、森田康大、米倉伸彦、今井隆行、杉谷義彦、酒井滋企、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	オートファジーは小胞体ストレス誘導性アポトーシスの抑制を介してDSS誘発慢性腸炎を改善する	第55回 日本消化器免疫学会総会	福岡	2018年12月8日
杉谷義彦、西田淳史、森田康大、米倉伸彦、今井隆行、酒井滋企、西野恭平、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	炎症性腸疾患におけるプロスタシン (Prss8) の機能解析	第55回 日本消化器免疫学会総会	福岡	2018年12月8日
高橋憲一郎、馬場重樹、西田淳史、佐々木雅也、安藤 朗	チオプリン製剤の optimization と 6-TGN・6-MMP の測定意義について	第9回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
森田康大、馬場重樹、高橋憲一郎、西田淳史、辻川知之、佐々木雅也、杉本光繁、安藤 朗	クローン病小腸狭窄病変に対するシングルバルーン小腸内視鏡を用いた内視鏡的バルーン拡張術の長期成績について	第9回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
西野恭平、西田淳史、森田康大、米倉伸彦、今井隆行、杉谷義彦、酒井滋企、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	オートファジーは小胞体ストレス誘導性アポトーシスの抑制を介してデキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 誘発慢性腸炎を改善する	第9回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
西野恭平、西田淳史、森田康大、米倉伸彦、今井隆行、杉谷義彦、酒井滋企、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 腸炎に対するプロスタシン (Prss8) の機能解析	第9回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
酒井滋企、西田淳史、今井隆行、杉谷義彦、西野恭平、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム誘発腸炎に対する Bortezomib の効果についての検討	第60回 日本消化器病学会大会	神戸	2018年11月1日
森田康大、馬場重樹、高橋憲一郎、西田淳史、辻川知之、佐々木雅也、杉本光繁、安藤 朗	シングルバルーン小腸内視鏡を用いたクローン病小腸狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有効性の検討	第56回 日本小腸学会学術集会	東京	2018年10月27日
安藤 朗、井上 亮、高橋憲一郎、西田淳史、馬場重樹、内藤裕二	腸内細菌プロジェクト 日本人 IBD における腸内真菌叢の変化	厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成30年度 第1回総会	東京	2018年7月27日
今井隆行、西田淳史、酒井滋企、杉谷義彦、西野恭平、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	炎症性腸疾患モデルマウスにおける FTY720 の効果の検討	第104回 日本消化器病学会総会 t	東京	2018年4月19日
高橋憲一郎、馬場重樹、西田淳史、安藤 朗	当院で経験した IBD (クローン病) 上部消化管病変の診断と治療	第10回 京滋 IBD コンセンサスマーケティング	京都	2018年4月26日
Andoh A, R. Inoue, Y. Naito	Mucosa-associated dysbiosis in inflammatory bowel disease 13th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	13th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna	2018年2月14日
Bamba S, M. Sasaki, A. Takaoka, A. Nishida, O. Inatomi, M. Sugimoto, A. Andoh	Skeletal Muscle Atrophy is a Predictive Factor for Intestinal Resection in Patients with Crohn's Disease	25th United European Gastroenterology Week	Barcelona	2017年10月30日
Nishino K, Imaeda H, Sakai S, Ohno M, Nishida A, Andoh A	The Abundance of Clostridium Hathewayi, a Potent Inducer of T Helper 17 (Th17) Cells, is Associated with the Disease Severity of Crohn's Disease	Digestive Disease Week 2017	Chicago	2017年5月9日
Nishida A, Imaeda H, Andoh A	NUDT15 R139C-Related Thiopurine Leukocytopenia is Mediated by 6-Thioguanine Nucleotide-Independent Mechanism in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease	Digestive Disease Week 2017	Chicago	2017年5月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Sakai S, Nishida A, Nishino K., Ohno M, Imaeda H, Andoh A	Astaxanthin, a Xanthophyll Carotenoid, Suppresses the Development of Experimental Colitis by Inhibiting the Activation of NF- B and AP-1	Digestive Disease Week 2017	Chicago	2017年5月9日
Ohno M, Nishida A, Sakai S, Nishino K, Fujii M, Morita Y, Imaeda H, Sugimoto M, Andoh A	Highly Bioavailable Curcumin Induces Regulatory Immune Cells via the Increase of Butyrate-Producing Bacteria and Suppresses the Development of Dextran Sulfate Sodium (DSS)-Induced Experimental Colitis	Digestive Disease Week 2017	Chicago	2017年5月9日
Imaeda H, Nishino K, Ohno M, Nishida A, Sugimoto M, Andoh A	Serum Adalimumab Trough Levels Required for Endoscopic Mucosal Healing during Maintenance Therapy of Crohn's Disease	Digestive Disease Week 2017	Chicago	2017年5月9日
Sakai S, A.Nishida, A Andoh	Bortezomib suppresses the development of experimental colitis by inhibiting the activation of NF- B	第46回 日本免疫学会学術集会	仙台	2017年12月14日
Sugitani Y, A.Nishida, H.Imaeda, A.Andoh	The therapeutic effects of elemental diet and intestinal microbiota	第46回 日本免疫学会学術集会	仙台	2017年12月14日
Nishino K, S.Sakai, A.Nishida, A Andoh	Analysis of the role of autophagy in dextran sodium sulfate (DSS) induced experimental colitis	第46回 日本免疫学会学術集会	仙台	2017年12月14日
酒井滋企、西田淳史、今井隆行、杉谷義彦、西野恭平、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム誘発腸炎に対するアスタキサンチンの効果についての検討	第15回 日本機能性食品医学学会総会	東京	2017年12月9日
馬場重樹、西田淳史、今枝広丞、高橋憲一郎、稲富 理、佐々木雅也、杉本光繁、安藤 朗	潰瘍性大腸炎における発酵野菜飲料の影響について	第15回 日本機能性食品医学学会総会	東京	2017年12月9日
西野恭平、西田淳史、井上 亮、酒井滋企、大野将司、高橋憲一郎、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、内藤裕二、安藤 朗	内視鏡ブラッシング法を用いた炎症性腸疾患における mucosa-associated microbiota の解析	第8回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
酒井滋企、西田淳史、今井隆行、杉谷義彦、西野恭平、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 誘発腸炎に対する Bortezomib の効果についての検討	第8回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
馬場重樹、佐々木雅也、高橋憲一郎、今枝広丞、西田淳史、稲富 理、杉本光繁、安藤 朗	炎症性腸疾患患者におけるサルコペニアが長期予後に与える影響について	第8回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
西田淳史、今枝広丞、馬場重樹、安藤 朗	潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎に対する糞便移植法の安全性と有効性についての検討	第8回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
高橋憲一郎、馬場重樹、今枝広丞、西田淳史、辻川知之、杉本光繁、安藤 朗	クローン病狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有効性の検討	第8回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
馬場重樹、佐々木雅也、高橋憲一郎、今枝広丞、西田淳史、稲富 理、杉本光繁、安藤 朗	炎症性腸疾患患者における L3 領域筋肉量が長期予後に与える影響について	第8回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
馬場重樹、西田淳史、今枝広丞、稲富 理、佐々木雅也、杉本光繁、安藤 朗	難治性 Clostridium difficile 腸炎・感染症に対する糞便細菌叢移植について	第72回 日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
西田淳史、今枝広丞、馬場重樹、安藤 朗	潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎に対する糞便移植法の安全性および効果の検討	第72回 日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
高橋憲一郎、馬場重樹、今枝広丞、西田淳史、稲富 理、辻川知之、佐々木雅也、杉本光繁、安藤 朗	クローン病狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有効性の検討	第94回 日本消化器内視鏡学会総会	福岡	2017年10月13日
馬場重樹、西田淳史、今枝広丞、稲富 理、佐々木雅也、杉本光繁、安藤 朗	難治性 Clostridium difficile 腸炎・感染症に対する糞便細菌叢移植の有用性について	第59回 日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月13日
西田淳史、日下尚子、高橋憲一郎、今枝広丞、馬場重樹、安藤 朗	炎症性腸疾患における抗菌ペプチド LL-37 の発現	第59回 日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月12日
酒井滋企、西田淳史、大野将司、西野恭平、藤井 誠、今枝広丞、馬場重樹、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム誘発腸炎に対するアスタキサンチンの効果についての検討	第59回 日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月12日
西野恭平、西田淳史、酒井滋企、大野将司、高橋憲一郎、今枝広丞、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	内視鏡下ブラシで採取した腸管粘液を用いた炎症性腸疾患の mucosa-associated microbiota の検討	第59回 日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月12日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
西田淳史、日下尚子、今井隆行、杉谷義彦、西野恭平、酒井滋企、高橋憲一郎、今枝広丞、馬場重樹、稲富 理、安藤 朗	炎症性腸疾患における抗菌ペプチド LL-37 の発現	第 45 回 日本臨床免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 29 日
西野恭平、西田淳史、今井隆行、杉谷義彦、酒井滋企、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 誘発性腸炎マウスモデルにおけるオートファジーの役割の検討	第 54 回 日本消化器免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 29 日
西野恭平、西田淳史、井上 亮、酒井滋企、大野将司、高橋憲一郎、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、内藤裕二、安藤 朗	炎症性腸疾患の mucosa-associated microbiota の検討	第 54 回 日本消化器免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 29 日
酒井滋企、西田淳史、今井隆行、杉谷義彦、西野恭平、今枝広丞、稲富 理、馬場重樹、杉本光繁、安藤 朗	デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 誘発性腸炎に対する Bortezomib の効果についての検討	第 54 回 日本消化器免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 29 日
安藤 朗、西田淳史、西野恭平、井上 亮、内山和彦、高木智久、内藤裕二	腸内細菌プロジェクト 内視鏡下ブラッシング法を用いた IBD 粘膜関連腸内細菌叢の構造、機能解析	難治性疾患等政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成 29 年度 第 1 回総会	東京	2017 年 7 月 20 日
大野将司、西田淳史、酒井滋企、西野恭平、藤井 誠、森田幸弘、今枝広丞、杉本光繁、安藤 朗	DSS 腸炎に対する高吸収クルクミンの効果及び機序の検討	第 103 回 日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 21 日
西野恭平、今枝広丞、酒井滋企、藤井 誠、森田幸弘、大野将司、高橋憲一郎、西田淳史、稲富 理、馬場重樹、辻川知之、杉本光繁、安藤 朗	クローン病腸内細菌叢における Clostridium hathewayi の臨床的意義に関する検討	第 103 回 日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 21 日
Minagawa Tomohiro, Ikeuchi Hiroki, Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Chohn Teruhiro, Bando Toshihiro, Uchino Motoi	Quality of life and functional outcomes in elderly patients after restorative proctocolectomy for ulcerative colitis. (Poster)	The 7 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn s & Colitis	Taipei	2019.6.15
Horio Yuki, Uchino Motoi, Minagawa Tomohiro, Kuwahara Ryuichi, Goto Yoshiko, Sasaki Hirofumi, Bando Toshihiro, Ikeuchi Hiroki	Perioperative fungal endophthalmitis in inflammatory bowel disease patients. (Poster)	The 7 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn s & Colitis	Taipei	2019.6.15
池内 浩基、内野 基、坂東 俊宏、佐々木 寛文、後藤 佳子、堀尾 勇規、桑原 隆一、皆川 知洋、山野 智基、池田 正孝、富田 尚裕	後期高齢者に対する IBD 手術症例の現状	第 16 回日本消化管学会総会 学術集会	姫路	2020 年 2 月 8 日
桑原 隆一、池内 浩基、皆川 知洋、堀尾 勇規、後藤 佳子、佐々木 寛文、坂東 俊宏、内野 基	潰瘍性大腸炎術後腸閉塞に対し long-tube を挿入し、大建中湯を投与した症例の検討。(ワークショップ)	第 16 回日本消化管学会総会 学術集会	姫路	2020 年 2 月 7 日
馬場谷 彰仁、松原 孝明、宋 智亨、木村 慶、安原 美千子、片岡 幸三、別府 直仁、内野 基、山野 智基、池田 正孝、池内 浩基、富田 尚裕	直腸癌術後難治性の吻合部狭窄に対し TaTME を用いて再吻合を行った 1 例	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019 年 12 月 7 日
佐々木 潤、塚崎 友莉恵、清水 聖世、木村 幸子、橋本 記代子、池田 正孝、別府 直仁、山野 智基、内野 基、池内 浩基、富田 尚裕	ロボット支援下直腸低位切除術における緊急時対応の取り組み	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019 年 12 月 7 日
木村 慶、池田 正孝、宋 智亨、馬場谷 彰仁、安原 美千子、片岡 幸三、別府 直仁、山野 智基、内野 基、池内 浩基、富田 尚裕	直腸術後骨盤内再発に対する側方マージンの確保の向上に向けた taTME technique の応用	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019 年 12 月 6 日
皆川 知洋、内野 基、桑原 隆一、堀尾 勇規、山野 智基、池田 正孝、富田 尚裕、池内 浩基	潰瘍性大腸炎に対して腹腔鏡下大腸全摘術を施行した 24 例の検討	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019 年 12 月 5 日
桑原 隆一、内野 基、皆川 知洋、堀尾 勇規、山野 智基、富田 尚裕、池田 正孝、池内 浩基	クローン病の瘻孔、膿瘍合併症例に対する腹腔鏡手術の検討。(ワークショップ)	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019 年 12 月 5 日
佐々木 寛文、池内 浩基、内野 基、坂東 俊宏、後藤 佳子、堀尾 勇規、桑原 隆一、皆川 知洋	口腔内潰瘍の入院治療中に消化管穿孔をきたし、ペーチェット病の診断を得た 1 例	第 187 回兵庫県外科医会学術集会	尼崎	2019 年 11 月 30 日
一木 薫、竹末 芳生、中嶋 一彦、植田 貴史、山田 久美子、内野 基、池内 浩基、石川 かおり、高井 喜子、土田 敏恵	消化器外科手術における SSI 発生率 - 当院 10,000 例のデータより -。(ポスター)	第 32 回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019 年 11 月 30 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 皆川 知洋, 一木 薫, 中嶋 一彦, 竹末 芳生	潰瘍性大腸炎に対する適切な手術タイミングと術式の決定。(パネルディスカッション)	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019年11月29日
内野 基, 池内 浩基, 中嶋 一彦, 竹末 芳生	消化器外科手術における創閉鎖後の予防的陰圧閉鎖療法。(共催シンポジウム)	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019年11月29日
内野 基, 池内 浩基, 中嶋 一彦, 竹末 芳生	術前腸管処置のバリエーションについて考える-経口抗菌薬のみ-(シンポジウム)	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019年11月29日
長野 健太郎, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 内野 基	膿瘍を合併したクローン病に対し単孔式腹腔鏡補助下回腸部分切除術を施行した1例。(ポスター)	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 池内 浩基	当院における潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下大腸全摘術30例の検討。(ポスター)	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 池内 浩基	周術期に真菌性眼疾患を併発した炎症性腸疾患手術症例の検討。(ポスター)	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎に合併する大腸癌術後の血清 p53 抗体値を測定する意義。(ポスター)	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
皆川 知洋, 内野 基, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病に対して腹腔鏡手術を行った40例の検討。(デジタルポスターセッション)	JDDW2019 第17回日本消化器外科学会大会	神戸	2019年11月23日
Kuwahara Ryuichi, Ikeuchi Hiroki, Uchino Motoi	Clinical results following intestinal resection in 1143 patients with Crohn's disease. (International session [Symposium])	JDDW2019 第17回日本消化器外科学会大会・第61回日本消化器病学会大会・第98回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	2019年11月23日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 後藤 佳子, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	内科的治療の進歩と外科的治療の変遷。(デジタルポスターセッション)	JDDW2019 第17回日本消化器外科学会大会	神戸	2019年11月23日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 山野 智基, 別府 直仁, 池田 正孝, 富田 尚裕, 片岡 幸三, 安原 美千子, 木村 慶	潰瘍性大腸炎術後, 回腸囊炎診断における便中カルプロテクチン測定の有用性。(デジタルポスターセッション)	JDDW2019 第17回日本消化器外科学会大会	神戸	2019年11月23日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	高齢者潰瘍性大腸炎に対する手術症例の検討。(デジタルポスターセッション)	JDDW2019 第17回日本消化器外科学会大会	神戸	2019年11月23日
坂東 俊宏, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病 胃空腸吻合術症例の検討。(デジタルポスターセッション)	JDDW2019 第17回日本消化器外科学会大会	神戸	2019年11月22日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 後藤 佳子, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	潰瘍性大腸炎における高齢者手術症例の検討。(デジタルポスターセッション)	JDDW2019 第61回日本消化器病学会大会	神戸	2019年11月21日
佐藤 寿行, 内野 基, 小島 健太郎, 小柴 良司, 藤本 晃士, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 高川 哲也, 宮崎 孝子, 應田 義雄, 渡辺 憲治, 樋田 信幸, 堀 和敏, 三輪 洋人, 池内 浩基, 中村 志郎	免疫抑制治療中の炎症性腸疾患患者に合併したニューモシスチス肺炎に関する臨床的検討	JDDW2019 第61回日本消化器病学会大会	神戸	2019年11月21日
内野 基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 安原 美千子, 別府 直仁, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎術後, 回腸囊炎診断における便中カルプロテクチン測定の有用性。(要望演題)	第81回日本臨床外科学会総会	高知	2019年11月14日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
松原 孝明, 片岡 幸三, 木村 慶, 宋 智亨, 安原 美千子, 馬場谷 彰仁, 別府 直仁, 山野 智基, 多田 正晴, 内野 基, 池内 浩基, 波多野 悦郎, 富田 尚裕	大腸癌同時多発肝転移に対し FOLFOXIRI + セツキシマブ投与後に肝先行切除を行った一例。(ポスター)	第 57 回日本癌治療学会 学会学術集会	福岡	2019年10月26日
山野 智基, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 彰仁, 安原 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	大腸癌 PDX(Patient derived xenograft)モデルを用いた大腸癌併用療法の比較	第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月12日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 彰仁, 安原 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 竹末 芳生	クローン病, 肛門病変に対する生物学的製剤の効果。(シンポジウム)	第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月12日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	潰瘍性大腸炎に合併する発癌症例の現状と問題点。(ワークショップ)	第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月11日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	高齢者潰瘍性大腸炎の手術症例における予後栄養指標の臨床的意義についての検討。(パネルディスカッション)	第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月11日
木村 慶, 池田 正孝, 宋 智亨, 馬場谷 彰仁, 安原 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	直腸癌骨盤内再発手術に対する Transperineal minimally invasive surgery。(パネルディスカッション)	第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月11日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後に回腸嚢炎を繰り返し, 回腸嚢穿孔をきたした1例	日本消化器病学会近畿支部 第111回例会	大阪	2019年10月5日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下大腸全摘術の1例	第 202 回近畿外科学会	大阪	2019年9月28日
馬場谷 彰仁, 木村 慶, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	当院における腹腔鏡下大腸手術に対する ICG 血流評価の検討。(要望演題)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月19日
山野 智基, 木村 慶, 馬場谷 彰仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	当科における Patient derived xenograft(PDX)作成の現状と将来について。(デジタルポスター)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月19日
Ikeda Masataka, Kimura Kei, Uemura Mamoru, Miyake Masakazu, Beppu Naohito, Yamano Tomoki, Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Sekimoto Mitsugu, Tomita Naohiro	Laparoscopic beyond TPE based on pelvic anatomy for advanced and locally recurrent rectal cancer. (Video Symposium)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月19日
皆川 知洋, 内野 基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	炎症性腸疾患における手術部位感染予防のための術前経口抗生物質の有効性。(ワークショップ)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月19日
別府 直仁, 木村 慶, 馬場谷 彰仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 内野 基, 池内 浩基	左側結腸, 直腸癌に対する#16b2 大動脈周囲リンパ節転移経路とその対策。(要望演題)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月18日
内野 基, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 池田 正孝, 池内 浩基	炎症性腸疾患手術における腹腔鏡補助手術の導入と問題点。(パネルディスカッション)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月18日
木村 慶, 池田 正孝, 濱中 美千子, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	直腸癌仙骨前局所再発手術に対する解剖のポイント。(要望演題)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘 J 型回腸嚢肛門吻合術の現状と問題点。(デジタルポスター)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
後藤 佳子, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 富田 尚裕, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎手術における免疫抑制治療の手術部位感染への影響。(デジタルポスター)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎手術症例の high-output syndrome に対する周術期管理 .(デジタルポスター)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 池田 正孝, 富田 尚裕	潰瘍性大腸炎に合併した発癌症例 200 例の検討 .(デジタルポスター)	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 木村 慶, 松原 孝明, 宋 智亨, 濱中 美千子, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕, 関本 貢嗣	直腸がん局所再発に対する腹腔鏡下切除術 .(シンポジウム)	第 32 回日本小切開・鏡視外科学会	大阪	2019年6月29日
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 内野 基	クローン病に対して単孔式腹腔鏡補助下回盲部切除術を施行した 1 例 .(ポスター)	第 32 回日本小切開・鏡視外科学会	大阪	2019年6月28日
池田 正孝, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	進行再発直腸癌に対する診療科連携手術 .(シンポジウム)	第 44 回日本外科系連合学会学術集会	金沢	2019年6月21日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	炎症性腸疾患に対し, 直腸切断後に会陰創陰圧閉鎖療法を施行した症例の検討 .(パネルディスカッション)	第 44 回日本外科系連合学会学術集会	金沢	2019年6月20日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 後藤 佳子	炎症性腸疾患に合併する発癌症例の現状とサポート .(パネルディスカッション)	第 44 回日本外科系連合学会学術集会	金沢	2019年6月20日
池田 正孝, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	消化器外科領域における VTE 一次予防と二次予防 .(パネルディスカッション)	第 44 回日本外科系連合学会学術集会	金沢	2019年6月20日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	後期高齢者の炎症性腸疾患手術症例の検討 .(シンポジウム)	第 44 回日本外科系連合学会学術集会	金沢	2019年6月20日
山野 智基, 山内 慎一, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 彰仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕, 杉原 健一	高齢者における大腸癌治療選択の現状について .(シンポジウム)	第 44 回日本外科系連合学会学術集会	金沢	2019年6月20日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏	難治性潰瘍性大腸炎の治療戦略における外科と内科のコラボレーション .(シンポジウム)	第 105 回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	潰瘍性大腸炎手術症例におけるバイオ洗剤導入後の臨床的特徴の変遷	第 105 回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 後藤 佳子, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 竹末 芳生	潰瘍性大腸炎手術における術前免疫抑制治療と周術期感染合併症の関連性 .(シンポジウム)	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月20日
馬場谷 彰仁, 山野 智基, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	家族性大腸腺腫症患者の予防的大腸切除術後の予後及び合併症の解析 .(ポスターセッション)	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月20日
大谷 雅樹, 富田 尚裕, 池田 正孝, 山野 智基, 野田 雅史, 別府 直仁, 片岡 幸三, 濱中 美千子, 馬場谷 彰仁, 木村 慶, 宋 智亨, 池内 浩基, 内野 基, 山門 享一郎	直腸癌術後の肝・肺・骨盤内への多発転移に対して RFA が有効であった 1 症例 .(研修医発表セッション)	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月19日
木村 慶, 池田 正孝, 宋 智亨, 濱中 美千子, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 山野 智基, 池内 浩基, 富田 尚裕	【複数診療科を必要とする拡大手術】当院での複数診療科を必要とする拡大手術 .(ワークショップ)	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月19日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 木村 慶, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 山野 智基, 内野 基, 加藤 健志, 池内 浩基, 関本 貢嗣, 富田 尚裕	【直腸癌局所再発に対する治療戦略】直腸癌局所再発に対する積極的外科治療 .(パネルディスカッション)	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月19日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
山野 智基, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 彰仁, 瀧中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	希少がんである小腸腺癌に対する基礎研究モデルの構築。(サージカルフォーラム)	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
富田 尚裕, 別府 直仁, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 片岡 幸三, 瀧中 美千子, 馬場谷 彰仁, 木村 慶, 宋 智亨, 内野 基, 池内 浩基	下部直腸癌に対する術前治療(Pre-operative chemoradiation therapy using S-1+CPT-11 for advanced lower rectal cancer. (パネルディスカッション))	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後に高齢者となった患者の排便機能とQOL。(サージカルフォーラム)	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 内野 基	潰瘍性大腸炎における中毒性巨大結腸症手術61例の検討。(サージカルフォーラム)	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	広範囲小腸炎を伴った潰瘍性大腸炎手術症例の検討。(ポスターセッション)	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	腸管型ベーチェット病の予後および予後予測因子の検討。(サージカルフォーラム)	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 竹末 芳生, 池田 正孝, 富田 尚裕	クローン病で再手術率を減少させるために必要なことは。(ポスターセッション)	第119回日本外科学会 定期学術集会	大阪	2019年4月18日
Chohno Teruhiro, Watanabe Kenji, Minagawa Tomohiro, Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Bando Toshihiro, Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki	Long-term prognosis and predictive factors for surgical treatment of intestinal lesions in patients with Behcet's disease. (Poster)	14 th Congress of ECCO Inflammatory Bowel Diseases	Copenhagen	2019.3.8
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Kuwahara Ryuichi, Minagawa Tomohiro, Goto Yoshiko	Associations between multiple immunosuppressive treatments before surgery and surgical morbidity in patients with ulcerative colitis during the era of biologics. (Poster)	14 th Congress of ECCO Inflammatory Bowel Diseases	Copenhagen	2019.3.8
Minagawa Tomohiro, Ikeuchi Hiroki, Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Chohno Teruhiro, Bando Toshihiro, Uchino Motoi	A case of ileal cast after ileal pouch anal anastomosis to treat refractory ulcerative colitis. (Poster Exhibition)	The 6 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis (AACC 2018)	Shanghai	2018.6.21
Kuwahara Ryuichi, Ikeuchi Hiroki, Minagawa Tomohiro, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Chohno Teruhiro, Bando Toshihiro, Uchino Motoi	Results of one-stage restorative proctocolectomy for 300 patients with ulcerative colitis. (Poster Exhibition)	The 6 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis (AACC 2018)	Shanghai	2018.6.21
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Minagawa Tomohiro, Kuwahara Ryuichi, Takesue Yoshio	Efficacy of preoperative oral antibiotic prophylaxis for the prevention of surgical site infection in patients with Crohn's disease -A result of randomized control trial. (Poster)	American Society of Colon & Rectal Surgeons -Annual Scientific Meeting	Nashville	2018.5.21
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎の緊急手術症例の推移と臨床的特徴。(パネルディスカッション)	第55回日本腹部救急医学会 総会	仙台	2019年3月7日
蝶野 晃弘, 内野 基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎分割手術施行時のoutlet obstructionと最近の工夫。(パネルディスカッション)	第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会・第11回アジアストーマリハビリテーション学会	大阪	2019年2月23日
佐々木 寛文, 内野 基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 池内 浩基	大腸全摘術後, 左下腹部に人工肛門造設し上部消化管通過障害をきたした潰瘍性大腸炎の1例。(ポスター)	第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会・第11回アジアストーマリハビリテーション学会	大阪	2019年2月23日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 桑原 隆一, 皆川 知洋	難治性回腸囊炎に対するブデゾナイド注腸の効果。(一般演題)	第15回日本消化管学会総会 学術集会	佐賀	2019年2月1日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	超高齢者潰瘍性大腸炎手術症例の検討。(一般演題)	第15回日本消化管学会総会 学術集会	佐賀	2019年2月1日
濱中 美千子, 池田 正孝, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	閉鎖孔をこえ骨盤内に進展した脂肪腫に対して腹腔鏡下切除を行った1例。(デジタルポスター)	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月8日
木村 慶, 池田 正孝, 塚本 潔, 宋 智亨, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 山野 智基, 池内 浩基, 富田 尚裕	当院における他臓器合併切除を伴う進行・再発直腸癌に対する腹腔鏡手術。(一般演題)	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月7日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 後藤 佳子, 蝶野 晃弘, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	当院における潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下大腸全摘J型回腸囊肛門吻合術の手術時間短縮の工夫	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月6日
池田 正孝, 木村 慶, 植村 守, 三宅 正和, 宋 智亨, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕, 関本 貢嗣	直腸癌に対する腹腔鏡下骨盤内多臓器合併切除。(パネルディスカッション)	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月6日
長野 健太郎, 池内 浩基, 内野 基, 蝶野 晃弘, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 富田 尚裕, 池田 正孝, 山野 智基	難治性潰瘍性大腸炎に対し、腹腔鏡補助下大腸全摘術を施行した1例。(デジタルポスター)	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月6日
皆川 知洋, 内野 基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病に対して腹腔鏡手術を行った18例の検討。(一般演題)	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月6日
内野 基, 池内 浩基, 桑原 隆一, 蝶野 晃弘, 後藤 佳子, 皆川 知洋, 富田 尚裕, 山野 智基, 池田 正孝	潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下ハイブリッド手術。(デジタルポスター)	第31回日本内視鏡外科学会 総会	福岡	2018年12月6日
池田 正孝, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	当院における直腸癌に対する側方リンパ節郭清。(特別演題)	第80回日本臨床外科学会 総会	東京	2018年11月24日
高川 哲也, 角田 洋一, 小島 健太郎, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 堀 和敏, 池内 浩基, 中村 志郎	炎症性腸疾患におけるNDT15 R139Cヘテロ症例でのチオプリン療法の最適化。(ワークショップ)	第9回日本炎症性腸疾患学会 学術集会	京都	2018年11月22日
中尾 紘由美, 板橋 道朗, 小川 真平, 山本 雅一, 池内 浩基, 木村 英明, 杉田 昭, 藤井 久男, 二見 喜太郎, 福島 浩平, 根津 理一郎, 鈴木 康夫	潰瘍性大腸炎の周術期における血栓塞栓症のスクリーニングの前向き研究。(パネルディスカッション)	第9回日本炎症性腸疾患学会 学術集会	京都	2018年11月22日
間山 裕二, 奥川 喜永, 田中 光司, 荒木 俊光, 内田 恵一, 菱田 朝陽, 内野 基, 池内 浩基, 廣田 誠一, 楠 正人, C.Richard Boland, Ajay Goel	直腸粘膜のmicroRNAsメチル化を用いた潰瘍性大腸炎悪化症例の対処上げ。(シンポジウム)	第9回日本炎症性腸疾患学会 学術集会	京都	2018年11月22日
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	当院における潰瘍性大腸炎に対する1期的J型回腸囊肛門吻合術の検討。(ポスターセッション)	第9回日本炎症性腸疾患学会 学術集会	京都	2018年11月22日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎に対する周術期人工肛門管理の現状。(パネルディスカッション)	第9回日本炎症性腸疾患学会 学術集会	京都	2018年11月22日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対し大腸全摘・J型回腸囊肛門吻合術後にileal castを生じた1例。(ポスターセッション)	第9回日本炎症性腸疾患学会 学術集会	京都	2018年11月22日
渡辺 憲治, 上小鶴 孝二, 堀 和敏, 佐藤 寿行, 小島 健太郎, 藤本 晃士, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 内野 基, 樋田 信幸, 池内 浩基, 中村 志郎	サイトメガロウイルス腸炎発症後に腹痛を認めた1例。(症例検討)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月10日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎手術症例におけるBMIとpouch合併症との関連。(要望演題)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月10日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 坂東 俊宏, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	オストミーロッドは双孔式人工肛門作成の際、必要か?	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月10日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 関本 貢嗣, 富田 尚裕	直腸癌局所再発手術における術式の変遷。(要望演題)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月10日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
渡辺 憲治, 高川 哲也, 角田 洋一, 藤森 絢子, 小島 健太郎, 小柴 良司, 藤本 晃土, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 堀 和敏, 池内 浩基, 中村 志郎	NUDT15 R139C C/T ヘテロ症例におけるチオプリン製剤を用いた潰瘍性大腸炎の治療成績。(ワークショップ)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
長野 健太郎, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎に細菌性肝膿瘍を合併した一例。(ポスター)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 内野 基	高齢者潰瘍性大腸炎術後の排便機能とQOL評価。(ポスター)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 後藤 佳子	潰瘍性大腸炎経腸経腸維持療法の現状 - 術後回腸憩室の発症リスクと維持療法について -	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	潰瘍性大腸炎手術における多剤免疫抑制の影響と周術期合併症の予測因子。(シンポジウム)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	初回手術後長期寛解維持が得られたクローン病症例の臨床的特徴 - 早期に再手術となった症例と比較して。(要旨発表)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
馬場谷 章仁, 山野 智基, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	大腸憩室転移に対して手術治療を施行した2例。(ポスター)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
木村 慶, 野田 雅史, 宋 智亨, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 内野 基, 山野 智基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	直腸GIST切除症例の治療成績。(ポスター)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
野田 雅史, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	切除不能大腸癌転移に対するconversion therapyの治療成績。(パネルディスカッション)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
山野 智基, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	取扱い規約へのEX導入による病期変更と予後との関係。(ポスター)	第73回日本大腸肛門病学会 学術集会	東京	2018年11月9日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	多発大腸癌を認めた潰瘍性大腸炎手術症例の検討。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月3日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後, クローン病へと診断が変更となった24症例の検討。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月3日
浜中 美千子, 山野 智基, 今田 絢子, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 小林 政義, 塚本 潔, 野田 雅史, 内野 基, 池内 浩基, 山門 享一郎, 富田 尚裕	直腸癌術後腸管転移, 胸膜腫瘍に対し経皮ラジオ波凝固術を施行した1例。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月3日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	当院におけるクローン病に対するReduced port surgery.	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月3日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 竹末 芳生	クローン病の手術適応は病位期間, 手術回数に影響を受けるのか。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月3日
木村 慶, 池田 正孝, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 小林 政義, 塚本 潔, 野田 雅史, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	直腸癌術所再発に対する確実なRO切除を目指した腹腔鏡併用仙骨合併切除術。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月2日
山野 智基, 浜中 美千子, 今田 絢子, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 小林 政義, 塚本 潔, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	大腸癌患者における部位と遺伝学的背景の検討。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月2日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 塚本 潔, 山野 智基, 内野 基, 宮崎 道彦, 加藤 健志, 野田 雅史, 池内 浩基, 関本 貢嗣, 富田 尚裕	直腸癌術前画像診断に基づく側方リンパ節転移率における検討。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月2日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 内野 基	潰瘍性大腸炎に合併したcolitic cancerに対し術後補助化学療法を施行したstage1,2症例の検討。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会 大会(JDDI/2018 KOBE)	神戸	2018年11月2日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 野田 雅史, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎分割手術例における人工肛門閉鎖時ステロイドカバーの必要性。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会大会(JDDN2018 KOBE)	神戸	2018年11月2日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏	炎症性腸疾患における発癌と血清 p53 抗体価の関連性。(ワークショップ)	第16回日本消化器外科学会大会(JDDN2018 KOBE)	神戸	2018年11月2日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 山野 智基, 池田 正孝, 富田 尚裕	術前診断がつかない colitic cancer の特徴と予後。(デジタルポスターセッション)	第16回日本消化器外科学会大会(JDDN2018 KOBE)	神戸	2018年11月1日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 木村 慶, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 山野 智基, 加藤 健志, 内野 基, 池内 浩基, 関本 貢嗣, 富田 尚裕	【局所進行・再発直腸癌】骨盤内臓器癌に対する骨盤内臓全摘術の現状と展望。(シンポジウム)	第56回日本高治療学会学術集会	横浜	2018年10月20日
山野 智基, 山内 慎一, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕, 杉原 健一	腫瘍マーカーと脈管侵襲を組み合わせた大腸癌治療後の再発予測。(ポスター)	第56回日本高治療学会学術集会	横浜	2018年10月19日
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対する1期J型回腸盲腸肛門吻合術300例の検討	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎における人工肛門閉鎖合併症の検討。(デジタルポスター)	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 池田 正孝, 富田 尚裕	潰瘍性大腸炎に対する適切な手術タイミングと術式の決定。(要旨演題)	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
池田 正孝, 塚本 潔, 植村 守, 三宅 正和, 山野 智基, 内野 基, 野田 雅史, 池内 浩基, 富田 尚裕, 関本 貢嗣	#263と#283をen blocに切除する腹腔鏡下側方リンパ節廓清術。(要旨演題ビデオ)	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病術後症例の妊娠・分娩。(デジタルポスター)	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 池田 正孝, 富田 尚裕	クローン病に合併する colitic cancer の現状。(要旨演題)	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
木村 慶, 山野 智基, 宋 智亨, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 片岡 幸三, 別府 直仁, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	当院の高年齢早期大腸癌における内視鏡切除後の追加切除症例の検討。(示説)	第89回大腸癌研究会	新潟	2018年7月6日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後32年でapical bridgeによる腸閉塞をきたした1例	第201回近畿外科学会	大阪	2018年5月19日
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	クローン病に対して単孔式腹腔鏡補助下回盲部切除, 狭窄形成術を施行した1例	第201回近畿外科学会	大阪	2018年5月19日
木村 慶, 池田 正孝, 塚本 潔, 宋 智亨, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 小林 政義, 野田 雅史, 内野 基, 山野 智基, 池内 浩基, 富田 尚裕	進行・再発直腸癌に対して他臓器合併切除を要する腹腔鏡手術の導入。(デジタルポスター)	第72回手術手技研究会	鳴門	2018年5月11日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕	クローン病の残存小腸長と短腸症候群の関連性	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月21日
山野 智基, 今田 絢子, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 小林 政義, 塚本 潔, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	希少がんに対するPatients derived xenograftを用いた標準治療確立の試み。(サージカルフォーラム)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
野田 雅史, 今田 絢子, 木村 慶, 宋 智亨, 濱中 美千子, 馬場谷 章仁, 小林 政義, 塚本 潔, 山野 智基, 池田 正孝, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	切除不能大腸癌に対するconversion therapy後の再発に対する治療。(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 塚本 潔, 山野 智基, 内野 基, 宮崎 道彦, 加藤 健志, 野田 雅史, 池内 浩基, 関本 貢嗣, 富田 尚裕	進行・再発直腸癌手術における腹腔鏡手術の可能性。(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病の会陰創治療遅延症例の検討.(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
坂東 俊宏, 内野 基, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病術後の再発症例の検討.(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	腸管型ペーチェット病当科初回手術症例の検討.(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病に合併した難治性痔瘻, 膿瘍に対する手術症例95例の検討.(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 富田 尚裕, 池田 正孝, 野田 雅史, 山野 智基, 塚本 潔, 竹末 芳生	潰瘍性大腸炎に合併する発癌症例の臨床病理学的検討.(サージカルフォーラム)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
伊藤 一真, 馬場谷 章仁, 野田 雅史, 今田 絢子, 宋 智亨, 木村 慶, 濱中 美千子, 小林 政義, 塚本 潔, 山野 智基, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	小腸, 大腸に多発した腸胃腫瘍奇形の一例.(研修医セッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月6日
寺内 美紗, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 池内 浩基	クローン病に肛門管癌を合併した2例.(研修医セッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月6日
濱中 美千子, 今田 絢子, 宋 智亨, 木村 慶, 馬場谷 章仁, 小林 政義, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	Lynch 症候群の診断のための Universal screening の当科の現状.(ポスターセッション)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月6日
問山 裕二, 奥川 喜永, 田中 光司, 荒木 俊光, 内田 恵一, 内野 基, 池内 浩基, 廣田 誠一, Richard Boland, Ajay Goel, 楠 正人	Field effect と Epigenetic drift の概念を利用した MicroRNA のメチル化による潰瘍性大腸炎癌化のハイリスク診断【Gastroenterology】	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
木村 慶, 別府 直仁, 今田 絢子, 宋 智亨, 馬場谷 章仁, 濱中 美千子, 小林 政義, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 内野 基, 池田 正孝, 池内 浩基, 富田 尚裕	局所進行下部直腸癌, 術前化学放射線療法に CPT-11 を追加する意義, およびその治療成績	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕, 竹末 芳生	IBD 外科治療の現状と展望【渡邉明先生メモリアルセッション】潰瘍性大腸炎術後の諸問題, Pouch 関連合併症と Pouch 機能について.(シンポジウム)	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
Chohno Teruhiro, Minagawa Tomohiro, Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Bando Toshihiro, Takesue Yoshio, Ikeuchi Hiroki	Can the prognostic index be a predicting factor for mortality and morbidity in intestinal resection of patients with ulcerative colitis? (Poster)	13 th Congress of ECCO	Vienna	2018.2.16
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Kuwahara Ryuichi, Minagawa Tomohiro	Efficacy of pre-operative oral antibiotic prophylaxis for the prevention of wound infections in patients with Crohn's disease. (Poster)	13 th Congress of ECCO	Vienna	2018.2.16
Horio Yuki, Uchino Motoi, Bando Toshihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Kuwahara Ryuichi, Minagawa Tomohiro, Takesue Yoshio, Ikeuchi Hiroki	Association between obesity and pouch-related complications during restorative proctocolectomy in patients with ulcerative colitis. (Poster Session)	The 1 st International Conference of Surgical Infection Society Asia-Pacific	Tokyo	2017.11.29

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Chohn Teruhiro, Uchino Motoi, Horio Yuki, Bando Toshihiro, Ueda Takashi, Ichiki Kaoru, Nakajima Kazuhiko, Tsuchida Toshie, Takahashi Yoshiko, Takesue Yoshio, <u>Ikeuchi Hiroki</u>	Perineal wound healing in Crohn's Disease patient treated with negative-pressure wound therapy. (Poster Session)	The 1 st International Conference of Surgical Infection Society Asia-Pacific	Tokyo	2017.11.29
Uchino Motoi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Bando Toshihiro, Chohn Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Kuwahara Ryuichi, Minagawa Tomohiro, Ueda Takashi, Ichiki Kaoru, Nakajima Kazuhiko, Tsuchida Toshie, Takahashi Yoshiko, Takesue Yoshio	Efficacy of antimicrobial-coated sutures for prevention of wound infection in colorectal surgery -Meta analysis. (Poster Session)	The 1 st International Conference of Surgical Infection Society Asia-Pacific	Tokyo	2017.11.29
Sato Toshiyuki, Takagawa Tetsuya, Kakuta Yoichi, Fujimori Ayako, Koshihara Ryoji, Fujimoto Koji, Kawai Mikio, Kamikozuru Koji, Yokoyama Yoko, Kita Yuko, Miyazaki Takako, Imuro Masaki, Watanabe Kenji, Hida Nobuyuki, Hori Kazutoshi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Nakanura Shiro	Thiopurine-induced Leukopenia Is Associated with a Variant in NUDT15, but Not FTO and RUNX1 in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Diseases.	The 5 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017.6.17
Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Uchino Motoi, <u>Ikeuchi Hiroki</u>	A case of Crohn's disease with carcinoma under the perineal wound after abdominal perineal resection. (Poster)	The 5 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017.6.17
<u>Ikeuchi Hiroki</u>	Surgery for severe refractory ulcerative colitis patients in Japan. (Clinical forum)	The 5 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017.6.17
Shinagawa T, Hata K, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Fukushima K, Sugita A, Suzuki Y, Watanabe T	Time trends and risk factors for reoperation after initial intestinal surgery for Crohn's disease in Japan: A retrospective multicenter study. (Poster)	American Society of Colon & Rectal Surgeons	Seattle	2017.6.11-14
Hata K, Anzai H, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Fukushima K, Sugita A, Suzuki Y, Watanabe T	Ulcerative colitis associated colorectal cancer in Japan: A retrospective multicenter study. (Poster)	American Society of Colon & Rectal Surgeons	Seattle	2017.6.11-14
Horio Yuki, Uchino Motoi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Bando Toshihiro, Chohn Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Hirata Akihiro	Rectal sparing type of ulcerative colitis predicts un-responsibility for pharmacotherapies. (Poster)	American Society of Colon & Rectal Surgeons	Seattle	2017.6.11-14
Uchino Motoi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Bando Toshihiro, Chohn Teruhiro, Hirata Akihiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki	Association between prognostic nutritional index and morbidity/mortality during restorative proctocolectomy in patients with ulcerative colitis. (Poster)	American Society of Colon & Rectal Surgeons	Seattle	2017.6.11-14
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 池田 正孝, 富田 尚裕	小腸病変を合併した劇症寛瘍性大腸炎に対する術式の工夫。(ワークショップ)	第54回日本腹部救急医学会総会	東京	2018年3月9日
蝶野 晃弘, 内野 基, 佐々木 寛文, 池内 浩基	外科的治療が有効であった分類不能型炎症性腸疾患の1例.	第54回日本腹部救急医学会総会	東京	2018年3月8日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	炎症性腸疾患外科における緊急手術症例の現状	第54回日本腹部救急医学会総会	東京	2018年3月8日
内野 基, 池内 浩基, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 岡山 カナ子	【ストーマ造設】ストーマロッドの必要性に関する検討	第35回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	札幌	2018年2月24日
蝶野 晃弘, 内野 基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 池内 浩基	【ストーマ合併症】潰瘍性大腸炎分割手術施行時のoutlet obstruction	第35回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	札幌	2018年2月24日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	バイオ製剤の登場により, クロウン病手術症例の臨床的特徴は変化したのか?。(ワークショップ)	第14回日本消化管学会学術集会	東京	2018年2月10日
堀尾 勇規, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	クローン病術後出血症例の検討	第14回日本消化管学会学術集会	東京	2018年2月9日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 皆川 知洋, 桑原 隆一	潰瘍性大腸炎術後, 回腸囊炎に対する半夏瀉心湯の効果。(ワークショップ)	第14回日本消化管学会学術集会	東京	2018年2月9日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎手術症例の予後予測因子の検討。(ワークショップ)	第14回日本消化管学会学術集会	東京	2018年2月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	炎症性腸疾患における地域連携の現状・外科の立場から。(コアシンポジウム)	第 14 回日本消化管学会学術集会	東京	2018年2月9日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 塚本 潔, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕, 関本 貢嗣	局所進行・再発直腸癌に対する骨盤内臓全摘・骨性骨盤合併切除術の検討。(サージカルフォーラム)	第 30 回日本内視鏡外科学会総会	京都	2017年12月9日
塚本 潔, 池田 正孝, 山野 智基, 小林 政義, 瀧中 美千子, 馬場谷 彰仁, 木村 慶, 宋 智亨, 池内 浩基, 富田 尚裕	横行結腸癌を合併した家族性大腸腺腫症に対する腹腔鏡下大腸全摘術の工夫。(ポスター)	第 30 回日本内視鏡外科学会総会	京都	2017年12月7日
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 宮崎 道彦, 塚本 潔, 山野 智基, 野田 雅史, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕, 関本 貢嗣	腹腔鏡による直腸癌局所再発治療戦略。(ワークショップ)	第 30 回日本内視鏡外科学会総会	京都	2017年12月7日
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	難治性潰瘍性大腸炎に対し大腸全摘術後に ileal cast を認めた 1 例。(ポスターセッション)	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
内野 基, 池内 浩基	クローン病肛門病変, 回腸囊炎の診断と治療	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 竹末 芳生	クローン病手術における術前経口予防抗菌薬の手術部位感染予防効果	第 30 回日本外科感染症学会総会学術集会	東京	2017年11月30日
内野 基, 池内 浩基, 中嶋 一彦, 一木 薫, 植田 貴史, 高橋 佳子, 土田 敏恵, 竹末 芳生	創洗浄と手術部位感染。(シンポジウム)	第 30 回日本外科感染症学会総会学術集会	東京	2017年11月29日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後に回腸囊穿孔をみとめた 2 例。(一般示説)	第 79 回日本臨床外科学会総会	東京	2017年11月25日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎重症例に対する内科的治療法のスイッチは慎重に行うべきである。(ワークショップ特別演題)	第 79 回日本臨床外科学会総会	東京	2017年11月25日
山本 隆行, 田中 敏明, 横山 正, 下山 貴寛, 池内 浩基, 内野 基, 渡邊 聡明	潰瘍性大腸炎術後の抗菌剤抵抗回腸囊炎に対する顆粒球単球除去療法の安全性と有効性:多施設共同前向き研究。(パネルディスカッション)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 池内 浩基	小野寺 Prognostic nutritional index を用いた潰瘍性大腸炎手術症例の検討	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎に合併する発癌症例の検討 術後症例も含めて。(パネルディスカッション)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎術後の pouch 機能に関する検討:多施設アンケート調査結果。(パネルディスカッション)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
神山 篤史, 杉田 昭, 渡邊 聡明, 池内 浩基, 二見 喜太郎, 鈴木 康夫, 仲瀬 裕志, 高橋 賢一, 渡辺 和宏, 福島 浩平	本邦における潰瘍性大腸炎術後小腸出血および重症小腸炎に関する検討。(パネルディスカッション)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後左下腹部に人工肛門を造設市上部消化管通過障害をきたした 1 例。(一般ポスター)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
皆川 知洋, 内野 基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	肛門管癌を合併したクローン病に対し, 腹会陰式直腸切断術を施行した 2 例。(一般ポスター)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
坂東 俊宏, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 池内 浩基	クローン病術後に腸重積を認めた 1 例。(一般ポスター)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎に合併した SAPHO 症候群の一例。(一般ポスター)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎における内科的治療法の進歩と外科治療。(シンポジウム)	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
池内 浩基, 坂東 俊宏, 内野 基	クローン病発癌症例の現状とサーベイランス。(総合プログラム)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月14日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	回腸囊機能率に関する検討.(デジタルポスターセッション)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月14日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規	潰瘍性大腸炎術後, 回腸囊機能率に関する検討.(デジタルポスターセッション)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月14日
蝶野 晃弘, 池内 浩基, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基, 竹末 芳生	クローン病術後の残存病変と再手術に関する検討.(デジタルポスターセッション)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月13日
堀尾 勇規, 池内 浩基, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	胃-空腸吻合バイパス術を施行したクローン病手術症例の検討.(デジタルポスターセッション)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月13日
高川 哲也, 佐藤 寿行, 角田 洋一, 西尾 昭宏, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 木田 裕子, 宮崎 孝子, 飯室 正樹, 樋田 信幸, 堀 和敏, 池内 浩基, 中村 志郎	Diploptype 分類に基づいた NUDT15 活性レベルと炎症性腸疾患患者のチオプリン誘発性白血球減少症及び全脱毛の相関.(デジタルポスターセッション)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月13日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎に合併する発癌症例とサーベイランスとの関連性.(デジタルポスターセッション)	第 59 回日本消化器病学会大会, 第 15 回日本消化器外科学会大会(JDDW 2017)	福岡	2017年10月13日
藤田 征志, 松原 長秀, 松田 育雄, 山野 智基, 藤本 明洋, 宮野 悟, 富田 尚裕, 廣田 誠一, 池内 浩基, 中川 英刀	Colitic cancer の変異解析による Precision Oncology. (Fujita Masashi, Matsubara Nagahide, Matsuda Ikuo, Yamano Tomoki, Fujimoto Akihiro, Miyano Satoru, Tomita Naohiro, Hirota Seiichi, Ikeuchi Hiroki, Nakagawa Hidewaki. Procision oncology by genomic profiling for colitic cancer indicastes potentials for cancer diagnosis and treatment.) (インターナショナルセッション English)	第 76 回日本癌学会学術総会	横浜	2017年9月30日
垣内 伸之, 吉田 健一, 塩澤 裕介, 白石 友一, 桜井 孝規, 坂井 義治, 内野 基, 廣田 誠一, 池内 浩基, 宮野 悟, 丸澤 宏之, 妹尾 浩, 小川 誠司	潰瘍性大腸炎における炎症発癌のゲノム解析	第 76 回日本癌学会学術総会	横浜	2017年9月28日
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後 13 年で発症した J 型回腸囊盲端穿孔の 1 例	第 200 回近畿外科学会	京都	2017年9月2日
蝶野 晃弘, 池内 浩基, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術後の妊娠・分娩についての検討.(ミニオーラル)	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月22日
平田 晃弘, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎術後における肺炎症例の検討	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月22日
堀尾 勇規, 内野 基, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	周術期に真菌性眼内炎を併発した炎症性腸疾患手術症例の検討.(ミニオーラル)	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月22日
高橋 佳子, 竹末 芳生, 内野 基, 池内 浩基	炎症性腸疾患患者における術後 MRSA 保菌状態スクリーニング.(要望演題)	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月20日
内野 基, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 竹末 芳生	【炎症性腸疾患に対する外科治療の変遷と展望】潰瘍性大腸炎手術症例の変遷と予後予測因子.(シンポジウム)	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月20日
池内 浩基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対する 1 期的大腸全摘・J 型回腸囊肛門吻合術.(要望演題・ビデオ)	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月20日
桑原 隆一, 内野 基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎術後 30 年目に回腸囊より high grade dysplasia を合併した 1 例.(示説)	第 87 回大腸癌研究会	四日市	2017年7月7日
堀尾 勇規, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	肛門管粘膜部に癌の合併を認めた潰瘍性大腸炎手術症例の検討.(示説)	第 87 回大腸癌研究会	四日市	2017年7月7日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
奥川 喜永, 問山 裕二, 田中 光司, 荒木 俊光, 内田 恵一, 内野 基, 池内 浩基, 廣田 誠一	Field effect と Epigenetic drift の概念を利用した, MicroRNA メチル化による潰瘍性大腸炎癌化のハイリスク診断	第 87 回大腸癌研究会	四日市	2017年7月7日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	クローン病に合併する発癌症例の現状	第 87 回大腸癌研究会	四日市	2017年7月7日
佐々木 寛文, 内野 基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 池内 浩基	周術期に腹部大動脈瘤破裂を合併したクローン病の1例。(ポスター)	第 42 回日本外科系連合学会学術集会	徳島	2017年6月30日
堀尾 勇規, 池内 浩基, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	メッケル憩室による内鼠径ヘルニアが原因で腸閉塞を来した1例。(ポスター)	第 42 回日本外科系連合学会学術集会	徳島	2017年6月30日
池内 浩基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 内野 基	炎症性腸疾患における地域連携	第 42 回日本外科系連合学会学術集会	徳島	2017年6月29日
蝶野 晃弘, 内野 基, 池内 浩基	【消化器外科領域】臍部 open method 小切開にて手術施行したクローン病症例の検討	第 30 回日本小切開・鏡診外科学会	所沢	2017年6月2日
内野 基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 池内 浩基	難治性慢性回腸囊炎に対する biologics の効果。(ポスターセッション)	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017年4月29日
堀尾 勇規, 内野 基, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	クローン病における短腸症候群についての検討。(ポスターセッション)	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017年4月29日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 後藤 佳子	潰瘍性大腸炎術後の合併症の発症率と術後在院日数。(ポスターセッション)	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017年4月29日
蝶野 晃弘, 内野 基, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎手術症例における予後予測因子としての小野寺 PNI の検討。(ポスターセッション)	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017年4月29日
内野 基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎術後, 回腸囊炎に対する生物学的製剤の効果	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月21日
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏	【IBD 治療における生物学的製剤】これからの課題と対策 クローン病術後にバイオ製剤の予防的投与は必要か。(シンポジウム)	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20日
田中敏宏, 福井寿朗, 深田憲将, 安藤祐吾, 大宮美香, 岡崎和一	抗 TNF 製剤の液量と添加物変更に伴う自己注射時疼痛改善により著明な治療効果を認めたクローン病の1例	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京品川	2017年12月1日
深田憲将 福井寿朗 富山尚 安藤祐吾 岡崎和一	内視鏡検査を施行した感染性大腸炎の検討	第 99 回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	京都市	2017年11月18日
細田修司, 大宮美香, 栗島亜希子, 中山新士, 竹尾元裕, 段原直行, 廣原淳子, 岡崎和一	クローン病やベーチェット病と鑑別を要した家族性地中海熱の一例	第 107 回日本消化器病学会近畿支部例会	大阪市	2017年9月23日
Umeno J, Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Esaki M, Yanai S, Ohmiya N, Hisatatsu T, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hirai F, Hisabe T, Matsui T, Yano T, Kitazono T, Matsumoto T, CEAS Study Group	A nationwide survey of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene in Japan.	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月14日
Fukuda M, Naganuma M, Takabayashi K, Hagihara Y, Tanemoto S, Nomura E, Yoshimatsu Y, Sugimoto S, Nanki K, Mizuno S, Mikami Y, Fukuhara K, Suzino T, Mutaguchi M, Inoue N, Ogata H, Iwao Y, Kanai T	Complete endoscopic remission is not only associated with higher mucosal concentrations of 5-aminosalicylic acid but also with N-acetyl-5-aminosalicylic acid in patients with ulcerative colitis.	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月14日
Ogata H, Motoya S, Watanabe K, Kanai T, Matsui T, Suzuki Y, Shikamura M, Sugiura K, Oda K, Horii T, Araki T, Watanabe M, Hibi T	A phase 3 study of Vedolizumab for induction and maintenance therapy in Japanese patients with moderate to severe Crohn's Disease.	DDW 2019 (AGA)	San Diego	2019年5月21日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Miyanaga R, Sugimoto S, Nanki K, Kimura K, Mikami Y, Mizuno S, Mutaguchi M, Sujino T, Naganuma M, Ogata H, Kanai T	Clinical utility of balloon assisted enteroscopy to evaluate deep small Bowel Lesions of Crohn's Disease.	DDW 2019 (ASGE)	San Diego	2019年5月19日
高林馨、林由紀恵、福田知広、吉松裕介、吉田康祐、杉本真也、南木康作、福原佳代子、三上洋平、筋野智久、牟田口真、細江直樹、長沼誠、緒方晴彦、金井隆典	小腸疾患の診断・治療における内視鏡の進歩	第57回日本小腸学会 学会集會	大阪	2019年11月09日
三上洋平、福田知広、吉松裕介、水野慎大、長沼誠、緒方晴彦、岩男泰、金井隆典	当院における潰瘍性大腸炎に対する tofacitinib の検討	第56回日本消化器免疫 学会総会	京都	2019年8月1日
Ogata H, Hagiwara T, Ito Y, Kawaberi T, Kobayashi M, Hibi T	Safety and effectiveness of adalimumab treatment in 1523 patients with ulcerative colitis: Results from a prospective, multi-centre, observational study.	14th Congress of ECCO	Copenhagen	2019年3月8日
Motoya S, Watanabe K, Ogata H, Kanai T, Matsui T, Suzuki Y, Shinmura M, Sugiura K, Oda K, Hori T, Arai T, Watanabe M, Hibi T	A Phase 3 study of Vedolizumab in Japanese patients with Ulcerative Colitis: Effects on time to disease worsening and treatment failure.	UEGW 2018	Venue	2018年10月23日
Hosoe N, Nakano M, Takeuchi K, Endo Y, Matsuoka K, Omori T, Hayashida M, Kobayashi T, Yoshida A, Mizuno S, Nakazato Y, Naganuma M, Kanai T, Watanabe M, Ueno F, Suzuki Y, Hibi T, Ogata H	Developing a Colon Capsule Endoscopy score to assess the severity of ulcerative colitis: the capsule scoring of ulcerative colitis (CSUC).	DDW 2018 (ASGE)	Washington D.C.	2018年6月3日
Takabayashi K, Hosoe N, Keiko I, Horie T, Miyanaga R, Fukuhara S, Kimura K, Mizuno S, Naganuma M, Ogata H, Kanai T	Clinical utility of ultra-thin single-balloon enteroscopy; a feasibility study.	DDW 2018 (ASGE)	Washington D.C.	2018年6月3日
Watanabe M, Motoya S, Watanabe K, Ogata H, Kanai T, Matsui T, Suzuki Y, Shikamura M, Igeta M, Oda K, Hori T, Araki T, Hibi T	A phase 3 study of vedolizumab for induction and maintenance therapy in Japanese patients with moderately to severely active Ulcerative colitis.	DDW 2018 (AGA)	Washington D.C.	2018年6月2日
福田知広、水野慎大、久武祐太、南木康作、木村佳代子、高林馨、長沼誠、緒方晴彦、岩男泰、金井隆典	重症潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリンによる治療戦略の検討	第9回日本炎症性腸疾患 学会学術集會	京都	2018年11月22日
牟田口真、長沼誠、南木康作、水野慎大、木村佳代子、福田知広、杉本真也、筋野智久、高林馨、井上詠、緒方晴彦、岩男泰、金井隆典	潰瘍性大腸炎における抗TNF 抗体製剤と免疫調節薬併用による効果と予後の検討	第73回日本大腸肛門病 学会学術集會	東京	2018年11月9日
福田知広、長沼誠、杉本真也、大野恵子、南木康作、水野慎大、木村佳代子、牟田口真、高林馨、井上詠、緒方晴彦、岩男泰、金井隆典	Mayo 内視鏡スコア 1 を有する臨床的寛解潰瘍性大腸炎患者に対する治療介入の意義に関する検討	第95回日本消化器内視鏡 学会総会	東京	2018年5月12日
Fukuda T, Naganuma M, Sugimoto S, Ono K, Nanki K, Mizuno S, Kimura K, Mutaguchi M, Takabayashi K, Inoue N, Ogata H, Iwao Y, Kanai T	Efficacy of therapeutic intervention for ulcerative colitis patients with the Mayo Endoscopic Score of 1.	13th Congress of ECCO 2018	Vienna	2018年2月14-17日
Mutaguchi M, Naganuma M, Iwao Y, Fukuda T, Sugimoto S, Nanki K, Mizuno S, Ogata H, Kanai T	Clinical Characteristics in Ulcerative Colitis Patients with Colitis Associated Dysplasia/ Cancer and Sporadic Tumor.	UEGW 2017	Barcelona	2017年10月30日
Fukuda T, Naganuma M, Sugimoto S, Nanki K, Mizuno S, Nakazato Y, Ogata H, Iwao Y, Kanai T	Maintenance Therapy with Lower Dose 5-Aminosalicylate Increases the Clinical Relapse in Patients with Ulcerative Colitis Who Had Previous Use of Corticosteroids.	DDW 2017 (AGA)	Chicago	2017年5月6日
木村佳代子、長沼誠、中里圭宏、緒方晴彦、金井隆典	エンドサイトを用いた潰瘍性大腸炎内視鏡的寛解例における組織学的活動度評価の意義	第105回日本消化器内視鏡 学会関東支部例会	東京	2017年12月10日
牟田口真、長沼誠、杉本真也、南木康作、水野慎大、細江直樹、緒方晴彦、岩男泰、金井隆典	潰瘍性大腸炎における colitis associated dysplasia/ cancer と sporadic tumor の比較	第8回日本炎症性腸疾患 学会学術集會	東京	2017年12月1日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
木村佳代子、水野慎大、長沼誠、緒方晴彦、岩男泰、金井隆典	クローン病の腸管切除後の生物学的製剤導入時期の検討	第 55 回日本小腸学会	京都	2017 年 11 月 21 日
金井隆典	食と免疫 潰瘍性大腸炎への応用	JDDW2019	神戸	2019 年 11 月 22 日
仲哲治, 新崎信一郎, 松岡克善, 水野慎大, 飯島英樹, 金井隆典, 松本主之	免疫疾患: 消化器を症状にする疾患 炎症性腸疾患における疾患活動性マーカーとしての LRG の意義	第 47 回 日本臨床免疫学会総会	札幌	2019 年 10 月 17 日
三上洋平、林 篤史、宮本健太郎、鎌田信彦、佐藤俊朗、水野慎大、長沼 誠、寺谷俊昭、青木 亮、福田真嗣、須田 互、服部正平、天谷雅行、大山 学、金井隆典	腸内細菌叢の異常により引き起こされるピロチン代謝異常および腸管外病変の検討	第 39 回日本炎症・再生医学会 炎症と再生の融合の検討	東京	2018 年 7 月 11 日
中本伸宏、谷木信仁、金井隆典	ヒトフローラ化マウスを用いた原発性硬化性胆管炎病態に寄与する腸内細菌と肝臓内免疫応答の相互作用の解明	第 104 回日本消化器病学会総会	東京	2018 年 4 月 20 日
福田知広, 長沼誠, 金井隆典	潰瘍性大腸炎の治療効果予測に内視鏡所見は有用か?	第 93 回 日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017 年 5 月 12 日
大野 恵子, 水野 慎大, 金井 隆典	潰瘍性大腸炎の再燃予測因子としての腸内細菌叢解析の有用性の検討	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
中里 圭宏, 長沼 誠, 金井 隆典	エンドサイトスコピーを用いた潰瘍性大腸炎内視鏡的寛解例の組織学的活動性評価	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
水野 慎大, 長沼 誠, 金井 隆典	クローン病の腸管切除後の生物学的製剤導入時期の検討	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
福田知広, 長沼 誠, 水野慎大, 南木康作, 中里圭宏, 緒方晴彦, 岩男 泰, 金井隆典	ステロイド使用歴のある潰瘍性大腸炎患者は低用量 5ASA 製剤で再燃しやすい	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
Sakurai T, Akita Y, Miyashita H, Miyazaki R, Maruyama Y, Saito T, Shimada M, Yamazaki T, Kato T, Saruta M	Comparison of Prostaglandin E-Major Urinary Metabolite (PGE-MUM) with fecal calprotectin and fecal immunochemical tests for determining endoscopic remission in patients with ulcerative colitis.	ECCO 2020	Wein, Austria	2020 年 2 月 14 日
Saruta M	PGE-MUM: Potential urinary disease activity biomarker for UC.	CCFA IBD Biomarker Summit.	Newark, USA	2019 年 11 月 19 日
Saruta M	Current treatment strategy for Inflammatory Bowel Disease with Biologics.	WASOG/JSSOG2019	Yokohama, Japan	2019 年 10 月 11 日
Miyazaki R, Sakurai T, Saito T, Shimada M, Miyashita H, Akita Y, Maruyama Y, Saruta M	Consideration of 80 cases with budesonide enema for patients with ulcerative colitis.	AOCC2019	Taipei, Taiwan	2019 年 6 月 15 日
Watanabe K, Esaki M, Oka S, Shimamoto F, Nishishita M, Fukuchi T, Fujii S, Hirai F, Kakimoto K, Inoue T, Nozaki R, Kashida H, Takeuchi K, Ohmiya N, Saruta M, Saito S, Saito Y, Tanaka S, Ajioka Y, Tajir H.	The detection with targeted biopsy and characterization of neoplastic lesions by magnifying chromoendoscopy and NBI in surveillance colonoscopy of patients with ulcerative colitis: A sub-analysis of the navigator study.	DDW2019	San Diego, USA	2019 年 5 月 20 日
Shibuya N, Higashiyama, Nishii S, Mizoguchi A, Inada K, Sugihara N, Hanawa Y, Wada A, Horiuichi K, Furuhashi H, Kurihara C, Hozumi H, Okada Y, Watanabe C, Komoto S, Tomita K, Saruta M, Hokari R	Deoxycholic acid enhances lymphocyte migration to the small intestinal microvessels possibly through enhancing expression of adhesion molecules on epithelium.	DDW2019	San Diego, USA	2019 年 5 月 18 日
猿田雅之	炎症性腸疾患の治療最前線	第 47 回日本潰瘍学会 / 第 21 回日本神経消化器病学会	小田原 日本	2020 年 1 月 16 日
嶋田真梨子, 櫻井俊之, 宮崎亮佑, 宮下春菜, 猿田雅之	ウステキヌマブ (UST) を導入したクローン病 (CD) 症例における、導入前内視鏡初見と UST 有効性についての検討 .	第 109 回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京、日本	2019 年 12 月 14 日
宮崎亮佑, 櫻井俊之, 斎藤知子, 嶋田真梨子, 秋田義博, 宮下春菜, 丸山友希, 山崎琢士, 猿田雅之	当院で潰瘍性大腸炎患者に対してブデゾニド注腸フォーム剤を使用した 131 症例の検討 .	第 10 回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡、日本	2019 年 11 月 29 日
好川謙一, 関裕, 猿田雅之	急性膵炎を合併した全結腸型の潰瘍性大腸炎に対して顆粒球除去療法を施行した一例 .	第 10 回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡、日本	2019 年 11 月 29 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
秋田義博, 櫻井俊之, 嶋田真梨子, 斎藤知子, 宮下春菜, 丸山友希, 宮崎亮佑, 山崎琢士, 猿田雅之	入院加療された潰瘍性大腸炎のステロイド反応別の血清マーカーの検討.	第10回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡、日本	2019年11月29日
澁谷尚希, 東山正明, 西井 慎, 溝口明範, 因幡健一, 杉原奈央, 埴 芳典, 和田晃典, 堀内和樹, 古橋廣崇, 八月朔日英明, 栗原千枝, 岡田義清, 渡辺知佳子, 河本俊介, 富田健吾, 猿田雅之, 穂苅量太	デオキシコール酸は腸管血管内皮細胞の接着分子増加を介してリンパ球マイグレーションを亢進させる.	第10回 日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡、日本	2019年11月29日
猿田雅之	炎症性腸疾患の治療最前線	JDDW2019	神戸、日本	2019年11月22日
澁谷尚樹, 猿田雅之, 穂苅量太	胆汁酸が小腸のリンパ球マイグレーションに与える影響.	JDDW2019	神戸、日本	2019年11月22日
丸山友紀, 櫻井俊之, 宮下春菜, 秋田義博, 宮崎亮佑, 永田祐介, 澤田亮一, 野口正朗, 山崎琢士, 猿田雅之	炎症性腸疾患における血清Zn値動態の検討.	JDDW2019	神戸、日本	2019年11月21日
猿田雅之	クローン病及びその合併症の診断と内視鏡治療	日本内視鏡学会 第46回 重点卒後教育セミナー	横浜、日本	2019年10月6日
猿田雅之	難治性潰瘍性大腸炎の治療戦略	日本消化器病学会 関東支部第356回例会	東京、日本	2019年9月21日
猿田雅之	炎症性腸疾患の病態と治療～エンタビオがもたらす新たな治療の幕開け～	第125回 日本消化器病学会北海道支部例会 / 第119回 日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	札幌、日本	2019年9月7日
山根史嗣, 荒井吉則, 遠藤大輔, 柴田駿, 菊地伊都香, 沼田雄, 稲村高志, 安藤理孝, 小川まい子, 佐藤日向菜, 菅原一朗, 中田達也, 横山寛, 中塚佳奈, 有廣誠二, 穂苅厚史, 猿田雅之	メサラジン製剤不耐症の潰瘍性大腸炎の一例	日本消化器病学会 関東支部第355回例会	東京、日本	2019年7月13日
猿田雅之	IBD診療の最前線	日本大腸肛門病学会 第28回教育セミナー	東京、日本	2019年5月26日
猿田雅之	炎症性腸疾患の診断と治療.	第105回 日本消化器病学会総会	金沢、日本	2019年5月11日
猿田雅之	炎症性腸疾患を診るA to Z～“Anti TNF therapy” to “Zinc supplementation”～	第105回 日本消化器病学会総会	金沢、日本	2019年5月11日
猿田雅之	IBDの新規治療を考える～JAK阻害剤の登場で何が変わるのか?～	第105回 日本消化器病学会総会	金沢、日本	2019年5月10日
松永恭典, 宮崎亮佑, 澤田亮一, 及川恒一, 猿田雅之.	グルテンフリー食にて慢性下痢改善を認めたセリアック病の一例.	日本消化器病学会関東支部第354回例会	東京、日本	2019年4月13日
Watanabe K, Esaki M, Oka S, Shimamoto F, Nishishita M, Fukuchi T, Fujii S, Hirai F, Kakimoto K, Inoue T, Kashida H, Takeuchi K, Ohmiya N, Saruta M, Saito S, Saito Y, Tanaka S, Ajioka Y, Tajiri H	Digital oral presentation; The detection with targeted biopsy and characterisation of neoplastic lesions by magnifying chromoendoscopy and NBI in surveillance colonoscopy of patients with Ulcerative Colitis: A sub-analysis of the Navigator Study	ECCO 2019	Copenhagen, Denmark	2019年3月8日
Ando Y, Sakurai T, Miyashita H, Akita Y, Hachiya M, Maruyama Y, Miyazaki R, Nagata Y, Sawada R, Mitobe J, Mitsunaga M, Yamasaki T, Kato T, Saruta M	Clinical assessment of cases of intestinal Behcet disease treated with anti-TNF- antibody at our hospital.	Falk Symposium 212 IBD and Liver: East Meets West.	Kyoto, Japan	2018年9月8日
Saruta M	[Education Forum: Disease evaluation and updated intervention in IBD] Enroll the decision making with patients	AOCC2018	Shanghai, China	2018年6月22日
Miyazaki R, Sakurai T, Miyashita H, Akita Y, Ando Y, Maruyama Y, Nagata Y, Sawada R, Mitobe J, Mitsunaga M, Yamasaki T, Kato T, Saruta M	Comparison of the cases with or without intestinal perforation in the administration by ustekinumab for Crohn's disease.	AOCC2018	Shanghai, China	2018年6月22日
Shirakabe K, Higashiyama M, Inaba K, Sugihara N, Wada A, Hanawa Y, Horiuchi K, Furuhashi H, Takajo T, Kurihara C, Okada Y, Watanabe C, Komoto S, Tomita K, Saruta M, Hokari R	Blockade of lymphocyte entrance to peyer's patches by inhibition of sphingosine-1-phosphate lyase ameliorates DSS-induced colitis.	DDW2018	Washington, D.C. USA	2018年6月5日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Tanida S, Matsuoka K, Naganuma M, Kitamura K, Matsui T, Arai M, Fujiya M, Horiki N, Nebiki H, Kinjo F, Miyazaki T, Matsumoto T, Esaki M, Mitsuyama K, Saruta M, Ido A, Hojo S, Takenaka O, Oketani K, Imai T, Tsubouchi H, Hibi T, Kanai T	Multiple ascending dose, open-label, phase 1/2 study of E6011, an anti-fractalkine monoclonal antibody, to investigate the safety and clinical response in patients with Crohn's disease.	DDW2018	Washington, D.C. USA	2018年6月4日
Watanabe K, Nishishita M, Shimamoto F, Fukuchi T, Esaki M, Okamoto Y, Maehata Y, Oka S, Fujii S, Hirai F, Matsui T, Kakimoto K, Okada T, Inoue T, Hida N, Nozaki R, Sakurai T, Kashida H, Takeuchi K, Ohmiya N, Saruta M, Saito S, Saito Y, Nakamura S, Tanaka S, Suzuki Y, Ajioka Y, Tajiri H	Relevant factors and significant endoscopic findings for detecting colitis-associated neoplasms using pancolonoscopic narrow band imaging surveillance colonoscopy in patients with ulcerative colitis.: a sub-analysis of the navigator study.	DDW2018	Washington, D.C. USA	2018年6月4日
荒井吉則, 永野智久, 楊 英毅, 時田愛子, 小川まい子, 上田 薫, 遠藤大輔, 菅原一郎, 中田達也, 有廣誠二, 穂効厚史, 蜂谷真未, 猪又寛子, 川原洋輔, 加藤正之, 猿田雅之	小腸カプセル内視鏡検査にて腸閉塞を来した1例	第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会	佐賀、日本	2019年2月3日
猿田雅之	潰瘍性大腸炎における治療戦略を再考する	第107回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京、日本	2018年12月16日
猿田雅之	炎症性腸疾患における内視鏡検査施行のタイミングと意義	第107回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京、日本	2018年12月15日
秋田義博, 櫻井俊之, 宮下春菜, 安藤理孝, 丸山友希, 宮崎亮佑, 永田祐介, 澤田亮一, 三戸部慈実, 山崎琢士, 猿田雅之	大腸狭窄を伴った大腸炎の3例	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都、日本	2018年11月22日
猿田雅之	潰瘍性大腸炎の治療最前線	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都、日本	2018年11月22日
猿田雅之	潰瘍性大腸炎治療のUP TO DATE	JDDW2018 / 第60回日本消化器病学会大会	神戸、日本	2018年11月3日
猿田雅之	IBDのReal World-地域で診るIBD	JDDW2018 / 第60回日本消化器病学会大会	神戸、日本	2018年11月2日
猿田雅之	IBD治療の更なる適正化を目指して	JDDW2018 / 第60回日本消化器病学会大会	神戸、日本	2018年11月1日
内山幹, 大瀧雄一郎, 宮内栄治, 佐藤由美子, 川住雅美, 伊藤鮎美, 荒川廣志, 小井戸薫雄, 猿田雅之, 佐藤信紘, 大草敏史, 大野博司	炎症性腸疾患患者における喫煙による腸内環境の変動	JDDW2018 / 第60回日本消化器病学会大会	神戸、日本	2018年11月1日
猿田雅之	炎症性腸疾患の治療最前線	第33回日本消化器病学会教育講演会	東京、日本	2018年6月24日
猿田雅之	クローン病診療 Update	第106回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京、日本	2018年6月17日
宮崎亮佑, 櫻井俊之, 秋田義博, 宮下春菜, 猿田雅之	当院で経験した回盲部潰瘍を認めた57例の検討	第106回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京、日本	2018年6月16日
猿田雅之	IBD治療戦略: 抗TNF-抗体時代の恩恵と問題点	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京、日本	2018年4月26日
猿田雅之	潰瘍性大腸炎診療新時代; 最新の治療指針を踏まえた治療ストラテジー~ブデソニド注腸フォーム剤の位置づけと適切な使用法~	第104回日本消化器病学会総会	東京、日本	2018年4月21日
宮下春菜, 櫻井俊之, 秋田義博, 蜂谷真未, 丸山友希, 宮崎亮佑, 永田祐介, 筒井佳苗, 澤田亮一, 三戸部慈実, 山崎琢士, 猿田雅之	当院で経験した腸管ペーチェット病に対して抗TNF-製剤を用いた症例の検討	第104回日本消化器病学会総会	東京、日本	2018年4月20日
Hachiya M, Sakurai T, Nagata Y, Hidaka A, Akita Y, Miyashita H, Maruyama Y, Miyazaki R, Noguchi M, Sawada R, Mitobe J, Mitsunaga M, Yamasaki T, Kato T, Saruta M	Clinical assessment of prognosis and the prognostic factors in intestinal Bahcet's disease.	ECCO2018	Vienna, Austria	2018年2月16日
Saruta M	Medical Therapy vs. Surgery for Severe Refractory Ulcerative Colitis in Asia.	AOCC2017	Seoul, Korea	2017年6月17日
Ogawa M, Sawada R, Nishimura T, Ishii A, Tsutsui K, Miyazaki R, Kamba S, Saijo H, Arai Y, Mitobe J, Mitsunaga M, Matsuoka M, Kato T, Saruta M	Small intestine capsule endoscopy for the evaluation of obscure gastrointestinal bleeding in the elderly.	DDW2017	Chicago, USA	2017年5月6日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
秋田義博, 宮下春菜, 蜂谷真未, 丸山友希, 宮崎亮佑, 永田祐介, 澤田亮一, 筒井佳苗, 櫻井俊之, 三戸部慈実, 光永真人, 山崎琢士, 猿田雅之	当院で経験した小腸カプセル排出遅延例の検討	第 11 回カプセル内視鏡学会学術集会	東京、日本	2018年2月11日
猿田雅之	潰瘍性大腸炎のマネジメント～明日から役立つ外来診療の工夫～	第 14 回日本消化管学会総会学術集会	東京、日本	2018年2月10日
猿田雅之	クローン病治療のストラテジーの変換と未来	第 204 回日本消化器病学会東北支部例会 / 第 160 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会	仙台、日本	2018年2月2日
渡辺憲治, 西下正和, 嶋本文雄, 福知工, 江崎幹宏, 岡志郎, 藤井茂彦, 平井郁仁, 井上拓也, 樋田信幸, 野崎良一, 櫻井俊治, 竹内健, 猿田雅之, 齋藤 彰一, 齋藤豊, 大宮直木, 味岡洋一, 川野伶緒, 田中信治	IBD 発症における諸問題 潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における NBI 観察と色素内視鏡観察のランダム化比較試験 Navigator Study	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡、日本	2017年11月10日
猿田雅之	難治性潰瘍性大腸炎の治療戦略 外科治療を考慮した薬物治療	JDDW2017 / 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会	福岡、日本	2017年10月14日
筒井佳苗, 石井彩子, 小川まい子, 宮崎亮佑, 西村尚, 野口正朗, 伊藤公博, 澤田亮一, 星野優, 西條広起, 荒井吉則, 中尾裕, 三戸部慈実, 光永真人, 有廣誠二, 松岡美佳, 加藤智弘, 猿田雅之	クローン病の狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術後の抗 TNF 製剤投与の検討	JDDW2017 / 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会	福岡、日本	2017年10月13日
猿田雅之	炎症性腸疾患の病態とメカニズム～接着分子の役割も含めて～	JDDW2017 / 第 59 回日本消化器病学会大会	福岡、日本	2017年10月12日
猿田雅之	IBD 治療における Shared Decision Making 導入と医療現場での取り組み	JDDW2017 / 第 59 回日本消化器病学会大会	福岡、日本	2017年10月12日
星野優, 橋本尚詞, 有廣誠二, 猿田雅之, 日下部守昭	BALB/cA 由来の間葉系幹細胞(MSCs)は、C57BL 由来 MSCs よりも DSS 誘発性腸炎モデルにおいて抗炎症効果を有する	JDDW2017 / 第 59 回日本消化器病学会大会	福岡、日本	2017年10月12日
齋藤知子, 秋田義博, 丸山友希, 三戸部慈実, 及川恒一, 猿田雅之	顕微鏡的多発血管炎(MPA)の経過中に併発した大腸炎の1例	日本消化器病学会第 346 回関東支部例会	東京、日本	2017年9月30日
宮下竜文, 鈴木静香, 内山幹, 大瀧雄一郎, 沖 沙佑美, 金井友哉, 星野優, 高見信一郎, 伊藤善翔, 齋藤恵介, 松本喜弘, 梶原幹生, 小井戸薫雄, 村上友梨, 松本倫, 毛利貴, 河原秀次郎, 猿田雅之	イレウス管留置に起因した腸重積をイレウス管抜去により整復しえたクローン病の一例	日本消化器病学会第 346 回関東支部例会	東京、日本	2017年9月30日
猿田雅之	いま見直す、クローン病治療ストラテジー ～ブデソニド登場でどう変わるか～	第 54 回日本消化器免疫学会総会	東京、日本	2017年9月29日
猿田雅之	原点から未来へ カプセル内視鏡の将来性	第 93 回日本消化器内視鏡学会総会	大阪、日本	2017年5月11日
猿田雅之	IBD 治療におけるヒュミラの位置づけと役割「クローン病」	第 103 回日本消化器病学会総会	東京、日本	2017年4月20日
Arai N, Kudo T, Kashiwagi K, Ito N, Tokita K, Yoshimura R, Oka I, Kyodo R, Sato M, Miyata E, Hosoi K, Matsumura S, Ikuse T, Jimbo K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	The expression of oncogenic molecules in pediatric ulcerative colitis	The 7th Annual meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Taipei, Taiwan	2019.6.15
佐藤真教, 工藤孝広, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宣一, 清水俊明	小児炎症性腸疾患患児のトランジションにおける取り組み	第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019.11.29
細井賢二, 柏木項介, 伊藤夏希, 徳島香央里, 時田万英, 丘逸宏, 新井喜康, 佐藤真教, 京戸玲子, 宮田恵理, 箕輪圭, 幾瀬圭, 神保圭佑, 工藤孝広, 大塚宣一, 清水俊明	小児期発症炎症性腸疾患関連膵炎と高アミラーゼ/リパーゼ血症に関する当科 10 年間の検討	第 10 回日本炎症性腸疾患学会	福岡	2019.11.29
佐藤真教, 工藤孝広, 伊藤夏希, 時田万英, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宣一, 清水俊明	当科における潰瘍性大腸炎患児へのステロイド療法と外科的治療についての検討	第 46 回小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019.11.2
新井勝大, 石毛崇, 工藤孝広, 岡崎康司, 江口英孝, 神保圭佑, 竹内一朗, 西澤拓哉, 清水俊明	超早期発症型炎症性腸疾患に対するチームレスな診断・治療・研究体制の構築 研究.	第 46 回小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019.11.2

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
京戸玲子, 清水泰岳, 竹内一朗, 平野友梨, 伊藤夏希, 宇佐美雅章, 佐藤琢郎, 清水俊明, 新井勝大.	国立成育医療研究センターにおける小児期発症炎症性腸疾患の診療経験.	第 46 回小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019.11.2
伊藤夏希, 竹内一朗, 京戸玲子, 宇佐美雅章, 佐藤琢郎, 清水泰岳, 平野友梨, 清水俊明, 新井勝大.	潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更となった症例の検討	第 46 回小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019.11.2
新井喜康, 神保圭佑, 工藤孝広, 伊藤夏希, 時田万英, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 細井賢二, 幾瀬圭, 大塚宜一, 小坂征太郎, 矢崎悠太, 越智崇徳, 山高篤行, 竹内一朗, 清水泰岳, 新井勝大, 吉村聡, 加藤元博, 清水俊明.	IL-10 受容体異常による超早期発症型炎症性腸疾患	第 10 回関東甲越免疫不全症研究会	東京	2019.9.29
佐藤真教, 工藤孝広, 伊藤夏希, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明	小児潰瘍性大腸炎の重症度における経年的変化の検討	第 167 回お茶の水木曜勉強会	東京	2019.5.9
佐藤真教, 工藤孝広, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 青柳陽, 大塚宜一, 清水俊明.	小児の炎症性腸疾患患者におけるトランジションの検討.	第 122 回日本小児科学会学会集會	石川	2019.4.21
佐藤真教, 神保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 新井喜康, 吉村良子, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 幾瀬圭, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明	大腸内視鏡検査による病型分類に基づいた潰瘍性大腸炎の病型進行に関する検討	第 122 回日本小児科学会学会集會	石川	2019.4.20
新井喜康, 神保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 細井賢二, 工藤孝広, 大塚宜一, 小坂征太郎, 矢崎悠太, 越智崇徳, 山高篤行, 竹内一朗, 清水泰岳, 新井勝大, 吉村聡, 加藤元博, 清水俊明.	IL-10 受容体異常による超早期発症型炎症性腸疾患と診断した 1 乳児例	第 122 回日本小児科学会学会集會	石川	2019.4.20
細井賢二, 新井勝大, 清水泰岳, 宮入烈, 亀井宏一, 伊藤秀一, 藤原武男, 清水俊明.	小児炎症性腸疾患患者における B 型肝炎ワクチン接種の効果と安全性.	第 122 回日本小児科学会学会集會	石川	2019.4.20
Oka I, Miyazaki O, Takeuchi I, Shimizu H, Shimizu T, Arai K.	MR-enterography with diffusion weighted imaging and apparent diffusion coefficient map for detecting and assessing inflammatory bowel disease in children and adolescents.	Advances in Inflammatory Bowel Diseases	Orlando, Florida, USA.	2018.12.15
Sato M, Kudo T, Ito N, Tokita K, Yoshimura R, Oka I, Arai N, Kyodo R, Miyata E, Hosoi K, Matsumura S, Ikuse T, Jimbo K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	The transition of pediatric inflammatory bowel disease.	The 14th Asian Pan - Pacific Society of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition Meeting	Bangkok, Thailand.	2018.10.24
Tokita K, Shimizu H, Takeuchi I, Shimizu T, Arai K.	Experience using golimumab for childhood onset ulcerative colitis.	The 6th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis.	Shanghai, China.	2018.6.23
新井喜康, 工藤孝広, 伊藤夏希, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明.	分類不能型炎症性腸疾患の 1 幼児例.	第 3 回 Pediatric IBD Case Conference (PIBD-CC)	東京	2018.12.1
工藤孝広, 虻川大樹, 中山佳子, 世川修, 内田恵一, 清水俊明.	小児消化器内視鏡全国調査 実施現状と偶発症.	第 7 回日本小児診療多職種研究会.	北九州	2018.11.24
佐藤真教, 神保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 幾瀬圭, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明.	小児期発症の潰瘍性大腸炎における病型進行に関する検討.	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学会集會	京都	2018.11.22
時田万英, 清水泰岳, 竹内一朗, 清水俊明, 新井勝大.	成育医療研究センターにおける小児期発症潰瘍性大腸炎に対するゴリムマブの使用経験.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	大宮	2018.10.7

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
佐藤真教, 神保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 幾瀬圭, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明.	当科における大腸内視鏡検査による病型分類に基づいた潰瘍性大腸炎の病型進行に関する検討.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	大宮	2018.10.7
丘逸宏, 竹内一朗, 清水泰岳, 清水俊明, 新井勝大.	小児 IBD 患者における MR enterography の実施経験.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	大宮	2018.10.7
細井賢二, 新井勝大, 清水泰岳, 宮入烈, 亀井宏一, 伊藤秀一, 藤原武男, 清水俊明.	小児炎症性腸疾患患者における B 型肝炎ワクチン接種の効果・安全性と免疫学的評価.	z x	大宮	2018.10.7
新井喜康, 神保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 幾瀬圭, 竹内一朗, 清水泰岳, 小坂征太郎, 矢崎悠太, 越智崇徳, 工藤孝広, 新井勝大, 大塚宜一, 山高篤行, 清水俊明.	IL-10 受容体異常症と診断した超早期発症型炎症性腸疾患の 1 乳児例.	第 45 回日本小児内視鏡研究会	東京	2018.7.7
佐藤真教, 工藤孝広, 伊藤夏希, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明.	当科における潰瘍性大腸炎の重症度の経年的変化についての検討.	第 45 回日本小児内視鏡研究会	東京	2018.7.7
Arai N, Kudo T, Aoyagi Y, Tokita K, Yoshimura R, Oka I, Kyodo R, Sato M, Miyata E, Hosoi K, Matsumura S, Obayashi N, Ikuse T, Jimbo K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Effectiveness of biological agents for the treatment of pediatric Crohn's disease with anal fistula.	The Taiwan-Japan-Korea Joint Meeting & 2017 Annual Meeting of Taiwan Society of Pediatric Gastroenterology, Hepatology, and Nutrition,	Taipei, Taiwan.	2017.12.2
Oka I, Funayama R, Takeuchi I, Shimizu H, Shimizu T, Arai K.	Predictors of small intestine transit time of video capsule endoscopy in children and adolescents with inflammatory bowel disease.	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Seoul, Korea.	2017.6.17
Arai N, Kudo T, Aoyagi Y, Tokita K, Yoshimura R, Oka I, Kyodo R, Sato M, Miyata E, Hosoi K, Matsumura S, Obayashi N, Ikuse T, Jimbo K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Fifteen cases of pediatric Crohn's disease with anal fistula in single center in Japan.	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Seoul, Korea.	2017.6.16
Hosoi K, Kudo T, Tokita K, Oka I, Yoshimura R, Arai N, Sato M, Kyodo R, Miyata E, Matsumura S, Obayashi N, Jimbo K, Ikuse T, Aoyagi Y, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Characteristics of very early onset inflammatory bowel disease at a single center in Japan.	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Seoul, Korea.	2017.6.15
佐藤真教, 工藤孝広, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 青柳陽, 大塚宜一, 清水俊明.	当科の小児炎症性腸疾患患児におけるトランジションの検討.	第 14 回日本消化管学会総会学術集会.	東京	2018.2.9
時田万英, 清水泰岳, 竹内一朗, 清水俊明, 新井勝大.	小児期発症潰瘍性大腸炎に対するゴリムマブの使用経験.	第 18 回日本小児 IBD 研究会	東京	2018.2.4
佐藤真教, 工藤孝広, 青柳陽, 時田万英, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明.	難治性 IBD-U の 1 例.	第 2 回 Pediatric IBD Case Conference .	東京	2017.12.16
細井賢二, 工藤孝広, 新井勝大, 清水泰岳, 大塚宜一, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫, 清水俊明.	本邦における超早期発症型炎症性腸疾患の疫学的全国調査.	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会.	東京	2017.12.1
新井喜康, 工藤孝広, 青柳陽, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明.	当科における痔瘻を合併した小児 Crohn 病症例のまとめ.	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会.	福岡	2017.10.22
細井賢二, 工藤孝広, 時田万英, 新井喜康, 佐藤真教, 京戸玲子, 宮田恵理, 神保圭佑, 幾瀬圭, 青柳陽, 大塚宜一, 清水俊明.	当院における very-early-onset IBD 患者 10 例の検討.	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017.10.22

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
佐藤真教, 工藤孝広, 青柳陽, 時田万英, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明.	潰瘍性大腸炎を疑う経過を示した若年性ポリープ、血管腫、直腸癌の3例.	第44回日本小児栄養消化器肝臓学会.	福岡	2017.10.21
吉村良子, 時田万英, 新井喜康, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 細澤麻里子, 青柳陽, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明.	潰瘍性大腸炎の治療経過中に著明な体重減少をきたし神経性食欲不振症と診断した1例.	第44回日本小児栄養消化器肝臓学会.	福岡	2017.10.21
佐藤真教, 工藤孝広, 青柳陽, 時田万英, 丘逸宏, 新井喜康, 京戸玲子, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 大林奈穂, 幾瀬圭, 神保圭佑, 大塚宜一, 清水俊明.	当科で経験した痔瘻合併小児Crohn病のまとめ.	第156回お茶の水木曜勉強会	東京	2017.5.11
A.Sugita, K.Koganei, R.Futatsuki, H.Kuroki, H.Kimura, T.Fukushima	Dose the Postoperative Inflammation in J Pouch and Anal Canal Need Treatment in Ulcerative Colitis Patients with Pouch Surgery? Historical Examination and New Treatment with Budesonide Foam Pouchitis	ASCRS 2019	Cleveland, Ohio	2019年6月4日
H.Kimura, R.Kunisaki, K.Tatsumi, K.Koganei, A.Sugita, I.Endo	One Stage Restorative Proctocolectomy with a Stapled Ileal Pouch-anal Anastomosis Using Hand-assisted Laparoscopic Surgery (HALS) and Laparoscope-assisted Open Surgery (LAOS) Procedure for Ulcerative colitis	ASCRS 2019	Cleveland, Ohio	2019年6月3日
K.Tatsumi, A.Sugita, K.Koganei, R.Futatsuki, H.Kuroki, H.Kimura, T.Fukushima	Short and Long-term Outcomes of One-stage Stapled Ileal Pouch Anal Anasomosis for Ulcerative colitis	ASCRS 2019	Cleveland, Ohio	2019年6月3日
岩見穂衣, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 中尾詠一, 杉田昭	中毒症状を伴わない巨大結腸癌を合併した重症潰瘍性大腸炎の一例	日本消化器病学会関東支部第357回例会	東京	2019年12月7日
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 中尾詠一, 杉田昭	クローン病に合併した結腸癌の臨床学的特徴と予後	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
中尾詠一, 小金井一隆, 黒木博介, 二木了, 辰巳健志, 杉田昭	直腸腫瘍を合併した潰瘍性大腸炎症例の治療と臨床経過の検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
二木了, 小金井一隆, 辰巳健志, 黒木博介, 中尾詠一, 荒井勝彦, 杉田昭, 福島恒男	肛門内圧検査と排便機能からみた70歳以上の潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門管吻合術の妥当性	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
黒木博介, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 中尾詠一, 杉田昭	大腸全摘29年後に回腸囊内に迷入した腸上皮に由来する癌を発症した潰瘍性大腸炎の1例	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
中尾詠一, 小金井一隆, 黒木博介, 二木了, 辰巳健志, 杉田昭	術前診断が可能であったクローン病合併小腸癌の2例	JDDW2019	神戸	2019年11月23日
木村英明, 千田圭悟, 国崎玲子, 辰巳健志, 小金井一隆, 杉田昭, 遠藤格	回腸囊肛門管吻合術の大腸粘膜残存に対するBody mass indexの影響	JDDW2019	神戸	2019年11月23日
二木了, 小金井一隆, 辰巳健志, 黒木博介, 中尾詠一, 荒井勝彦, 杉田昭, 福島恒男	高齢者潰瘍性大腸炎手術症例における手術時期の検討	JDDW2019	神戸	2019年11月23日
黒木博介, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 中尾詠一, 荒井勝彦, 杉田昭	腸管ペーチェット病と単純性潰瘍に対する手術例の臨床経過	JDDW2019	神戸	2019年11月22日
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 中尾詠一, 木村英明, 杉田昭	小腸大腸癌を合併したクローン病症例の臨床学的特徴と経過	JDDW2019	神戸	2019年11月21日
辰巳健志, 杉田昭, 小金井一隆	潰瘍性大腸炎に対する手術治療の現状からみた治療方針 重症例について	JDDW2019	神戸	2019年11月21日
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 中尾詠一, 木村英明, 杉田昭	クローン病の難治性直腸肛門病変に対する直腸切断術施行例の長期経過	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月12日
辰巳健志, 杉田昭, 小金井一隆, 二木了, 黒木博介, 中尾詠一, 木村英明, 荒井勝彦, 福島恒男	潰瘍性大腸炎合併癌に対する至適術式の検討	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月12日
杉田昭, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 荒井勝彦, 中尾詠一, 木村英明, 福島恒男	Crohn病に合併した直腸肛門管癌の臨床的特徴と治療経過からみた治療法の検討	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月12日
黒木博介, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 中尾詠一, 荒井勝彦, 杉田昭	高齢者クローン病の手術例からみた臨床経過と治療成績	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月11日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、中尾詠一、荒井勝彦、杉田昭、福島恒男	高齢者潰瘍性大腸炎手術症例における手術時期の検討	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月11日
立入仁美、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、中尾詠一、杉田昭	腸管型パーチェット病の穿孔に対する手術後出血をきたした一例	日本消化器病学会関東支部第356回例会	東京	2019年9月21日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、荒井勝彦、杉田昭	クローン病の直腸切断術後の会陰創に対する陰圧閉鎖療法の有用性と問題点	第74回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月19日
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、木村英明、杉田昭	就労、就学期の潰瘍性大腸炎難治例に対する外科治療至適選択時期と術式	第74回日本消化器外科学会総会		2019年7月18日
木村英明、千田圭吾、橋本悠、池田礼、小柏剛、国崎玲子、辰巳健志、小金井一隆、杉田昭、遠藤格	Crohn病の吻合法に求められるものは何か?	第74回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月18日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	小児潰瘍性大腸炎手術例の術後長期経過の検討	第74回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、荒井勝彦、杉田昭、福島恒男	70歳以上の潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門管吻合術手術例の排便機能についての検討	第74回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、荒井勝彦、木村英明、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する小開腹による一期的J型回腸囊肛門管吻合術の手術手技	第74回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、荒井勝彦、杉田昭、福島恒男	高齢者潰瘍性大腸炎手術症例における術後肺合併症	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、荒井勝彦、杉田昭	残存小腸長100cm以下のクローン病の特徴と予後	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎合併 dysplasia の術前診断の問題点	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志	Crohn病に対する抗TNF製剤の効果と治療例の予後	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
小金井一隆、辰巳健志、杉田昭	潰瘍性大腸炎難治に対する手術例への術前内科治療の影響と外科治療の効果	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、木村英明、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する外科治療の成績と方向性	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月20日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する Pouch 手術後の発癌症例の検討	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月20日
木村英明、田村裕子、三井智広、橋本悠、池田礼、小柏剛、国崎玲子、辰巳健志、小金井一隆、杉田昭、遠藤格	生物学的製剤時代におけるクローン病腸管病変手術の長期予後	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月20日
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、杉田昭	クローン病に合併した小腸大腸癌症例の臨床学的特徴と予後	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月18日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、杉田昭	クローン病に合併した消化管膀胱瘻に対する手術と長期経過に関する検討	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月18日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、木村英明、荒井勝彦、杉田昭、福島恒男	潰瘍性大腸炎術後70歳以上の排便機能についての検討	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月18日
小峰佑奈、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、杉田昭、林宏行、横山薫	発症後短期間で早期小腸癌を合併したクローン病の1例	日本消化器病学会 関東支部第354回例会	東京	2019年4月13日
中尾詠一、小金井一隆、黒木博介、二木了、辰巳健志、杉田昭	80歳代で手術を施行したクローン病の1例	日本消化器病学会 関東支部第354回例会	東京	2019年4月13日
Akira.Sugita,Kazutaka.Koganei,Kenji.Tatsumi, Ryo.Futatsuki, Hirotsuke.Kuroki, Hideaki.Kimura, Tsuneo.Fukushima	Is it Possible to Predict Postoperative Recurrence in the Anastomotic Site After Initial Intestinal Resection With Crohn's Disease?	ASCRS 2018	Nashville	2018年5月21日
Hideaki.Kimura,Reiko.Kunisaki,Kenji.Tatsumi, Kazutaka.Koganei Akira.Sugita, Itaru.Endo	High Body Mass Index as a Risk Factor for a Large Amount of Retained Rectal Mucosa After Stapled Ileal Pouch-Anal Anastomosis for Ulcerative colitis	ASCRS 2018	Nashville	2018年5月21日
松島小百合、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、杉田昭	潰瘍性大腸炎の診断で加療中に腸閉塞を合併し、術後にクローン病合併 colitic cancer と判明した1例	日本消化器病学会 関東支部第352回例会	東京	2018年12月1日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、荒井勝彦、杉田昭	クローン病出血例の臨床経過と特徴	第80回日本臨床外科学会総会	東京	2018年11月22日
木村英明、田村裕子、三井智広、橋本悠、池田礼、小柏剛、国崎玲子、辰巳健志、小金井一隆、杉田昭、遠藤格	重症潰瘍性大腸炎治療における内科と外科の連携	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、荒井勝彦、杉田昭、福島恒男	高齢者潰瘍性大腸炎手術例における術後合併症からみた手術のタイミング	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、荒井勝彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎に対するブデソニド注腸フォーム剤の有用性の検討	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、荒井勝彦、木村英明、杉田昭	クローン病の直腸肛門病変に対する直腸切断術の術後成績の現状と課題	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、小原尚、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する一期的大腸全摘回腸嚢肛門管吻合術の治療成績	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、荒井勝彦、杉田昭	腸管ペーチェット病と単純性潰瘍の手術例の特徴と経過	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、木村英明、杉田昭	潰瘍性大腸炎難治例に対する外科治療の有用性	JDDW2018	神戸	2018年11月3日
松島小百合、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、杉田昭、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸嚢肛門管吻合術後の腸閉塞に回腸嚢固定術を施行した症例の臨床経過	JDDW2018	神戸	2018年11月3日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆	潰瘍性大腸炎合併大腸癌の術前診断の現状と問題点	JDDW2018	神戸	2018年11月2日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、松島小百合、荒井勝彦、杉田昭	潰瘍性大腸炎穿孔による手術例の検討	JDDW2018	神戸	2018年11月1日
Akira Sugita, kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi	Anorectal cancer with Crohn's disease including cancer of anal fistula and the cancer surveillance program in Japan	JDDW2018	神戸	2018年11月1日
加藤諒、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、林宏行、杉田昭	発症後短期間で進行直腸癌を合併した潰瘍性大腸炎の1例	日本消化器病学会関東支部第351回例会	東京	2018年9月22日
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、木村英明、杉田昭	クローン病の難治性直腸肛門病変に対する直腸切断術のタイミング	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、荒井勝彦、小原尚、木村英明、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する回腸嚢肛門管吻合術後内視鏡検査による回腸嚢、肛門管の病理所見と癌サーベイランス	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
木村英明、高橋直行、国崎玲子、辰巳健志、小金井一隆、杉田昭、遠藤格	Body mass index 高値は回腸嚢肛門管吻合術における残存大腸粘膜増加の危険因子である	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、小原尚、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	大腸癌合併潰瘍性大腸炎手術例における肛門管の癌・dysplasia 発生率のリスク因子	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、小原尚、木村英明、荒井勝彦、杉田昭、福島恒男	潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎合併症例の臨床経過と問題点	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、小原尚、松島小百合、荒井勝彦、福島恒男、杉田昭	クローン病の難治性直腸肛門病変に対する直腸空置症例の経過と問題点	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
松島小百合、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、杉田昭	クローン病術後症例の妊娠・出産の現状と留意点	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
小金井一隆、辰巳健志、杉田昭	手術例からみた抗 TNF- 抗体製剤治療を行ったクローン病症例の問題点と対策	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月21日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、小原尚、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	浸潤型の肉眼分類を有した大腸癌合併潰瘍性大腸炎の特徴	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月19日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、荒井勝彦、小原尚、杉田昭、福島恒男	高齢者潰瘍性大腸炎手術症例における術後肺合併症の検討	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月19日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、小原尚、荒井勝彦、福島恒男、杉田昭	Intestinal failure を合併した残存小腸長 150cm 以下のクローン病の特徴と経過	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月19日
辰巳健志、杉田昭、小金井一隆、二木了、黒木博介、小原尚、木村英明、荒井勝彦、福島恒男	大腸癌合併潰瘍性大腸炎手術例の肛門管粘膜除去部における癌・dysplasia 発生率	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
黒木博介、小金井一隆、辰巳健志、二木了、小原尚、荒井勝彦、福島恒男、杉田昭	潰瘍性大腸炎術後回腸嚢不全の長期経過の検討	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月7日
二木了、小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、荒井勝彦、小原尚、杉田昭、福島恒男	50歳以上で大腸全摘・回腸嚢肛門管吻合術が行われた症例の術後排便機能についての検討	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月6日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
木村英明、高橋弘毅、橋本悠、西尾匡史、大竹はるか、小柏剛、国崎玲子、辰巳健志、小金井一隆、杉田昭、遠藤格	クローン病腸管病変手術の現況と展望	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、二木了、杉田昭	潰瘍性大腸炎に対する外科治療の現況	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、荒井勝彦、小原尚、木村英明、福島恒男	Crohn 病初回腸管切除後症例の術後再発による再手術例の病態に関する検討	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
Sugita A	State-of-the-Art Treatment of Large Bowel Neoplasia Complicating IBD	ASCRS 2017	Seattle	2017年6月12日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、荒井勝彦、木村英明、福島恒男	Crohn 病に合併した直腸肛門癌の予後と癌サーベイランス法の有用性の検討	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月12日
杉田昭、山田恭子、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、荒井勝彦、小原尚、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊手術後回腸囊粘膜の形態と難治性潰瘍性大腸炎に対する治療法の検討	JDDW2017	福岡	2017年10月13日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、山田恭子、小菅経子、荒井勝彦、木村英明、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する小開腹による一期的J型回腸囊肛門吻合術の手法の工夫	第72回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月20日
杉田昭、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、山田恭子、小菅経子、荒井勝彦、小原尚、木村英明、福島恒男	Crohn 病に対する狭窄形成術の術後再発の検討	第117回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017年4月27日
Nakase H	Can TDM guide us to de-escalate?	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Taipei	2019年6月14-16日
仲瀬裕志	炎症と鉄代謝 - IBD 領域における新規鉄欠乏性貧血治療剤の位置づけ	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
仲瀬裕志	IBD 病態における JAK pathway の重要性	第61回日本消化器病学会大会	神戸	2019年11月23日
仲瀬裕志	Role of biosimilars in IBD : What you need to know now	第61回日本消化器病学会大会	神戸	2019年11月21日
横山佳浩、飯田智哉、風間友江、平山大輔、我妻康平、山野泰穂、仲瀬裕志	回腸末端炎による狭窄に対して内視鏡的バルーン拡張術を施行した MEFV 遺伝子関連腸炎の1例	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
具 潤亜、星 奈美子、大井 充、竹中春香、徳永英里、宮崎はるか、明本由衣、櫻庭裕文、飯田智哉、仲瀬裕志、児玉裕三	クローン病との鑑別を要した家族性地中海熱の1例	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
仲瀬裕志	日本における今後の IBD 診療への取り組み方について 病診連携の重要性	第7回十勝地区 IBD 研究会	帯広	2019年10月23日
横山佳浩、飯田智哉、風間友江、平山大輔、我妻康平、山野泰穂、仲瀬裕志	回腸末端炎を呈しクローン病との鑑別を要した MEFV 遺伝子関連腸炎の1例	第47回日本臨床免疫学会総会	札幌	2019年10月17-19日
仲瀬裕志	炎症性腸疾患鑑別診断としての家族性地中海熱遺伝子関連腸炎	第47回日本臨床免疫学会総会	札幌	2019年10月17-19日
仲瀬裕志	免疫学的観点から炎症性腸疾患治療を考える	第47回日本臨床免疫学会総会	札幌	2019年10月17-19日
大和田紗恵、山下健太郎、秋田浩太郎、一柳亜貴子、横山佳浩、風間友江、三橋 慧、仲地耕平、能正勝彦、山野泰穂、仲瀬裕志	ステロイド抵抗性 Cronkhite-Canada 症候群の2例	第125回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2019年9月7-8日
金高弘典、有村佳昭、三浦克予志、井上 亮、沼田泰尚、佐々木 基、大橋広和、矢花 崇、近藤吉宏、飯田智哉、仲瀬裕志	NUDT15 リスクアレルホモ接合体の臨床経過	第125回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2019年9月7-8日
齋藤大祐、日比則孝、尾崎 良、菊地翁輝、佐藤太龍、徳永創太郎、箕輪慎太郎、池崎修、三井達也、三浦みき、櫻庭彰人、林田真理、仲瀬裕志、久松理一	コルヒチンが有効な MEFV 遺伝子関連腸炎が IBDU に紛れている	第56回日本消化器免疫学会総会	京都	2019年8月1-2日
伊藤貴博、前本篤男、桂田武彦、田中浩紀、本谷 聡、上野伸展、藤谷幹浩、蘆田知史、仲瀬裕志	クローン病に対するウステキヌマブの有効性と安全性 ~ Phoenix Retrospective Cohort Study in Hokkaido ~	第56回日本消化器免疫学会総会	京都	2019年8月1-2日
我妻康平、飯田智哉、南 尚希、松浦 稔、平山大輔、川上賢太郎、野島正寛、池内浩基、廣田誠一、白川龍太郎、堀内久徳、仲瀬裕志	低分子量 GTP 蛋白質 Ral とインフラマソームとの関連から見た炎症性大腸炎癌機序の解明	第56回日本消化器免疫学会総会	京都	2019年8月1-2日
仲瀬裕志	粘膜治癒達成へのチャレンジ ~ 課題と治療戦略 ~ . 潰瘍性大腸炎診療におけるモニタリングの最適化	第97回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019年6月2日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
仲瀬裕志	The involvement of cytomegalovirus in the pathophysiology of inflammatory bowel disease	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月9-11日
Iida T, Nojima M, Nakase H	Therapeutic efficacy and adverse events of tacrolimus in patients with Crohn's disease: systematic review and meta-analysis	The Asian Pacific Association of Gastroenterology	Cebu City	2018年9月7-8日
Iida T, Nojima M, Nakase H	Therapeutic efficacy and adverse events of tacrolimus in patients with Crohn's disease: a systematic review and meta-analysis	Digestive Disease Week2018	Washington	2018年6月2-5日
仲瀬裕志	Novel therapies targeting several immune pathways for ulcerative colitis	第118回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	札幌	2019年3月2-3日
柴田泰洋, 山下健太郎, 上野あかり, 齋藤潤信, 守谷 洋, 風間友江, 須藤豪太, 三橋 慧, 能正勝彦, 山野泰穂, 菊地剛史, 遠藤高夫, 仲瀬裕志	当初潰瘍性大腸炎と診断された家族性地中海熱の一例	第124回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2019年3月2-3日
上野あかり, 山下健太郎, 仲瀬裕志, 山野泰穂, 三橋 慧, 須藤豪太, 五十嵐央祥, 風間友江, 柴田泰洋	Infliximab 投与中に血管炎を併発したクローン病の一例	第124回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2019年3月2-3日
三浦克予志, 飯田智哉, 有村佳昭, 沼田泰尚, 矢花 崇, 安達雄哉, 近藤吉宏, 笠井 潔, 仲瀬裕志	サイトメガロウイルス腸炎及び門脈血栓症を合併した高齢発症の潰瘍性大腸炎の1例	第285回日本内科学会北海道地方会	札幌	2019年2月16日
仲瀬裕志	炎症性腸疾患治療 過去・現在・そして未来	第15回日本消化管学会総会学術集会	佐賀	2019年2月1-3日
平山大輔, 飯田智哉, 一色裕之, 矢和田 敦, 大久保陽介, 菅野伸一, 米澤和彦, 仲瀬裕志	クローン病に対するウステキヌマブの治療効果と安全性の検討	第15回日本消化管学会総会学術集会	佐賀	2019年2月1-3日
飯田智哉, 川上賢太郎, 仲瀬裕志	炎症性大腸発癌の深部浸潤機序における低分子量 GTP 蛋白質 Ral の機能解析	第15回日本消化管学会総会学術集会	佐賀	2019年2月1-3日
飯田智哉, 野島正寛, 仲瀬裕志	クローン病患者に対するタクロリムス治療の有効性と安全性: メタアナリシスによる検討	第9回日本炎症性腸疾患学会	京都	2018年11月22日
仲瀬裕志	炎症性腸疾患領域における生物学的製剤の位置付け	第46回日本臨床免疫学会総会	軽井沢	2018年11月8-10日
仲瀬裕志, Peter B, Raf B	潰瘍性大腸炎新規内視鏡粘膜評価法を目指した Real-time automated calculating system の開発	第60回日本消化器病学会大会	神戸	2018年11月1-4日
仲瀬裕志	炎症性腸疾患の診断補助と潰瘍性大腸炎疾患活動性モニタリングにおける上手な使い方	第45回日本小児栄養消化器肝臓学会	埼玉	2018年10月7日
飯田智哉, 平山大輔, 我妻康平, 川上賢太郎, 仲瀬裕志	低分子量 GTP 蛋白質 Ral とインフラマソームとの関連から見た炎症性大腸発癌機序の解明	第118回北海道癌談話会例会	旭川	2018年10月6日
仲瀬裕志	炎症性腸疾患に合併する肺病変の発症機序 免疫学的観点からのアプローチ	第58回日本呼吸器学会学術講演会	大阪	2018年4月29日
Iida T, Minami N, Kawakami K, Ikeuchi H, Hirota S, Shirakawa R, Horiuchi H, Nakase H	Role of small GTPase Ral in the mechanism of colitis-associated cancer	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Korea	2017年6月15-17日
仲瀬裕志	潰瘍性大腸炎の最適治療を模索するブデソニド注腸フォーム剤の可能性を含めて	第14回日本消化管学会総会	東京	2018年2月9-10日
飯田智哉, 仲瀬裕志	Introduction of Basic Research on Ulcerative Colitis at Advances in Inflammatory Bowel Disease 2016	第8回日本炎症性腸疾患学会	東京	2017年12月1-2日
仲瀬裕志	MOA からみたクローン病の生物学的製剤の特徴	第59回日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月12-15日
飯田智哉, 南 尚希, 仲瀬裕志	炎症性大腸発癌の機序における低分子量 GTP 蛋白質 Ral の機能解析	第59回日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月12-15日
平山大輔, 飯田智哉, 風間友江, 白田智洋, 小野寺 馨, 久保俊之, 山下健太郎, 山野泰穂, 仲瀬裕志	炎症性腸疾患患者における <i>NUDT15</i> 遺伝子多型と臨床像の検討	第121回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2017年9月2-3日
仲瀬裕志	潰瘍性大腸炎の最適治療を模索する	第93回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017年5月12日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
仲瀬裕志	腸内細菌叢の変化がもたらすクローン病患者骨代謝への影響	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20-22日
飯田智哉, 田中浩紀, 仲瀬裕志	クローン病に対するインフリキシマブ治療における免疫調節薬併用効果に関する検討	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20-22日
日比則孝, 小林 拓, 森久保 拓, 清原裕貴, 松林真央, 佐上晋太郎, 中野 雅, 久松理一, 日比紀文	Drug-tolerant assayによる抗インフリキシマブ抗体測定の有用性	第56回日本消化器免疫学会総会	メルパルク京都	2019年8月2日
S Sagami, T Kobayashi, T Kanazawa, K Aihara, H Morikubo, R Ozaki, S Okabayashi, M Matsubayashi, A Fuchigami, H Kiyohara, M Nakano, T Hibi	Accuracy of Doppler transabdominal ultrasound in assessing disease severity and extent in IBD.	14th Congress of ECCO	Bella Center Copenhagen	2019年3月7日
M Matsubayashi, T Kobayashi, S Okabayashi, R Ozaki, S Sagami, H Kiyohara, A Fuchigami, H Morikubo, M Nakano, T Hibi	Capsule scoring of ulcerative colitis (CSUC) is useful for monitoring inactive ulcerative colitis.	Crohn's & colitis congress Las Vegas	Bellagio Hotel and Casino, Las Vegas	2019年2月7日
細江直樹, 中野雅, 竹内健, 遠藤豊, 松岡克善, 大森鉄平, 林田真理, 水野慎大, 長沼誠, 小林拓, 吉田篤史, 中里圭宏, 金井隆典, 日比紀文, 鈴木康夫, 上野文昭, 渡辺守, 緒方晴彦	カプセル内視鏡による潰瘍性大腸炎の炎症評価スコア: Capsule Scoring of Ulcerative Colitis(CSUC)とそのValidation	第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会	グランデはがくれ(佐賀)	2019年2月3日
松林真央, 小林拓, 岡林慎二, 淵上綾子, 尾崎良, 佐上晋太郎, 清原裕貴, 森久保拓, 中野雅, 日比紀文	非活動期潰瘍性大腸炎患者モニタリングにおける Capsule Scoring of Ulcerative Colitis(CSUC)の意義	第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会	グランデはがくれ(佐賀)	2019年2月3日
佐上晋太郎, 小林拓, 中野雅, 日比紀文	クローン病の大腸内視鏡前処置中にMRエンテログラフィーを追加すると上乗せ効果は期待できるか?	第107回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	シェーンバツハ・サボ-	2018年12月16日
森久保拓, 小林拓, 尾崎良, 清原裕貴, 淵上綾子, 松林真央, 佐上晋太郎, 中野雅, 久松理一, 日比紀文	潰瘍性大腸炎における5-ASA製剤とチオプリン製剤の相互作用に関する研究	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
金沢徹雄, 佐上晋太郎, 小林拓, 相原佳那子, 林規隆, 森久保拓, 松林真央, 淵上綾子, 清原裕貴, 尾崎良, 岡林慎二, 中野雅, 日比紀文	潰瘍性大腸炎の活動性評価における腹部超音波検査の精度	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
清原裕貴, 小林拓, 淵上綾子, 中野雅, 日比紀文	5-アミノサリチル酸不耐潰瘍性大腸炎患者の臨床的特徴	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	京王プラザホテル	2018年11月9日
尾崎良, 小林 拓, 岡林慎二, 中野 雅, 原 敦子, 大部 誠, 日比紀文	内視鏡的寛解潰瘍性大腸炎における再燃の組織学的リスク因子	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	海運クラブ(東京)	2017年12月1日
尾崎良, 小林 拓, 齊藤詠子, 豊永貴彦, 岡林慎二, 梅田智子, 中野 雅, 松岡健太郎, 森永正二郎, 久松理一, 日比紀文	潰瘍性大腸炎における組織学的再燃リスク因子の探索	第59回日本消化器病学会大会	マリンメッセ福岡	2017年10月13日
原 勇輔, 岡林慎二, 小林 拓, 尾崎良, 佐上晋太郎, 豊永貴彦, 中野 雅, 宮本康雄, 牧田遊子, 常松 令, 土本寛二, 日比紀文, 鈴木雄介	結核スクリーニング陰性にもかかわらず抗 TNF- 抗体治療中に肺結核を発症したクローン病の1例	日本消化器病学会関東支部第346回例会	海運クラブ(東京)	2017年9月30日
渡辺康博, 佐上晋太郎, 小林 拓, 尾崎良, 岡林慎二, 豊永貴彦, 中野 雅, 日比紀文	HIV感染症を併発した潰瘍性大腸炎の1例	日本消化器病学会関東支部第345回例会	海運クラブ(東京)	2017年7月15日
Watanabe K, Kawai M, Koshiba R, Fujimoto K, Kojima K, Kaku K, Kinoshita N, Sato T, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Miyazaki T, Hida N, Nakamura S.	Efficacy including rapid response and safety of tofacitinib in Japanese patients with ulcerative colitis: a preliminary investigation in a specialized IBD center	ECCO2020	Vienna	2020年2月14日
Kojima K, Koji Fujimoto, Koshiba R, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Yokoyama Y, Miyazaki T, Nobuyuki Hiba, Watanabe K, Nakamura S.	Comparison of therapeutic effects between groups of thiopurine alone and combination of thiopurine with 5-ASA after remission introduced by oral tacrolimus for patients with severe ulcerative colitis.	ECCO2020	Vienna	2020年2月14日
Miyazaki T, Kojima K, Koshiba R, Koji Fujimoto, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Yokoyama Y, Hida N, Watanabe K, Nakamura S.	Endoscopic Features for Loss of Response Cases in Patients With Crohn's Disease Who Were treated With Infliximab by Top-down Strategy.	AOCC2019	Taipei	2019年6月15日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Yokoyama Y, Watanabe K, Kojima K, Ryosuke Koshiha, Koji Fujimoto, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Miyazaki T, Nobuyuki Hiba, Nakamura S.	Investigations of the characteristics and anti-TNF agents for optimizing treatment in pediatric patients with new-onset Crohn's disease.	DDW2019	San Diego Convention Center	2019年5月19日
Koji Fujimoto, Kojima K, Koshiha R, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Yokoyama Y, Miyazaki T, Nobuyuki Hiba, Watanabe K, Nakamura S.	CLINICAL CHARACTERISTICS AND RISK FACTORS FOR PNEUMOCYSTIS JIROVECIII PNEUMONIA IN PATIENTS WITH INFLAMMATORY BOWEL DISEASE.	DDW2019	San Diego Convention Center	2019年5月19日
横山 陽子, 渡辺 憲治, 賀来 宏司, 木下直彦, 小柴 良司, 小島 健太郎, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 中村 志郎.	当院における炎症性腸疾患妊娠例の検討.	第16回日本消化管学会総会学術集会	姫路	2020年2月7日
佐藤 寿行, 内野 基, 小島 健太郎, 小柴 良司, 藤本 晃士, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 高川 哲也, 宮崎 孝子, 應田 義雄, 渡辺 憲治, 樋田 信幸, 堀 和敏, 三輪 洋人, 池内 浩基, 中村 志郎.	免疫抑制治療中の炎症性腸疾患患者に合併したニューモシスチス肺炎に関する臨床的検討.	JDDW2019	神戸	2019年11月21日
小島 健太郎, 小島 健太郎, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	当院における大量出血型クローン病に関する臨床的検討.	JDDW2019	神戸	2019年11月22日
横山 陽子, 渡辺 憲治, 宮崎 孝子, 中村 志郎.	高齢者潰瘍性大腸炎患者に対する Cytapheresis の有効性と最適化.	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019年10月11日
宮崎 孝子, 賀来 宏司, 木下 直彦, 小島 健太郎, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	高度栄養障害を有するクローン病患者におけるウステキヌマブの有効性.	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
河合 幹夫, 佐藤 寿行, 藤本 晃士, 小柴 良司, 小島 健太郎, 横山 陽子, 上小鶴 孝二, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	難治性潰瘍性大腸炎に対する TNF 阻害薬の治療成績と薬剤選択.	第84回日本インターフェロンサイトカイン学会	神戸	2019年8月3日
中村 志郎, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治.	潰瘍性大腸炎 内科治療の進歩と現状.	第84回日本インターフェロンサイトカイン学会	神戸	2019年8月2日
中村 志郎.	炎症性腸疾患内科治療 update~最新の治療指針と兵庫医科大学の治療成績を中心に~.	第107回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡	2019年5月25日
中村 志郎.	これからの潰瘍性大腸炎の治療戦略.	第105回日本消化器病学会総会.	石川	2019年5月10日
Hida N, Watanabe K, Miyazaki T, Yokoyama Y, Kawai M, Takagawa T, Kamikozuru K, Sato T, Fujimoto, Koshiha R, Kojima K, Nakamura S.	The initial trough concentration at 36 hours after starting tacrolimus is important for the personalized medicine strategy in patients with ulcerative colitis	ECCO2019	Copenhagen	2019年3月8日
Miyazaki T, Kojima K, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Yokoyama Y, Hida N, Watanabe K, Nakamura S.	Endoscopic features for loss of response in patients with Crohn's disease who were treated with infliximab by top-down strategy.	ECCO2019	Copenhagen	2019年3月8日
Yokoyama Y, Watanabe K, Kojima K, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Miyazaki T, Hida N, Nakamura S.	Investigations of the characteristics and efficacy of anti-TNF agents for optimizing treatment in pediatric patients with new-onset Crohn's disease.	ECCO2019	Copenhagen	2019年3月8日
Koshiha R, Sato T, Kojima K, Fujimoto K, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Takagawa T, Miyazaki T, Hida N, Watanabe K, Nakamura S.	Risk factors and clinical characteristics for Pneumonia in Japanese Patients with Ulcerative Colitis.	ECCO2019	Copenhagen	2019年3月8日
Nakamura S.	Antiviral treatment for stationary virus infection: positive treatment.	AOCC2018.	Shanghai	2018年6月23日
Yokoyama Y, Watanabe K, Kamikozuru K, Fujimori A, Sato T, Koshiha R, Fujimori A, Kawai M, Takagawa T, Kita Y, Miyazaki T, Hida N, Nakamura S.	Efficacy and related issues of cytapheresis in elderly patients with ulcerative colitis.	AOCC2018.	Shanghai	2018年6月22日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Fujimori A, Watanabe K, Yokoyama Y, Koshiha R, Kma K, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Miyazaki T, Hida N, Nakamura S.	Clinical features of ulcerative colitis complicated by autoimmune hepatitis: a case series in Japan.	AOCC2018.	Shanghai	2018年6月22日
Hida N, Watanabe K, Miyazaki T, Yokoyama Y, Takagawa T, Kamikozuru K, Kawai M, Kita Y, Sato T, Nakamura S.	THE INITIAL TROUGH CONCENTRATION AT 36 HOURS AFTER STARTING TACROLIMUS IS IMPORTANT FOR THE PERSONALIZED MEDICINE STRATEGY IN PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS.	DDW2018	Washington DC	2018年6月4日
Kita Y, Fujimori A, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Takagawa T, Yokoyama Y, Miyazaki T, Hida N, Watanabe K, Nakamura S. (CLINICAL CHARACTERISTICS AND COMPLICATIONS IN HOSPITALISED ELDERLY PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS IN A REAL-WORLD SPECIALISED HOSPITAL.	DDW2018	Washington DC	2018年6月4日
中村 志郎.	これからの潰瘍性大腸炎の治療戦略.	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
中村 志郎, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治.	難治性潰瘍性大腸炎に対する TNF 阻害薬の長期成績と薬剤選択.	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
渡辺 憲治, 高川 哲也, 角田 洋一, 藤森 絢子, 小島 健太郎, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 堀 和敏, 池内 浩基, 中村 志郎.	NUDT15 R139C C/T ヘテロ症例におけるチオプリン製剤を用いた潰瘍性大腸炎の治療成績.	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎関連 low grade dysplasia の進展危険因子:SCENIC terminology に準じた検討.	第60回日本消化器病関連学会大会	神戸	2018年11月2日
中村 志郎, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 宮崎 孝子, 横山 陽子, 高川 哲也, 上小鶴 孝二, 河合 幹夫, 木田 裕子, 佐藤 寿行.	潰瘍性大腸炎入院症例における手術適応とタイミングに関する臨床的検討.	第14回日本消化管学会総会学術集会	東京	2018年11月2日
Miyazaki T, Fujimori A, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kita Y, Kamikozuru K, Takagawa T, Yokoyama Y, Hida N, Watanabe K, Nakamura S.	Clinical and endoscopic features of secondary loss of response caases in patients with Crohn 's disease treated with infliximab by top-down strategy:a case-control study.	ECCO2018	Vienna	2018年2月16日
Kita Y, Fujimori A, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Yokoyama Y, Miyazaki T, Watanabe K, Hida N, Nakamura S.	Clinical characteristics and complications in hospitalised elderly patients with ulcerative colitis in a real world specialised hospital.1	ECCO2018	Vienna	2018年2月16日
Hida N, Watanabe K, Miyazaki T, Yokoyama Y, Takagawa T, Kamikozuru K, Kawai M, Kita Y, Sato T, Nakamura S.	Risk factors analysis for progression of low-grade dysplasia to advanced neoplasia in patients with ulcerative colitis according to the SCENIC terminology.	ECCO2018	Vienna	2018年2月16日
Takagawa T, Tajima Masaki, Kitani Atsushi, Fujimori A, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Kita Y, Miyazaki T, Hida N, Watanabe K, Hori K, Fuss I, Nakamura S, Strober W.	LRRK2 Inhibitor Attenuates Intestinal Inflammation and Becomes a Therapeutic Strategy in Inflammatory Bowel Diseases.	18thInternational Congress of Mucosal Immunology	Washington DC	2017年7月21日
Sato T, Takagawa T, Kakuta Yoichi, Fujimori A, Koshiha R, Fujimoto K, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Kita Y, Miyazaki T, Imuro M, Watanabe K, Hida N, Hori K, Ikeuchi H, Nakamura S.	Thiopurine-induced Leukopenia Is Associated with a Variant in NUDT15, but Not FTO and RUNX1 in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Diseases.	AOCC2017	Seoul	2017年6月17日
Yokoyama Y, Fujimori A, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Kita Y, Miyazaki T, Hida N, Watanabe K, Hori K, Nakamura S.	Efficacy of Adsorptive Granulocyte/Monocyte Apheresis in Inflammatory Bowel Disease Patients Experiencing Loss of Response to Infliximab:A Case Series.	AOCC2017	Seoul	2017年6月17日
藤本 晃士, 宮崎 孝子, 藤森 絢子, 小柴 良司, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 木田 裕子, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎新規小児発症例に関する臨床的検討.	第14回日本消化管学会総会学術集会	東京	2018年2月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
横山 陽子, 宮崎 孝子, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 木田 裕子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	Infliximab の Top-down 治療を施行した小児クローン病の特徴と有効性の検討.	第 14 回日本消化管学会総会学術集会	東京	2018 年 2 月 9 日
中村 志郎.	潰瘍性大腸炎診療 up to date~当院における Bio 治療円滑化の工夫も含めて.	第 18 回日本クリニカルバス学会学術集会	大阪	2017 年 12 月 1 日
渡辺 憲治, 中村 志郎, 松井 敏幸, 上野 文昭.	本邦の消化器病学会 IBD 診療ガイドラインと厚生労働省班会議治療指針の特徴と差異.	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017 年 12 月 1 日
藤森 絢子, 木田 裕子, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	インフリキシマブ投与により薬剤誘発性ループスを併発した炎症性腸疾患の 2 例.	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017 年 12 月 1 日
楊 和典, 河合 幹夫, 藤本 晃士, 宮本 優帆, 石井 紀子, 由利 幸久, 長谷川 国大, 高田 亮, 石井 昭生, 高嶋 智之, 坂井 良行, 會澤 信弘, 池田 直人, 西村 貴士, 岩田 恵典, 宮崎 孝子, 榎本 平之, 飯島 尋子, 中村 志郎, 西口 修平.	腸管不全合併肝障害(IFLAD)による肝不全死が疑われた一部検例.	第 42 回日本肝臓学会西部会	福岡	2017 年 12 月 1 日
中村 志郎.	炎症性腸疾患と便中カルプロテクチン.	第 64 回日本臨床検査医学会学術集会	京都	2017 年 11 月 18 日
樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎に伴う low grade dysplasia の進展に関する危険因子:SCENIC terminology に準じた検討.	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017 年 11 月 11 日
河合 幹夫, 西尾 昭宏, 藤森 絢子, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 木田 裕子, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	当院における腸管ベーチェット病及び単純性潰瘍性症例に対する生物学的製剤の治療成績.	第 55 回日本小腸学会	京都	2017 年 10 月 21 日
横山 陽子, 上小鶴 孝二, 長瀬 和子, 木田 裕子, 福永 健, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎の内科治療における白血球除去療法の位置づけ.	第 38 回日本アフェレシス学会学術大会	千葉	2017 年 10 月 21 日
木田 裕子, 横山 陽子, 上小鶴 孝二, 長瀬 和子, 中村 志郎.	高齢潰瘍性大腸炎患者における血球成分除去療法の特徴.	第 38 回日本アフェレシス学会学術大会	千葉	2017 年 10 月 21 日
上小鶴 孝二, 木田 裕子, 横山 陽子, 福永 健, 長瀬 和子, 中村 志郎.	生物学的製剤無効難治性潰瘍性大腸炎に対する LCA の検討.	第 38 回日本アフェレシス学会学術大会	千葉	2017 年 10 月 21 日
藤本 晃士, 河合 幹夫, 藤森 絢子, 小柴 良司, 佐藤 寿行, 木田 裕子, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 中村 志郎.	在宅中心静脈栄養療法中のクローン病に IFALD(Intestinal Failure-associated Liver Disease)を発症した一例.	第 55 回日本小腸学会	京都	2017 年 10 月 21 日
湯浅 翠, 横山 陽子, 上小鶴 孝二, 長瀬 和子, 木田 裕子, 中村 志郎.	糖尿病合併の高齢者潰瘍性大腸炎患者に対して GMA が著効した 1 例.	第 38 回日本アフェレシス学会学術大会	千葉	2017 年 10 月 20 日
中村 志郎.	新たな生物学的製剤時代の潰瘍性大腸炎治療~ゴリムマップの可能性	第 59 回日本消化器病学会大会(JDDW2017)	東京	2017 年 10 月 14 日
高川 哲也, 佐藤 寿行, 角田 洋一, 西尾 昭宏, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 木田 裕子, 宮崎 孝子, 飯室 正樹, 樋田 信幸, 堀 和敏, 池内 浩基, 中村 志郎.	Diploptype 分類に基づいた NUDT15 活性レベルと炎症性腸疾患患者のチオプリン誘発性白血球減少及び全脱毛の相関.	第 59 回日本消化器病学会大会(JDDW2017)	東京	2017 年 10 月 13 日
佐藤 寿行, 西尾 昭宏, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 木田 裕子, 宮崎 孝子, 飯室 正樹, 樋田 信幸, 堀 和敏, 中村 志郎.	当科における潰瘍性大腸炎の病変口側伸展症例に関する臨床的検討.	第 59 回日本消化器病学会大会(JDDW2017)	東京	2017 年 10 月 13 日
西尾 昭宏, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 堀 和敏, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎患者における 5-アミノサリチル酸製剤不耐例の特徴.	第 59 回日本消化器病学会大会(JDDW2017)	東京	2017 年 10 月 13 日
上小鶴 孝二, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 木田 裕子, 高川 哲也, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 堀 和敏, 中村 志郎.	術後 SBC となったクローン病に対する在宅中心静脈栄養療法の長期経過の検討.	第 59 回日本消化器病学会大会(JDDW2017)	東京	2017 年 10 月 12 日
岩田 恵典, 宮本 優帆, 石井 紀子, 中野 智景, 由利 幸久, 長谷川 国大, 高田 亮, 楊 和典, 石井 昭生, 會澤 信弘, 西村 貴士, 池田 直人, 西川 浩樹, 榎本 平之, 飯島 尋子, 神野 良男, 中村 志郎, 西口 修平.	当院におけるダブルバルーン内視鏡を用いた胆膵内視鏡治療の成績と工夫.	第 59 回日本消化器病学会大会(JDDW2017)	東京	2017 年 10 月 12 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
中村 志郎.	潰瘍性大腸炎 最新の内科治療戦略～治療指針と兵庫医科大学の治療成績を中心に.	第 31 回日本臨床内科医学学会	大阪	2017 年 10 月 9 日
中村 志郎.	潰瘍性大腸炎内科診療におけるチオプリン製剤の意義～チオプリン製剤の基本と兵庫医科大学の診療成績を中心に.	第 45 回日本臨床免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 29 日
高川 哲也, 藤森 絢子, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 木田 裕子, 宮寄 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 堀 和敏, Warren Strober, 中村 志郎.	炎症性腸疾患における細胞内分子標的治療の可能性～感受性遺伝子を標的とした新規 LRRK2 阻害剤の検討.	第 54 回日本消化器免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 29 日
中村 志郎.	クローン病治療の最適化～新規治療薬ゼンタコート的位置づけ.	第 93 回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017 年 5 月 13 日
宮寄 孝子, 西尾 昭宏, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 木田 裕子, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 樋田 信幸, 堀 和敏, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎におけるインフリキシマブ二次無効時の内視鏡的再燃の特徴.	第 93 回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017 年 5 月 13 日
中村 志郎.	完全腸管安静(reset TPN)による Bio 難治例へのアプローチ.	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 21 日
宮寄 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎.	タクロリムス不応潰瘍性大腸炎におけるインフリキシマブの有用性.	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
森田 啓嗣, 柴野 貴之, 前川 講平, 服部 益治, 竹島 泰弘, 樋田 信幸, 中村 志郎.	リツキシマブ投与後にクローン病を発症したと考えられた難治性ネフローゼ症候群の 1 例.	第 120 回日本小児科学会学術集会	東京	2017 年 4 月 14 日
Saito E, Nagahori M, Watanabe M	The clinical effectiveness of vedolizumab in patients with ulcerative Colitis	JDDW 2019	神戸国際会議場	2019 年 11 月 21 日
Fujii T, Kitazume Y, Takenaka K, Suzuki K, Motobayashi M, Saito E, Nagahori M, Ohtsuka K, Watanabe M	Simplified MR enterocolonography Classification of Crohn's Disease Based on Enteroscopic Findings.	AOCC2018	Shanghai	2018 年 6 月 22 日
Saito E, Suzuki K, Shimizu H, Motobayashi M, Takenaka K, Onizawa M, Fujii T, Nagahori M, Ohtsuka K, Watanabe M	The clinical efficacy of switching cases between Infliximab(IFX) and Adalimumab(ADA) in patients with ulcerative colitis.	AOCC2018	Shanghai	2018 年 6 月 22 日
Ohtsuka K, Takenaka K, Suzuki K, Fujii T, Nagahori M, Matsuoka K, Saito E, Katsukura N, Fukuda M, Araki A, Watanabe M	Usefulness of single-balloon enteroscopy: from a single center 990 experiences.	DDW2018	Washington D.C (USA)	2018 年 6 月 3 日
堀田伸勝, 齋藤詠子, 長堀正和, 大塚和朗, 渡辺 守	【シンポジウム 1 : 炎症性腸疾患診療における内視鏡の役割】潰瘍性大腸炎における 3 つの内視鏡スコアに基づいた再燃リスクの検討	第 107 回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会	シェーンバッハ・サボア(東京都千代田区)	2018 年 12 月 15 日
山田倫子, 秋山慎太郎, 堀田伸勝, 福田将義, 齋藤詠子, 藤井俊光, 岡田英理子, 大島 茂, 井津井康浩, 中川美奈, 岡本隆一, 土屋輝一郎, 柿沼 晴, 東 正新, 永石宇司, 中村哲也, 長堀正和, 大塚和朗, 朝比奈靖浩, 渡辺 守	難治性潰瘍性大腸炎経過中に血球貪食症候群を契機に判明した T 細胞性リンパ腫の一例	日本消化器病学会関東支部第 352 回例会	海運クラブ(東京都千代田区)	2018 年 12 月 1 日
齋藤詠子, 秋山慎太郎, 鈴木康平, 本林麻衣子, 竹中健人, 清水寛路, 鬼澤道夫, 藤井俊光, 長堀正和, 大塚和朗, 渡辺 守	クローン病における抗 TNF- 抗体二次無効時のウステキヌマブの治療成績について	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都(京都府京都市)	2018 年 11 月 22 日
伊藤 晃, 伊東詩織, 渡部太郎, 小林正典, 福田将義, 齋藤詠子, 藤井俊光, 東 正新, 岡本隆一, 土屋輝一郎, 長堀正和, 大塚和朗, 朝比奈靖浩, 渡辺 守	潰瘍性大腸炎の経過中に原発性硬化性胆管炎を併発した一例	日本消化器病学会関東支部第 351 回例会	海運クラブ(東京都千代田区)	2018 年 9 月 22 日
Saito E, Matsuoka K, Fujii T, Nagahori M, Ohtsuka K, Watanabe M	On the clinical course of anti-TNF agent in ulcerative colitis (UC)	BD and Liver: East Meets West	京都ホテルオークラ(京都府京都市)	2018 年 9 月 7 日
Takenaka K, Ohtsuka K, Fujii T, Nagahori M, Saito E, Motobayashi M, Suzuki K, Watanabe M	Small bowel mucosal healing of Crohn's disease treated with anti-TNF antibodies.	FALK シンポジウム	京都ホテルオークラ(京都府京都市)	2018 年 9 月 7 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
川内結加里、秋山慎太郎、福田将義、鈴木康平、竹中健人、鬼澤道夫、北畑富貴子、村川美也子、新田沙由梨、藤井俊光、岡田英理子、中川美奈、柿沼 晴、長堀正和、大塚和朗、渡辺 守	回腸瘻から大量出血を来した小腸型クローン病の1例	日本消化器病学会関東支部第350回例会	海運クラブ(東京都千代田区)	2018年7月14日
齋藤詠子、長堀正和、大塚和朗、渡辺 守	【ワークショップ：炎症性大腸疾患診療における内視鏡の役割 - 感染症からIBDまで】免疫不全症に伴う大腸炎の3例	第106回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	シェーンバッハ・サボ- (東京都千代田区)	2018年6月16日
Fujii T, Kitazume Y, Takenaka K, Kimura M, Sato E, Matsuoka K, Nagahori M, Ohtsuka K, Watanabe M	Simplified MR enteroclonography Classification Based on Endoscopic Findings for Activity Assessment of Crohn's Disease	UEGW2017	Venue: Fira Gran Via	2017年11月1日
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, Matsuoka K, Fujii T, Nagahori M, Kimura M, Watanabe M	Magnetic resonance evaluation for small bowel endoscopic remission in patients with crohn's disease.	UEGW2017	Venue: Fira Gran Via	2017年10月30日
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, Fujii T, Matsuoka K, Kimura M, Nagahori M, Watanabe M	Utility of Magnetic Resonance Evaluation for Small Bowel Endoscopic Healing in Patients with Crohn's Disease	UEGW2017	Venue: Fira Gran Via	2017年10月30日
竹中健人、大塚和朗、北詰良雄、鈴木康平、木村麻衣子、藤岡友之、福田将義、藤井俊光、齋藤詠子、松岡克善、長堀正和、渡辺守	クローン病評価における小腸内視鏡の有用性と限界	第55回日本小腸学会学術集会	メルパルク京都	2017年10月21日
北澤優美、松岡克善、藤井俊光、木村麻衣子、竹中健人、長堀正和、檀直彰、大塚和朗、渡辺 守	【デジタルポスターセッション72：大腸(潰瘍性大腸炎)8】潰瘍性大腸炎における便中バイオマーカーによる組織学的治癒の評価	JDDW2017	マリンメッセ福岡	2017年10月13日
近藤有紀、藤井 崇、日比谷秀爾、勝倉暢洋、竹中健人、鬼澤道夫、北畑富貴子、村川美也子、松岡克善、新田沙由梨、藤井俊光、岡田英理子、井津井康浩、齋藤詠子、中川美奈、柿沼 晴、長堀正和、大塚和朗、渡辺 守(東京医科歯科大学消化器内科)、高岡亜弓、山内慎一(東京医科歯科大学大腸肛門外科)	2年間持続する貧血があり、イレウス症状を契機に診断に至った原発性小腸癌の1例	日本消化器病学会 関東支部第346回例会	海運クラブ	2017年9月30日
藤井俊光、秋山慎太郎、松岡克善、江花有亮、根木真理子、竹中健人、齋藤詠子、長堀正和、大塚和朗、磯辺光章、渡辺 守	高安動脈炎に合併した炎症性腸疾患の遺伝的背景と腸炎の表現形	第45回日本臨床免疫学会	京王プラザホテル	2017年9月29日
大庭真梨、村上義孝、西脇祐司、朝倉敬子、大藤さとこ、福島若葉	難治性炎症性腸管障害希少疾患の有病者数推計に関する全国疫学調査	第78回日本公衆衛生学会総会	高知市	2019年10月24日
Murakami Y, Nishiwaki Y, Erika Kuwahara E, Oba M, Asakura K, Ofuji S, Fukushima W, Suzuki Y, Nakamura Y.	Estimated prevalence of ulcerative colitis and Crohn's disease in Japan in 2014: a nationwide survey.	The 21st International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology	Saitama	2017年
村上義孝、西脇祐司、桑原絵里加、大庭真梨、朝倉敬子、大藤さとこ、福島若葉、中村好一	潰瘍性大腸炎およびクローン病の有病者数推計に関する全国疫学調査	第76回日本公衆衛生学会総会	鹿児島	2017年
畑啓介、品川貴秀、池内浩基、福島浩平、二見喜太郎、杉田昭、内野基、渡辺和宏、東大二郎、小金井一隆、木村英明、荒木俊光、水島恒和、板橋道朗、植田剛、大庭幸治、石原聡一郎、鈴木康夫	クローン病における腸管再手術率の検討：多施設共同後向き研究	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
Hata K, Shinagawa T, Ishihara S	Risk factors for reoperation in Crohn's disease. A Retrospective Multicenter Study in Japan	JDDW 2019	神戸	2019年11月23日
Shinagawa T, Hata K, Morikawa T, Takiyama H, Emoto S, Muro K, Kaneko M, Sasaki K, Nishikawa T, Tanaka T, Kawai K, Fukayama M, Nozawa H	Pine-cone and villi patterns are endoscopic signs suggestive of ulcerative colitis-associated colorectal cancer and dysplasia	UEG week 2018	Vienna	2018年10月22日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
畑啓介、渡邊聡明、味岡洋一、光山慶一、渡辺憲治、花井洋行、仲瀬裕志、国崎玲子、松田圭二、岩切 龍一、樋田信幸、田中信治、竹内義明、大塚和朗、村上 和成、小林清典、岩男泰、長堀正和、飯塚文瑛、五十嵐正広、平田一郎、工藤進英、松本主之、上野文昭、渡辺玄、池上雅博、伊東陽子、大庭幸治、井上永介、友次直輝、武林亨、杉原健一、鈴木康夫、渡辺 守、日比紀文	潰瘍性大腸炎合併大腸癌サーベイランスにおける狙撃生検とランダム生検のランダム化比較試験	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
Hata K	New strategy in the surveillance colonoscopy for Colitic Cancer	FALK Symposium	Kyoto	2018年9月7日
品川貴秀、畑啓介、川合一茂、室野浩司、金子学、佐々木和人、大谷研介、西川武司、田中敏明、野澤宏彰	Colitic cancer の形態学的特徴の解析に基づくより良い内視鏡サーベイランス法の検討	第73回消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
岡田 聡、畑 啓介、渡邊 聡明	Colitic cancer の形態学的特徴の解析に基づくより良い内視鏡サーベイランス法の検討	第73回消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月12日
畑 啓介、品川貴秀、渡邊聡明	外科から見た炎症性腸疾患に対する抗 TNF 抗体治療薬の成績	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月21日
Shinagawa T, Hata K, Morikawa T, Takiyama H, Emoto S, Muro K, Kaneko M, Sasaki K, Nishikawa T, Tanaka T, Kawai K, Fukayama M, Nozawa H	クローン病再手術率の検討 多施設共同研究	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
Hata K, Ishihara S, Nozawa H, Kawai K, Kiyomatsu T, Tanaka T, Nishikawa T, Otani K, Yasuda K, Muro K, Sasaki M, Kaneko M, Watanabe T	Laparoscopic Surgery in IBD in Japan	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017年6月17日
Shinagawa T, Hata K, Ikeuchi H, Fukushima K, Sugita A, Suzuki Y, Watanabe T	Time trends and risk factors for reoperation after initial intestinal surgery for Crohn's disease in Japan: A Retrospective Multicenter Study	2017 American Society for Colorectal Surgeon	Seattle	2017年6月10日
Hata K, Anzai H, Ikeuchi H, Fukushima K, Sugita A, Suzuki Y, Watanabe T	Ulcerative colitis associated colorectal cancer in Japan: A retrospective multicenter study	2017 American Society for Colorectal Surgeon	Seattle	2017年6月10日
Hata K, Anzai H, Ikeuchi H, Fukushima K, Sugita A, Suzuki Y, Watanabe T	Optimizing surveillance colonoscopy for ulcerative colitis-associated colorectal cancer by assessing surgically resected cases: a multicenter retrospective study	Digestive Disease Week 2017	Chicago	2017年5月6日
品川貴秀、畑啓介、岸川純子、江本成伸、室野浩司、金子学、佐々木和人、大谷研介、西川武司、田中敏明、清松知充、川合一茂、野澤宏彰、渡邊聡明	潰瘍性大腸炎合併大腸癌の形態学的特徴と最適な内視鏡サーベイランス	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
Shinagawa T, Hata K, Watanabe T	The optimum surveillance and endoscopic clues for ulcerative colitis associated colorectal cancer	JDDW 2017	福岡	2017年10月14日
Sands BE, Abreu MT, Leong RW, Marano C4, O'Brien CD, Zhang H, Zhou Y, Johanns J, Rowbotham D, Hisamatsu T, Arasaradnam RP, Ellen Scherl E, Danese D, Peyrin-Biroulet L.	Efficacy and safety of long-term treatment with ustekinumab in moderate-severe ulcerative colitis patients with delayed response to ustekinumab induction: Results from the UNIFI 2-year long-term extension.	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月13-15日
Sands BE, Sandborn WJ, Panaccione R, O'Brien CD, Zhang H, Johanns J, Zhou Y, Peyrin-Biroulet L, Scherl E, Leong RW, Rowbotham DS, Arasaradnam RP, Hisamatsu T, Abreu MT, Danese S, Marano C.	Efficacy of Ustekinumab for Ulcerative Colitis in Biologic Naïve, Biologic Non-failure, and Biologic Failure Populations Through 2 Years: UNIFI Long-term Extension.	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月13-15日
Umeno J, Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Esaki M, Yanai S, Ohmiya N, Hisamatsu T, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hirai F, Hisabe T, Matsui T, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T; CEAS study group.	A nationwide survey of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene in Japan	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月13-15日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Miyoshi J, Saito D, Nakamura M, Miura M, Mitsui T, Kudo T, Murakami S, Matsuura M, Hisamatsu T.	The impact of elemental diet on the human gut microbial structure and intestinal metabolites.	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月13-15日
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, and Hibi T, on behalf of HAYABUSA Study Group.	The first prospective, multicentre, randomised controlled trial on discontinuation of infliximab in ulcerative colitis; endoscopic normalisation does not guarantee successful discontinuation.	15th Congress of ECCO	Vienna	2020年2月13-15日
Sands BE, Sandborn WJ, Panaccione R, O'Brien CD, Hongyan Zhang H, Johanns J, Zhou Y, Tikhonov I, Peyrin-Biroulet L, van Assche G, Danese S, Targan S, Abreu MT, Hisamatsu T, Scherl E, Leong RW, Rowbotham DS, Arasaradnam RP, and Marano C.	Efficacy and Safety of Ustekinumab for Ulcerative Colitis Through 2 Years: UNIFI Long-term Extension	UEGW 2019	Barcelona	2019年10月19-23日
Omoniyi J Adedokun, Zhenhua Xu, Colleen Marano, Chris O'Brien, Philippe Szapary, Hongyan Zhang, Jewel Johanns, Rupert Leong, Tadakazu Hisamatsu, Gert van Assche, Silvio Danese, Maria T. Abreu, Bruce E. Sands, William J. Sandborn. P	Pharmacokinetics and Exposure-Response Relationships of Ustekinumab in Patients with Ulcerative Colitis: Results from the UNIFI Induction and Maintenance Studies.	UEGW 2019	Barcelona	2019年10月19-23日
Omoniyi J Adedokun, Zhenhua Xu, Colleen Marano, Chris O'Brien, Philippe Szapary, Hongyan Zhang, Jewel Johanns, Rupert Leong, Tadakazu Hisamatsu, Gert van Assche, Silvio Danese, Maria T. Abreu, Bruce E. Sands, William J. Sandborn.	Pharmacokinetics and Exposure-Response Relationships of Ustekinumab in Patients with Ulcerative Colitis: Results from the UNIFI Induction and Maintenance Studies.	ACG 2019	San Antonio	2019年10月25-30日
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata M, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T, DIAMOND2 Study Group.	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2)	Falk Symposium 215	St Petersburg	2019年7月5-6日
Hisamatsu T	From Asia to Worldwide - Education for IBD	AOCC 2019	Taipei	2019年6月15-16日
Hisamatsu T	What Clinician Should Know about the Animal Model Results?	AOCC 2019	Taipei	2019年6月15-16日
Sakuraba A, Hisamatsu T, Nemoto N, Ozaki R, Sato T, Okunaga S, Kikuchi O, Minowa S, Ikezaki O, Miura M, Saito D, Hayashida H, Mori H, Yoneyama M, Ohnishi H.	The ability to differentiate mucosal healing using fecal biomarkers is affected by the extension of inflammation in ulcerative colitis.	AOCC 2019	Taipei	2019年6月15-16日
Sands BE, Sandborn WJ, Panaccione R, O'Brien CD, Zhang H, Johanns J, Peyrin-Biroulet L, Van Assche GA, Danes S, Targan SR, Abreu MT, Hisamatsu T, Szapary P, Marano CW.	EFFICACY AND SAFETY OF USTEKINUMAB AS MAINTENANCE THERAPY IN ULCERATIVE COLITIS: WEEK 44 RESULTS FROM UNIFI.	Digestive Disease Week 2019.	San Diego	2019年5月19-21日
Adedokun OJ, Xu Z, Marano CW, O'Brien CD, Szapary P, Zhang H, Johanns J, Leong RW, Hisamatsu T, Van Assche GA, Danes S, Abreu MT, Sands BE, Sandborn WJ.	PHARMACOKINETICS AND EXPOSURE-RESPONSE RELATIONSHIP OF INTRAVENOUSLY ADMINISTERED USTEKINUMAB DURING INDUCTION TREATMENT WITH ULCERATIVE COLITIS: RESULTS FROM THE UNIFI INDUCTION STUDY	Digestive Disease Week 2019.	San Diego	2019年5月19-21日
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata M, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T, DIAMOND2 Study Group.	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2)	Digestive Disease Week 2019.	San Diego	2019年5月19-21日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Van Assche GA, Targan SR, Baker T, O'Brien CD, Zhang H, Johanss J, Szapary P, Marano CW, Leong RW, Rowbotham D, Hisamatsu T, Danes S, Sands BE, Peyrin-Biroulet L.	SUSTAINED REMISSION IN PATIENTS WITH MODERATE TO SEVERE ULCERATIVE COLITIS: RESULTS FROM THE PHASE 3 UNIFI MAINTENANCE STUDY	Digestive Disease Week 2019.	San Diego	2019年5月19-21日
Morikubo H, Ozaki R, Okabayashi S, Kiyohara H, Matsubayashi M, Sagami S, Nakano M, Ikezaki O, Hisamatsu T, Hibi T, Kobayashi T.	DOES SWITCHING BETWEEN 5-AMINOSALICYLATES AFFECT THIOPURINE METABOLISM AND CLINICAL OUTCOMES IN PATIENT WITH ULCERATIVE COLITIS?	Digestive Disease Week 2019.	San Diego	2019年5月19-21日
Sujino T, Kiyohara H, Teratani T, Miyamoto K, Arai M, Nomura E, Harada Y, Aoki R, Koda Y, Mikami Y, Mizuno S, Naganuma M, Hisamatsu T, Kanai T.	TLR7 AGONIST INDUCED DERMATIS EXACERBATED COLITIS VIA ALTERING HOST IMMUNE CELLS AND GUT MICROBIOTA.	Digestive Disease Week 2019.	San Diego	2019年5月19-21日
林田真理, 三好 潤, 和田晴香, 尾崎良, 菊地翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 櫻庭彰人, 松浦 稔, 久松理一	ベーチェット病患者における小腸用カプセル内視鏡を用いた小腸病変の検討	第13回日本カプセル内視鏡学会	ホテル日航姫路	2020年2月9日
三好 潤, 齋藤大祐, 三浦みき, 三井達也, 村上慎之介, 工藤 徹, 久松理一	成分栄養剤の摂取による腸内細菌叢の変化 - 健常人における非炎症下での腸管 microbiome および代謝物の検討	第16回日本消化管学会	ホテル日航姫路&姫路キャッスルグランヴィリオホテル	2020年2月7-8日
久松理一	腸管ベーチェット病の診断と治療	第16回日本消化管学会	ホテル日航姫路&姫路キャッスルグランヴィリオホテル	2020年2月7-8日
齋藤大祐, 松浦 稔, 和田晴香, 尾崎良, 菊地翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好 潤, 久松理一	潰瘍性大腸炎に対する Vedolizumab による寛解導入療法の治療効果予測に関する検討	第47回日本潰瘍学会	ヒルトン小田原リゾート&スパ	2020年1月16-17日
久松理一	炎症性腸疾患に対する分子標的治療の進歩	第47回日本潰瘍学会	ヒルトン小田原リゾート&スパ	2020年1月16-17日
久松理一	CD に対する Ustekinumab のエビデンスと今後の課題	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	アクロス福岡	2019年11月29日
齋藤大祐, 松浦 稔, 和田晴香, 尾崎良, 菊地翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好 潤, 久松理一	潰瘍性大腸炎に対する Vedolizumab による寛解導入療法の治療効果予測に関する検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	アクロス福岡	2019年11月29日
徳永創太郎, 齋藤大祐, 三浦みき, 尾崎良, 菊地翁輝, 箕輪慎太郎, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好 潤, 松浦 稔, 久松理一	高齢発症潰瘍性大腸炎患者の予後予測因子に関する検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	アクロス福岡	2019年11月29日
三好 潤, 齋藤大祐, 三浦みき, 三井達也, 村上慎之介, 工藤 徹, 久松理一	成分経腸栄養剤の摂取による腸内細菌の変化 - 健常人におけるパイロット検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	アクロス福岡	2019年11月29日
久松理一, 青山伸郎, Shu-Chen Wei, Wangang Xie, 佐藤真弘, 浅部伸一, Wen Zhou, 谷田諭志	中等症~重症の活動性潰瘍性大腸炎アジア人患者でのウパダシチニブの有効性・安全性: 第2b相導入療法試験	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	アクロス福岡	2019年11月29日
久松理一	潰瘍性大腸炎の国内外の診療ガイドライン	JDDW 2019	神戸コンベンションセンター	2019年11月21-24日
齋藤大祐, 三浦みき, 久松理一	潰瘍性大腸炎における 5-ASA 不耐症例に対する 5-ASA ローテーションの有効性の検討	JDDW 2019	神戸コンベンションセンター	2019年11月21-24日
徳永創太郎, 齋藤大祐, 久松理一	高齢発症潰瘍性大腸炎患者の転帰に関する予後因子の検討	JDDW 2019	神戸コンベンションセンター	2019年11月21-24日
林田真理, 三好 潤, 和田晴香, 尾崎良, 菊地翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 櫻庭彰人, 松浦 稔, 久松理一	ベーチェット病の小腸病変に対するカプセル内視鏡検査と便中カルプロテクチン測定の有効性	第57回日本小腸学会	リーガロイヤルホテル大阪	2019年11月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
齋藤大祐, 松浦 稔, 尾崎 良, 菊地翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好潤, 仲瀬裕志, 久松理一	当院における MEFV 遺伝子関連腸炎の臨床的特徴に関する検討	第 57 回日本小腸学会	リーガロイヤルホテル大阪	2019 年 11 月 9 日
久松理一	難治性小腸疾患の診断と治療 (基調講演)	第 57 回日本小腸学会	リーガロイヤルホテル大阪	2019 年 11 月 9 日
齋藤大祐, 松浦 稔, 尾崎 良, 菊地翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好潤, 仲瀬裕志, 久松理一	MEFV 遺伝子解析を実施した IBD unclassified の検討	第 37 回日本大腸検査学会総会	JA 共催ビルカンファレンスホール	2019 年 11 月 1-2 日
久松理一	炎症性腸疾患に対する分子標的治療の進歩 (教育講演)	第 37 回日本ヒト細胞学会学術集会	杏林大学井の頭キャンパス	2019 年 10 月 19 日
三好 潤, Leone Vanessa, 三好佐和子, Lee Sonny, Eren A. Murat, 久松理一, Chang Eugene	周産期母体への抗生剤曝露により子に生じる腸管 dysbiosis, 免疫発達異常, 炎症性腸疾患リスクの上昇	第 56 回日本消化器免疫学会総会	メルパルク京都	2019 年 8 月 1-2 日
齋藤大祐, 日比則孝, 尾崎 良, 菊地翁輝, 佐藤太龍, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 池崎 修, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 仲瀬裕志, 久松理一	コルヒチンが有効な MEFV 遺伝子関連腸炎が IBDU に紛れている	第 56 回日本消化器免疫学会総会	メルパルク京都	2019 年 8 月 1-2 日
久松理一	潰瘍性大腸炎のモニタリングとバイオマーカー	第 56 回日本消化器免疫学会総会	メルパルク京都	2019 年 8 月 1-2 日
徳永創太郎, 齋藤大祐, 三浦みき, 尾崎 良, 菊地翁輝, 箕輪慎太郎, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好 潤, 松浦 稔, 久松理一	高齢発症潰瘍性大腸炎患者の転帰に関する予後予測因子の解析	第 22 回日本高齢消化器病学会総会	神戸ポートピアホテル	2019 年 8 月 2-3 日
Tadakazu Hisamatsu, Bruce E. Sands, Colleen Marano	Efficacy and Safety of Ustekinumab as Maintenance Therapy in Ulcerative Colitis: Week 44 Results from UNIFI	第 105 回日本消化器病学会総会	石川県立音楽堂	2019 年 5 月 9 日
根本展希, 櫻庭彰人, 池崎 修, 三井達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 林田真理, 久松理一	病変範囲を考慮した潰瘍性大腸炎における便中バイオマーカーの特性についての検討	第 105 回日本消化器病学会総会	ホテル日航金沢	2019 年 5 月 11 日
久松理一, 鈴木康夫, 栗本沙理奈, 日比紀文	クローン病を対象としたアダリムマブ長期使用での安全性と有効性の検討: 特定使用成績調査 (DEEP survey)	第 105 回日本消化器病学会総会	ホテル金沢	2019 年 5 月 10 日
久松理一	IBD における便バイオマーカーの展望と課題	第 105 回日本消化器病学会総会	ホテル日航金沢	2019 年 5 月 9 日
Sandborn WJ, Sands BE, Panaccione R, O'Brien CD, Zhang H, Johans J, Peyrin-Biroulet L, Van Assche G, Danese S, Targan SR, Abreu MT, Hisamatsu T, Szapary TP, Marano C.	Efficacy and safety of ustekinumab as maintenance therapy in ulcerative colitis: Week 44 results from UNIFI (Oral Presentation).	14th Congress of ECCO,	Copenhagen.	2019 年 3 月 6-9 日
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata M, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T, DIAMOND2 Study Group.	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2) (Digital Oral Presentation).	14th Congress of ECCO,	Copenhagen.	2019 年 3 月 6-9 日
Van Assche G, Targan SR, Baker T, O'Brien CD, Zhang H, Johans J, Szapary P, Marano C, Leong RW, Rowbotham D, Hisamatsu T, Danese S, Sands BE, Peyrin-Biroulet L.	Sustained remission in patients with moderate to severe ulcerative colitis: Results from the Phase 3 UNIFI maintenance study. (Digital Oral Presentation).	14th Congress of ECCO,	Copenhagen.	2019 年 3 月 6-9 日
Nemoto N, Sakuraba A, Ozaki R, Sato T, Tokunaga S, Kikuchi O, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Saito D, Hayashida M, Yoneyama M, Mori H, Ohnishi H, Hisamatsu T.	Value of faecal biomarkers are affected by extension of inflammation in ulcerative colitis (Poster Presentation).	14th Congress of ECCO,	Copenhagen.	2019 年 3 月 6-9 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Adedokun OJ, Xu Z, Marano C, O'Brien CD, Szapary P, Zhang H, Johanns J, Leong RW, Hisamatsu T, Van Assche G, Danese S, Abreu MT, Sands BE, Sandborn WJ.	Pharmacokinetics and exposure-response relationships of intravenously administered ustekinumab during induction treatment in patients with ulcerative colitis: Results from the UNIFI induction study (Poster Presentation).	14th Congress of ECCO,	Copenhagen.	2019年3月6-9日
Lichtenstein G.R., Tinsley A., Roblin X., Hisamatsu T., Vong C., Tsuchiwa S., Tsilkos K., Zhang H., Mukherjee A., Su C.7, Rubin D.T.	BASELINE ALBUMIN LEVEL IS NOT A SIGNIFICANT PREDICTOR OF TOFACITINIB EFFICACY IN PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: RESULTS OF MULTIVARIATE EXPOSURE-RESPONSE ANALYSIS	ACG 2018	Philadelphia, Pennsylvania	2018年10月5-10日
Sands, BE, M.D., Sandborn WJ, M.D., Panaccione R, M.D., O'Brien CD, M.D., Ph.D., Zhang H., Ph.D., Johanns J, Ph.D., Peyrin-Biroulet L., M.D., Ph.D., van Assche G, M.D., Ph.D., Danese S., M.D., Ph.D., Targan S., M.D., Abreu MT., M.D., Hisamatsu T, M.D., Ph.D., Szapary P., M.D., Marano C., Ph.D.	Safety and Efficacy of Ustekinumab Induction Therapy in Patients with Moderate to Severe Ulcerative Colitis: Results from the Phase 3 UNIFI Study.	ACG 2018	Philadelphia, Pennsylvania	2018年10月5-10日
Sands B.E., Sandborn W.J., Panaccione R., O'Brien C., Zhang H., Johanns J., Peyrin-Biroulet L., van Assche G., Danese S., Targan S., Abreu M.T., Hisamatsu T., Szapary P., Marano C.W.	SAFETY AND EFFICACY OF USTEKINUMAB INDUCTION THERAPY IN PATIENTS WITH MODERATE TO SEVERE ULCERATIVE COLITIS: RESULTS FROM THE PHASE 3 UNIFI STUDY	UEG Week 2018	Vienna, Austria.	2018年10月20-24日
Lichtenstein G.R., Tinsley A., Roblin X., Hisamatsu T., Vong C., Tsuchiwa S., Tsilkos K., Zhang H., Mukherjee A., Su C.7, Rubin D.T.	BASELINE ALBUMIN LEVEL IS NOT A SIGNIFICANT PREDICTOR OF TOFACITINIB EFFICACY IN PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: RESULTS OF MULTIVARIATE EXPOSURE-RESPONSE ANALYSIS	UEG Week 2018	Vienna, Austria.	2018年10月20-24日
Miura M, Saito D, Ozaki R, Kikuchi O, Sato T, Tokunaga S, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Sakuraba A, Hayashida M, Hisamatsu T.	Predictive factors of clinical remission by infliximab in ulcerative colitis.	The 6th Annual meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Shanghai, China	2018年6月21-23日
Tokunaga S, Saito D, Kikuchi O, Sato T, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hayashida M, Hisamatsu T.	Risk factors for surgery in patients with ulcerative colitis.	The 6th Annual meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Shanghai, China	2018年6月21-23日
Hisamatsu T, Matsumoto T, Watanabe K, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima N, Watanabe M, Hibi T, DIAMOND study group.	CLINICAL FACTORS ASSOCIATED WITH DISCONTINUATION OF COMBO OR MONOTHERAPY FOR CROHN'S DISEASE: A SUB-ANALYSIS OF A PROSPECTIVE RANDOMIZED CLINICAL TRIAL (DIAMOND STUDY)	Digestive Disease Week	Washington DC.	2018年6月2-5日
Hisamatsu T, Sands BE, Sandborn WJ, Panaccione R, O'Brien CD, Zhang H, Johanns J, Peyrin-Biroulet L, van Assche G, Silvio Danese S, Targan S, Abreu MT, Szapary P, Colleen Marano C.	Safety and Efficacy of Ustekinumab Induction Therapy in Patients with Moderate to Severe Ulcerative Colitis: Results from the Phase 3 UNIFI Study	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
櫻庭彰人, 根本展希, 尾崎良, 佐藤太龍, 徳永創太郎, 菊地翁輝, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 林田真理, 米山正芳, 大西宏明, 森秀明, 久松理一	潰瘍性大腸炎における便中バイオマーカーの罹患範囲を考慮した臨床活用について	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
菊地翁輝, 齋藤大祐, 日比則孝, 尾崎良, 佐藤太龍, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 三浦みき, 佐藤洋平, 櫻庭彰人, 林田真理, 大山学, 久松理一	線状IgA水疱性皮膚症を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
森久保拓, 小林拓, 尾崎良, 清原裕貴, 瀧上綾子, 松林真央, 左上晋太郎, 中野雅, 久松理一, 日比紀文	潰瘍性大腸炎における5-ASA製剤とチオプリン製剤の相互作用に関する研究	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
梅野淳嗣, 冬野雄太, 松野雄一, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 梁井俊一, 大宮直木, 久松理一, 渡辺憲治, 細江直樹, 緒方晴彦, 平井郁仁, 松井敏幸, 八尾恒良, 北園孝成, 松本主之, CEAS study group	非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について-全国調査報告-	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
三浦みき, 齋藤大祐, 森久保拓, 菊池翁輝, 佐藤太龍, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 久松理一	潰瘍性大腸炎に対するInfliximabにおける臨床的寛解の予測因子の検討	JDDW 2018	神戸国際会議場	2018年11月1-4日
徳永創太郎, 齋藤大祐, 三浦みき, 森久保拓, 菊池翁輝, 佐藤太龍, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 久松理一	入院潰瘍性大腸炎患者における外科手術基危険因子の検討	JDDW 2018	神戸国際会議場	2018年11月1-4日
關里和, 林田真理, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 田中弦, 櫻庭彰人, 木村徹, 櫻井裕之, 久松理一	CEASにおける変異SLC02A1トランスポーターの機能解析	第56回日本小腸学会	東京ガーデンパレス	2018年10月27日
久松理一	教育講演 3 炎症性腸疾患治療の新しい時代	第12回日本消化管学会教育集会	東京国際フォーラム	2018年9月9日
徳永創太郎, 齋藤大祐, 三浦みき, 尾崎良, 菊池翁輝, 佐藤太龍, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 正木忠彦, 久松理一	潰瘍性大腸炎における外科手術の危険因子の検討-高齢者は危険因子となりうるか	第21回日本高齢消化器病学会	ホテルグランデはがくれ佐賀	2018年8月3-4日
齋藤大祐, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 久松理一	MEFV遺伝子解析を実施したIBD unclassifiedの検討 内視鏡所見を中心に	第106回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	シェーンパッハ・サボ-	2018年6月16-17日
Hisamatsu T.	AOCC Forum II What are the predicting factors for poor outcomes in IBD in Asia?	The 5th Abbuual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	ソウル	2017年6月17日
Saito D, Sato T, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hayashida M, Tokunaga K, Mori H, Hismatsu T.	Evaluation of usefulness of Drug-induced Lymphocyte Stimulation Test (DLST) for the diagnosis of mesalazine allergy	The 5th Abbuual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	ソウル	2017年6月17日
Nakase N, Motoya S, Matsumoto T, Watanabe W, Hisamatsu T, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T.	ASSOCIATION BETWEEN PHARMACOKINETICS OF ADALIMUMAB AND DISEASE OUTCOME IN JAPANESE PATIENTS WITH BIOLOGICS NAIVE CROHN'S DISEASE: A SUBANALYSIS OF DIAMOND STUDY	Digestive Disease Week 2017	シカゴ	2017年5月6-9日
Watanabe K, Matsumoto T, Motoya S, Hisamatsu T, Nakase H, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Nagahori M, Esaki M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T.	COMPARISON OF ENDOSCOPIC RESPONSES TO ADALIMUMAB MONOTHERAPY AND COMBINATION THERAPY WITH AZATHIOPRINE IN PATIENTS WITH CROHN'S DISEASE: A SUB-ANALYSIS OF DIAMOND TRIAL	Digestive Disease Week 2017	シカゴ	2017年5月6-9日
三浦みき, 齋藤大祐, 森久保拓, 菊池翁輝, 佐藤太龍, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 松岡弘芳, 森秀明, 正木忠彦, 久松理一	当院の入院潰瘍性大腸炎患者治療における内科と外科の連携	第14回日本消化管学会総会	京王プラザホテル	2018年2月9-10日
久松理一	炎症性腸疾患治療における新たに登場する分子標的治療薬 ~mode of actionからみた抗TNF α 抗体製剤との相違点~ (教育講演)	第204回日本消化器病学会東北支部例会 第160回日本消化器内視鏡学会東北支部例会	仙台国際センター	2018年2月2日
森久保拓, 三浦みき, 齋藤大祐, 佐藤太龍, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 松岡弘芳, 正木忠彦, 久松理一	潰瘍性大腸炎患者治療における内科外科の連携-当院入院患者の成績から-	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	TKP ガーデンシティ品川	2017年12月1日
久松理一	腸管ベーチットと単純性潰瘍	第45回日本潰瘍学会	ハイアットリージェンシー京都	2017年11月20-21日
久松理一	IBDの新規治療薬オーバービュー	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡国際会議場	2017年11月10-11日
齋藤大祐, 佐藤太龍, 箕輪慎太郎, 池崎修, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 徳永健吾, 森秀明, 久松理一	潰瘍性大腸炎におけるメサラジン製剤に対する薬剤リソパル球刺激試験の有用性の評価	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡国際会議場	2017年11月10-11日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
林田真理, 三浦みき, 徳永創太郎, 佐藤太龍, 箕輪慎太郎, 池崎 修, 三井達也, 齋藤大祐, 櫻庭彰人, 正木忠彦, 久松理一	当院におけるクローン病に対する外科治療適応症例についてのマネージメントについて	第 55 回日本小腸学会学術集会	京都メルパルク	2017 年 10 月 21 日
久松理一	患者目線で考える潰瘍性大腸炎の実臨床 医師と患者の認識の乖離 Discrepancy of physician-patient recognition in IBD	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 14 日
久松理一	日本発の DIAMOND スタディから見たもの What has been seen from analysis of the reason for withdrawal - Physician's concerns and the risk factor of withdrawal - (DIAMOND study sub-analysis)	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 13 日
齋藤大祐, 佐藤太龍, 箕輪慎太郎, 池崎 修, 三井達也, 三浦みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 徳永健吾, 森 秀明, 久松理一	潰瘍性大腸炎におけるメサラジン製剤に対する薬剤リンパ球刺激試験の有用性の評価	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 13 日
三浦みき, 齋藤大祐, 佐藤太龍, 箕輪慎太郎, 池崎 修, 三井達也, 櫻庭彰人, 林田真理, 徳永健吾, 森 秀明, 久松理一	当院における潰瘍性大腸炎に対する抗 TNF- α 抗体製剤の治療成績	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 13 日
鈴木康夫, 渡辺 守, 松井敏幸, 本谷 聡, 久松理一, 湯浅博俊, 田平淳一, 五十嵐直樹, 新井洋子, 日比紀文	活動期潰瘍性大腸炎患者におけるトファシニブ寛解維持試験 (国際共同 P3 臨床試験) の日本人部分集団解析	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 13 日
尾崎良, 小林拓, 齋藤詠子, 豊永貴彦, 岡林慎二, 梅田智子, 中野雅, 松岡健太郎, 森永正二郎, 久松理一, 日比紀文	潰瘍性大腸炎における組織学的再燃リスク因子の探索	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 13 日
久松理一	炎症性腸疾患に対する Linked Color Imaging の有用性	JDDW 2017	福岡国際会議場	2017 年 10 月 12 日
久松理一	IBD 治療の up to date	第 346 回 日本消化器病学会関東支部例会	海運クラブ	2017 年 9 月 30 日
久松理一	炎症性腸疾患と脊椎関節炎	第 27 回日本脊椎関節炎学会 学術集会	高知市文化プラザかるぼーと	2017 年 9 月 9 日
久松理一	炎症性腸疾患に対する分子標的治療の進歩	第 38 回日本炎症・再生医学会	大阪国際会議場	2017 年 7 月 18-19 日
久松理一	炎症性腸疾患治療の現在と今後の展望 (教育講演)	日本消化器病学会関東支部 第 30 回教育講演会	シェーンパッハ・サボ	2017 年 6 月 25 日
尾崎良, 小林拓, 齋藤詠子, 豊永貴彦, 岡林慎二, 梅田智子, 中野雅, 松岡健太郎, 森永正二郎, 久松理一, 日比紀文	潰瘍性大腸炎における大腸内視鏡下生検組織による臨床的再燃予測	第 93 回日本消化器内視鏡学会	大阪国際会議場	2017 年 5 月 11 - 13 日
久松理一	クローン病治療の新時代	第 103 回日本消化器病学会総会	京王プラザホテル	2017 年 4 月 20-22 日
Bruce E.Sands, William J. Sandborn, Laurent Peyrin-Biroulet, Peter DR Higgins, Fumihito Hirai, Vipul Jairath, Ruth Belin, Yan Dong, Elisa Gomez Valderas, Debra Miller, MaryAnn Morgan-Cox, April N. Naegeli, Paul Pollack, Jay Tuttle, Toshifumi Hibi.	Impact of Mirikizumab Treatment on Inflammatory Bowel Disease Questionnaire Scores in Patients With Moderate to Severely Active Crohn's Disease.	27 th United European Gastroenterology Week (UEGW)	バルセロナ	2019 年 10 月 19-23 日
Takeda T, Hirai F, Takatsu N, Kishi M, Beppu T, Yao K, Ueki T	Long-term outcomes of endoscopic balloon dilation for small-bowel strictures using double balloon enteroscopy in patients with Crohn's disease	14 th Congress of European Crohns and Colitis Organisation (ECCO)	コペンハーゲン	2019 年 3 月 6 日-9 日
阿部光市, 今給黎宗, 松岡弘樹, 向坂秀人, 松岡 賢, 萱嶋善行, 久能宣昭, 石橋英樹, 船越禎広, 竹田津英稔, 平井郁仁	迅速に行った小腸カプセル内視鏡検査が診断に有用であった小腸動静脈奇形の一例	第 13 回日本カプセル内視鏡学会総会	姫路	2020 年 2 月 9 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
平井郁仁、Bruce E Sands、William J. Sandborn、Laurent Peyrin-Biroulet、Peter DR Higgins、中條 航、里井洋一、Ruth Belin、Elisa Gomez Valderas、Debra Miller、MaryAnn Morgan-Cox、April Naegeli、Paul Pollack、Jay Tuttle、渡辺 守、日比紀文	Mirikizumab(抗 IL23p19 抗体製剤)の日本人を含むクローン病(CD)患者での第 相試験の12週の有効性及び安全性	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
平井郁仁、宇田晃仁、田中圭祐	大規模診療データ解析からみた本邦のクローン病治療及び診断の実態	第27回日本消化器関連学会週間(JDDW2019)	神戸	2019年11月21-24日
今給黎 宗、松岡弘樹、向坂秀人、松岡賢、萱嶋善行、久能宣昭、阿部光市、船越禎広、石橋英樹、竹田津英稔、平井郁仁	回腸末端に高度の潰瘍性病変を認めたIgA血管炎の一例	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
久能宣昭、今給黎 宗、松岡弘樹、向坂秀人、松岡 賢、萱嶋善行、阿部光市、船越禎広、石橋英樹、竹田津英稔、平井郁仁	直腸尿道瘻を伴うクローン病に対しステクヌマブを投与し、外科的治療が回避できた1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019年11月8-9日
柴田 衛、久能宣昭、阿部光市、北口恭規、松岡弘樹、今給黎 宗、向坂秀人、松岡 賢、萱嶋善行、船越禎広、石橋英樹、竹田津英稔、平井郁仁	典型的な全身症状を欠き、診断に難渋したループス腸炎の一例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019年11月8-9日
Kishi M, Hirai F, Yano Y, Takatsu N, Takada Y, Takeda T, Yao K, Ueki T	A Prospective Study to Assess the Effectiveness of Tacrolimus Therapy in Ulcerative Colitis	6 th Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	上海	2018年6月21-23日
Fukushima Y, Kishi M, Yano Y, Hirai F, Ueki T	Use of ustekinumab in patients with refractory Crohn's disease at our hospital	6 th Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	上海	2018年6月21-23日
高田康道、平井郁仁、武田輝之、別府剛志、岸 昌廣、矢野 豊、八尾建史、植木敏晴	当院における難治性クローン病に対するUstekinumabの使用経験	第26回日本消化器関連学会週間(JDDW2018)	神戸	2018年11月1-4日
Takada Y, Yasukawa S, Beppu T, Kishi M, Yano Y, Hirai F	Therapeutic efficacy and predictors of efficacy of infliximab in the treatment of refractory ulcerative colitis	5 th Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	ソウル	2017年6月15日
Yasukawa S, Yano Y, Takada Y, Kishi M, Beppu T, Hisabe T, Takaki Y, Hirai F, Yao K, Ueki T, Matsui T	Clinical outcome and predictive factors influencing the efficacy of biological agents for intestinal Beçet disease	5 th Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	ソウル	2017年6月15日
Yano Y, Takada Y, Yasukawa S, Beppu T, Hirai F, Yao K, Ueki T, Matsui T, Hirano Y, Higashi D, Futami K, Tanabe H, Iwashita A	Clinical features of colorectal cancer associated with Crohn's disease	5 th Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	ソウル	2017年6月15日
Beppu T, Yasukawa S, Yamasaki K, Yano Y, Hirai F, Yao K, Ueki T, Matsui T, Hirano Y, Higashi D, Futami K, Chuman K, Tanabe H, Iwashita A	Clinical and pathological features of 4 cases of small intestine cancer occurring in association with Crohn's disease	5 th Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	ソウル	2017年6月15日
平井郁仁、矢野 豊、岸 昌廣	クローン病の寛解維持治療における栄養療法の有用性と限界 - 抗 TNF- 抗体との併用例を中心に -	第21回日本病態栄養学会	京都	2018年1月12-14日
平井郁仁、岸 昌廣、高田康道、武田輝之、佐藤祐邦、別府剛志、矢野 豊	クローン病狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有用性	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
矢野 豊、高田康道、武田輝之、別府剛志、佐藤祐邦、岸 昌廣、平井郁仁、八尾建史、松井敏幸、植木敏晴	アダリムマブのクローン病に対する長期成績と効果減弱例に対する倍量投与の治療成績	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
渡辺憲治、西下正和、嶋本文雄、福知工、江崎幹宏、岡 志郎、藤井茂彦、平井郁仁、井上拓也、樋田信幸、野崎良一、櫻井俊治、竹内 健、猿田雅之、斎藤彰一、斎藤 豊、大宮直木、味岡洋一、川野怜諸、田中信治	潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡におけるNBI観察と色素内視鏡観察のランダム化比較試験: Navigator Study	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
山崎一朋、平井郁仁、久部高司、石原裕士、八坂達尚、矢野 豊、八尾建史、松井敏幸、二見喜太郎、岩下明徳	潰瘍性大腸炎におけるLow grade dysplasiaの取り扱いと経過	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
武田輝之、二宮風夫、久部高司、大門裕貴、高田康道、山岡梨乃、金城 健、佐藤祐邦、岸 昌廣、高津典孝、矢野 豊、平井郁仁、松井敏幸、八尾建史、植木敏晴	カプセル内視鏡による潰瘍性大腸炎とCrohn病の小腸病変の評価	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
小島俊樹、長濱 孝、平井郁仁、八尾建史、植木敏晴、松井敏幸	当院における難治性クローン病に対するウステキヌマブの使用経験	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
宇野駿太郎、武田輝之、高田康道、山崎一朋、安川重義、別府剛志、岸 昌廣、矢野豊、平井郁仁、八尾建史、植木敏晴、松井敏幸、平野由紀子、東 大二郎、二見喜太郎、中馬健太、田邊 寛、岩下明德	クローン病に合併した早期小腸癌の一例	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
別府剛志、矢野 豊、平井郁仁、武田輝之、山崎一朋、植木敏晴、八尾建史、松井敏幸、平野由紀子、東大二郎、二見喜太郎、中馬健太、田邊 寛、岩下明德	クローン病に合併した小腸癌の臨床的特徴	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10-11日
渡辺憲治、大宮直木、平井郁仁、松井敏幸	クローン病診断におけるカプセル内視鏡の有用性：J-POP Study 追加検討から	第 55 回日本小腸学会	京都	2017年10月21日
別府剛志、山崎一朋、武田輝之、矢野豊、平井郁仁、八尾建史、植木敏晴、松井敏幸、平野由紀子、東大二郎、二見喜太郎、中馬健太、田邊 寛、岩下明德	術後病理組織検査にて診断し得たクローン病に合併した早期小腸癌の2例	第 55 回日本小腸学会	京都	2017年10月21日
平井郁仁、矢野 豊、岸 昌廣	クローン病狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有用性	第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW2017）	福岡	2017年10月12-15日
岸 昌廣、平井郁仁、矢野 豊、松井敏幸、高田康道、武田輝之、別府剛志、二宮風夫、山本博則、矢野智則、坂本長逸、三井啓吾、後藤秀実、中村正直、田中信治、岡 志郎、江崎幹宏、浅野光一、八尾建史、植木敏晴	3.2 鉗子チャンネル搭載 DBE を使用した EBD の有用性に関する検討	第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW2017）	福岡	2017年10月12-15日
山崎一朋、平井郁仁、久部高司、矢野 豊	潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡の有用性についての検討	第 103 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡	2017年5月19-20日
福島 浩平	Postoperative therapy with infliximab for Crohn's disease :A2-year prospective randomized multicenter study in japan	第 119 回日本外科学会	リーガロイヤルホテル大阪	2019年4月19日
福島浩平、斉藤 喬 東北大学大学院総合外科学 神山篤史、渡辺和宏 東北労災病院 高橋賢一、羽根田祥	回腸嚢炎治療における gyrA および parC 遺伝子変異	第 9 回日本炎症性腸疾患学会	メルパルク京都	2018年11月22日
Keisuke Hatahata, Hiroyuki Anzai, Hiroki Ikeuchi, Kouhei Fukushima, Akira Sugita Yasuo Suzuki, Toshiaki Watanabe	Optimizing surveillance colonoscopy for ulcerative colitis-associated colorectal cancer by assessing surgically resected cases: A multicenter retrospective study gastroentlogy 2017 :374-373	American Gastroenterological Association	シカゴ	2017年5月9日
神山篤史、杉田昭、渡辺聡明、池内浩基、二見喜太郎、鈴木康夫、仲瀬裕志、高橋賢一、渡辺和宏、福島浩平	本邦における潰瘍性大腸炎術後小腸出欠および重症小腸炎に関する検討	第 72 回日本大腸肛門病学会	福岡	2017年11月10日
東大二郎、平野由紀子、上床崇吾、林貴臣、増井友恵、小島大望、竹下一生、二見喜太郎、前川隆文	クローン病の穿孔型、非穿孔型の病態別にみた外科治療	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月18日
上床崇吾、東大二郎、平野由紀子、林貴臣、増井友恵、二見喜太郎、前川隆文	中毒性巨大結腸症を来し手術を行った潰瘍性大腸炎の検討	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019年7月17日
上床崇吾、竹下一生、小島大望、林貴臣、平野由紀子、東大二郎、三上公治、二見喜太郎、前川隆文	クローン病十二指腸狭窄に対するパイパス術、Jabouley 手術症例の検討	日本消化器病学会九州支部例会第 113 回例会	福岡	2019年5月25日
竹下一生、林貴臣、上床崇吾、小島大望、平野由紀子、東大二郎、三上公治、二見喜太郎、前川 隆文	サーベイランスにより早期発見できたクローン病に合併した小腸癌	第 56 回九州外科学会	鹿児島	2019年5月17日
小島大望、三上公治、林貴臣、竹下一生、増井友恵、上床崇吾、永田旭、横研二、平野由紀子、平野公一、吉田康浩、東大二郎、二見喜太郎、前川隆文	ハルトマン手術後の人工肛門閉鎖の工夫	第 56 回九州外科学会	鹿児島	2019年5月17日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
二見喜太郎	炎症性腸疾患に対する外科治療の成績と方向性 クローン病に対する外科治療のこれまでとこれから	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月20日
東大二郎, 平野由紀子, 二見喜太郎, 上床崇吾, 林貴臣, 小島大望, 平野公一, 横研二, 増井友恵, 竹下一生, 吉田康浩, 永田旭, 三上公治, 前川隆文	下部消化管癌を合併したクローン病患者の外科治療とサーベイランス	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019年4月18日
Futami K, Higashi D, Hirano Y	Long-term clinical study of Perianal lesion with Crohn's Disease.	Falk symposium 2018	京都	2018年9月7日
東大二郎, 平野由紀子, 二見喜太郎, 小島大望, 林貴臣, 前川隆文, 平井郁仁	検査発見によるクローン病下部消化管癌合併症	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月10日
上床崇吾, 東大二郎, 平野由紀子, 小島大望, 二見喜太郎, 前川隆文	クローン病十二指腸病変に対する外科治療	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月10日
二見喜太郎	IBD治療における内科・外科・肛門科の連携 特別発言	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
東大二郎, 平野由紀子, 林貴臣, 二見喜太郎, 前川隆文	クローン病合併大腸癌症例の臨床的特徴	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日
安川重義, 佐藤祐邦, 矢野豊, 久部高司, 平井郁仁, 植木敏晴, 松井敏幸, 東大二郎, 二見喜太郎, 鷲尾 昌一	当院におけるクローン病患者の生命予後と死因の検討	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月20日
東大二郎, 二見喜太郎, 平野由紀子, 林貴臣, 増井友恵, 上床崇吾, 長野秀紀, 愛洲尚哉, 横研二, 平野公一, 諸鹿俊彦, 濱武大輔, 三上公治, 前川隆文	クローン病における外科治療の現状と今後の課題	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018年4月5日
東大二郎, 二見喜太郎, 平野由紀子, 上床崇吾, 前川隆文, 松井敏幸	当科における潰瘍性大腸炎の術後経過についての検討	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
平野由紀子, 東大二郎, 二見喜太郎, 前川隆文, 松井敏幸	クローン病に合併した下部消化管癌についての検討	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
二見喜太郎	内科治療の進歩からみたIBDに対する外科治療の変遷	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月10日
東大二郎, 平野由紀子, 上床崇吾, 山本希治, 林貴臣, 増井友恵, 二見喜太郎, 前川隆文	クローン病十二指腸瘻孔に対する外科治療	第72回日本消化器外科学会総会	金沢	2017年7月20日
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 上床崇吾, 平野公一, 三上公治, 前川隆文	手術症例からみたIBD癌サーベイランスの有用性と問題点	日本消化器病学会九州支部例会第109回例会	福岡	2017年5月19日
宇野駿太郎, 小島俊樹, 石川智士, 石原裕士, 久部高司, 平井郁仁, 八尾健史, 松井敏幸, 植木敏晴, 平野由紀子, 東大二郎, 二見喜太郎, 原岡誠司, 岩下明徳	腸重積を伴った上行結腸悪性リンパ腫の1例	第93回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017年5月13日
東大二郎, 平野由紀子, 二見喜太郎, 林貴臣, 増井友恵, 上床崇吾, 山本希治, 前川隆文	下部消化管癌を合併したクローン病症例の検討	第117回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017年4月27日
Chikako Watanabe, Motohiro Esaki, Kenji Watanabe, Shiro Nakamura, Hirokazu Yamagami, Naoki Yoshimura, Makoto Naganuma, Katsuyoshi Matsuoka, Kaoru Yokoyama, Toshimitsu Fujii, Masakazu Nagahori, Taku Kobayashi, Toshifumi Hibi, Ryota Hokari	NON-ADHERENCE TO MAINTENANCE MEDICATIONS IS COMMON IN PREGNANT ULCERATIVE COLITIS PATIENTS AND CONTRIBUTE TO DISEASE FLARES AND ADVERSE PREGNANCY OUTCOMES-A MULTICENTER PROSPECTIVE STUDY.	DIGESTIVE DISEASE WEEK 2019	米国 サンディエゴ	2019年5月19日
角田 知之, 松尾 洋孝, 穂苅 量太	血清尿酸値は小腸上障害のマーカーとなる ABCG2 遺伝子解析による病態生理学モデルの提唱	第59回日本消化器病学会大会	福岡	2017年10月13日
岡田義清, 穂苅 量太, 三浦 総一郎	米みそ由来新規プロバイオティック酵母の実験大腸炎に対する抑制効果とその作用機序	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月22日
古橋廣崇, 三浦総一郎, 穂苅量太	乳化剤がNSAID腸炎を増悪させる機序について	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月22日
Umeno J, Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Esaki M, Yanai S, Ohmiya N, Hisamatsu T, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hirai F, Hisabe T, Matsui T, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T, CEAS Study Group	A nationwide survey of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene in Japan	The 15th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020, 2

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Okamoto D, Kakuta Y, Takeo N, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Hisashi S, Fuyuno Y, <u>Umeno J</u> , Hirano A, Torisu T, Nakamura M, <u>Esaki M</u> , <u>Matsumoto T</u> , Kinouchi Y, Masamune A	Genetic analysis of ulcerative colitis in Japanese individuals using population-specific SNP array	The 15th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020, 2
Okamoto Y, <u>Esaki M</u> , Morishita T, Hara Y, Hirano A, <u>Umeno J</u> , Maehata Y, Kobayashi H, Ishikawa H, Torisu T, <u>Matsumoto T</u> , and Kitazono T	Preventive effect of lactobacillus salivarius wb21 on small bowel injuries in subjects who take both nsaid and ppi: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial	27th United European Gastroenterology Week	Barcelona, Spain	2019, 10
Matsuno Y, <u>Umeno J</u> , <u>Esaki M</u> , Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Yasukawa S, Hirai F, Watanabe K, Hosoe N, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Kitazono T, and <u>Matsumoto T</u>	Usefulness of Prostaglandin E-major urinary metabolite measurement for the differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS) and Crohn's disease.	Asian Pacific Association of Gastroenterology	Cebu, Philippine	2018, 9
梅野淳嗣, 冬野雄太, 松野雄一, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 梁井俊一, 大宮直木, 久松理一, 渡辺憲治, 細江直樹, 緒方晴彦, 平井郁仁, 松井敏幸, 八尾恒良, 北園孝成, 松本主之, CEAS study group.	非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について - 全国調査報告 -	第9回日本炎症性腸疾患学会	京都	2018, 11
松野雄一, 梅野淳嗣, 平川洋一郎, 冬野雄太, 岡本康治, 安川重義, 平井郁仁, 渡辺憲治, 細江直樹, 河内修司, 蔵原晃一, 八尾恒良, 鳥巢剛弘, 北園孝成, 松本主之, 江崎幹宏	CEASとCrohn病の鑑別における尿中プロスタグランジンE主要代謝産物濃度測定の有用性に関する検討	第9回日本炎症性腸疾患学会	京都	2018, 11
梁井俊一, 中村昌太郎, 川崎啓祐, 永塚真, 上杉憲幸, 梅野淳嗣, 菅井有, 松本主之	非特異性多発性小腸潰瘍症とクローン病の上部消化管粘膜におけるSLC02A1蛋白発現	第56回日本小腸学会学術集会	東京	2018, 10
<u>Esaki M</u> , Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Fuyuno Y, Hirano A, <u>Umeno J</u> , Kitazono T, <u>Matsumoto T</u> , Suzuki Y	Inter- and intra-observer variation of capsule endoscopic findings for the diagnosis of Crohn's disease: A case control study	The 14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2018, 3
Nagata Y, <u>Esaki M</u> , Hirano A, <u>Umeno J</u> , Maehata Y, Torisu T, Moriyama T, <u>Matsumoto T</u> , Kitazono T	The preventive effect of anti-tumor necrosis factor therapy against initial intestinal surgery in patients with Crohn's disease	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017, 6
Nuki Y, <u>Umeno J</u> , Washio E, Maehata Y, Hirano A, Kobayashi H, Kitazono T, <u>Matsumoto T</u> , <u>Esaki M</u>	Influence of cytochrome P450 2C19 polymorphisms on exacerbating effect of proton pump inhibitor in nonsteroidal anti-inflammatory drugs-induced small bowel injury.	Digestive Disease Week 2017	Chicago, USA	2017, 5
伊藤貴伸, 星雄介, 本間貴士, 角田文彦, 虻川大樹, 武山淳二	TNF- 阻害薬関連血管炎を発症した潰瘍性大腸炎の1例	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良市	2019年11月2日
鈴鴨由美子, 鈴木千鶴, 伊藤貴伸, 星雄介, 本間貴士, 角田文彦, 虻川大樹	当院における小児炎症性腸疾患の成人移行期支援の取り組み	第45回日本小児栄養消化器肝臓学会	さいたま市	2018年10月7日
内田崇, 菊池敦生, 虻川大樹, 余田篤, 大沼真輔, 水落建輝, 南部隆亮, 藤原伸一, 石毛崇, 柏原俊彦, 笹原洋二, 呉繁夫	小児期発症腸管疾患に関する網羅的ゲノム解析: 本邦における多施設研究	第45回日本小児栄養消化器肝臓学会	さいたま市	2018年10月6日
Usami M, Takeuchi I, Shoji H, Kudo T, Jimbo K, Nambu R, Iwama I, Hara T, Shimizu H, Shimizu T, Arai K.	Evaluation of Deficient Nutrients in Infants and Toddlers Mainly Taking Amino-Acids Based Low-Fat Formula: Exploratory Study.	Pediatric Gastroenterology, Hepatology & Nutrition, KTJ Meeting 2019	Seoul, Korea	2019年10月20日
Arai K, Tanaka M, Shimizu H, Akemoto Y, Takeuchi I, Irie R, Yoshioka T.	Impaired plasmacytosis as a characteristic histological finding of very early-onset inflammatory bowel disease.	5th International Symposium on Paediatric Inflammatory Bowel Disease	Budapest, Hungary	2019年9月12日
Shimizu H, Arai K, Takahashi T, Asahara T, Tsuji H, Matsumoto S, Takeuchi I, Kyodo R, Yamashiro Y.	Stool preparation under anaerobic conditions contributes to retaining obligate anaerobes for faecal microbiota transplantation.	5th International Symposium on Paediatric Inflammatory Bowel Disease	Budapest, Hungary	2019年9月12日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
石毛崇, 村越孝次, 国崎玲子, 萩原真一郎, 清水泰岳, 齋藤武, 中山佳子, 柳忠宏, 井上幹大, 熊谷秀規, 岩間達, 望月貴博, 田尻仁, 平野友梨, 新井勝大.	日本小児IBDレジストリ報告 2020: 小児クローン病治療の経時的変化.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
竹内一朗, 清水泰岳, 京戸玲子, 佐藤琢郎, 宇佐美雅章, 伊藤夏希, 平野友梨, 新井勝大.	小児期発症クローン病患者に対するウステキヌマブの使用経験.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
平野友梨, 板橋道朗, 齋藤武, 内田恵一, 井上幹大, 新井勝大, 平山敦大, 木村英明, 国崎玲子.	思春期に大腸全摘術を受けた潰瘍性大腸炎患者の手術に対する心理的受容の検討.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
新井勝大, 田中正則, 清水泰岳, 明本由衣, 竹内一朗, 義岡孝子.	超早期発症型炎症性腸疾患の病理組織所見の検討.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
石原潤, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 坂本廣高, 小西健一郎, 水落建輝.	本邦の小児炎症性腸疾患における血清亜鉛・セレンの検討: 後方視的多施設研究.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原潤, 樽井俊介, 光山慶一.	小児潰瘍性大腸炎の診断における血清PR3-ANCAの有用性: 前方視的多施設研究.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
石毛崇, 新井勝大, 工藤孝広, 江口英孝, 竹内一朗, 西澤拓哉, 神保圭佑, 岡崎康司, 清水俊明.	国内における遺伝性炎症性腸疾患疑い症例の診断体制構築のための研究.	第20回日本小児IBD研究会	神奈川	2020年2月2日
新井勝大, 清水俊明, 工藤孝広, 清水泰岳, 細井賢二, 大塚宜一, 石毛崇, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫.	本邦における腸早期発症型炎症性腸疾患(VEO-IBD)の実態解明と診断基準の作成.	厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度 第2回総会	東京	2020年1月23日
石毛崇, 村越孝次, 国崎玲子, 萩原真一郎, 清水泰岳, 齋藤武, 中山佳子, 柳忠宏, 井上幹大, 熊谷秀規, 岩間達, 望月貴博, 田尻仁, 平野友梨, 新井勝大.	日本小児炎症性腸疾患レジストリを用いた小児期発症クローン病に対する栄養療法の使用実態の解析.	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原潤, 樽井俊介, 光山慶一.	小児潰瘍性大腸炎の診断における血清PR3-ANCAの有用性: 前方視的多施設研究.	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
石原潤, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 坂口廣高, 小西健一郎, 水落建輝.	小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の検討: 後方視的多施設研究.	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
平野友梨, 野村智実, 清水泰岳, 竹内一朗, 田中恭子, 新井勝大.	思春期炎症性腸疾患患者におけるQOLの低下とメンタルヘルスの障害についての調査研究.	第32回日本総合病院精神医学会総会	岡山	2019年11月15日
河合利尚, 竹内一朗, 清水泰岳, 新井勝大.	慢性肉芽腫性腸炎におけるサリドマイドの治療効果と生体防御機構への影響.	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019年11月3日
石毛崇, 村越孝次, 国崎玲子, 萩原真一郎, 清水泰岳, 齋藤武, 中山佳子, 柳忠宏, 井上幹大, 熊谷秀規, 岩間達, 望月貴博, 田尻仁, 平野友梨, 新井勝大.	日本小児炎症性腸疾患レジストリを用いた小児期発症クローン病に対する栄養療法の使用実態の解析.	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019年11月3日
新井勝大, 石毛崇, 工藤孝広, 岡崎康司, 江口英孝, 神保圭佑, 竹内一朗, 西澤拓哉, 清水俊明.	超早期発症型炎症性腸疾患に対するシームレスな診断・治療・研究体制の構築研究.	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019年11月2日
京戸玲子, 清水泰岳, 竹内一朗, 平野友梨, 伊藤夏希, 宇佐美雅章, 佐藤琢郎, 清水俊明, 新井勝大.	国立成育医療研究センターにおける小児期発症炎症性腸疾患の診療経験.	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019年11月2日
伊藤夏希, 竹内一朗, 京戸玲子, 宇佐美雅章, 佐藤琢郎, 清水泰岳, 平野友梨, 清水俊明, 新井勝大.	潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更となった症例の検討.	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019年11月2日
小林まどか, 中尾寛, 伊藤夏希, 竹内一朗, 清水泰岳, 新井勝大, 窪田満.	右股関節炎を初発症状とした潰瘍性大腸炎の一例.	第46回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019年11月2日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
石原潤, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 小西健一郎, 水落建輝, 高橋美智子, 恵谷ゆり.	小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の検討 後方視的多施設研究.	第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019 年 11 月 2 日
竹内一朗, 船山理恵, 東海林宏道, 南部隆亮, 神保圭佑, 原朋子, 工藤孝広, 清水泰岳, 野村伊知郎, 岩間達, 清水俊明, 新井勝大.	成分栄養剤による栄養管理が行われている乳幼児を対象とした栄養素欠乏の探索的研究.	第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019 年 11 月 2 日
新井勝大, 河合利尚, 清水俊明, 鈴木康夫.	慢性肉芽腫症に関連する腸炎患者を対象としたサリドマイド口腔内崩壊錠のプラセボ対照二重盲検比較試験.	厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度 第 1 回総会	東京	2019 年 7 月 25 日
新井勝大, 清水俊明, 工藤孝広, 石毛崇, 清水泰岳, 細井賢二, 大塚宜一, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫.	本邦における超早期発症型炎症性腸疾患 (VE0-IBD) の実態解明と診断基準の作成.	厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度 第 1 回総会	東京	2019 年 7 月 25 日
新井喜康, 久保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 細井賢二, 工藤孝広, 大塚宜一, 小坂征太郎, 矢崎悠汰, 越智崇徳, 山高篤行, 竹内一朗, 清水泰岳, 新井勝大, 吉村聡, 加藤元博, 清水俊明.	IL-10 受容体異常による超早期発症型炎症性腸疾患と診断した 1 乳児例.	第 122 回日本小児科学会 学術集会	金沢	2019 年 4 月 20 日
水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 田尻仁.	小児クローン病の診断における血清マーカー ACP353 の有用性 前方視的多施設研究.	第 122 回日本小児科学会 学術集会	金沢	2019 年 4 月 20 日
清水泰岳, 竹内一朗, 新井勝大, 大西英理子, 嘉村浩美, 秦健一郎, 清水俊明.	小児潰瘍性大腸炎患者 8 例に対する抗菌薬前処置併用糞便移植の実施経験.	第 122 回日本小児科学会 学術集会	金沢	2019 年 4 月 20 日
Toita N, Tanaka H, Arai K, Shimizu H, Abukawa D, Kobayashi T, Yoshimura N, Tanida S, Hosoi E.	Safety and effectiveness of granulocyte and monocyte adsorptive apheresis in paediatric patients with inflammatory bowel disease: a multicentre cohort study.	14 th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation.	Copenhagen, Denmark	2019 年 3 月 6 日
Shimizu H, Ohnishi E, Arai K, Takeuchi I, Kamura H, Hata K.	Outcome of the repetitive fecal microbiota transplantation using fecal solution prepared under the anaerobic condition following the antibiotic pretreatment in eight children with ulcerative colitis.	Crohn's & Colitis Congress 2019	Las Vegas, USA	2019 年 2 月 7 日
Takeuchi I, Shimizu H, Tokita K, Hirano Y, Arai K.	Ustekinumab Treatment for Patients with Pediatric-Onset Crohn's Disease in a Tertiary Children's Hospital.	The 14th Asian Pan - Pacific Society of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition Meeting	Bangkok, Thailand	2018 年 10 月 24 日
Tokita K, Shimizu H, Takeuchi I, Shimizu T, Arai K.	Golimumab for pediatric-onset ulcerative colitis; A single center experience.	The 6 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Shanghai, China	2018 年 6 月 23 日
新井勝大, 村越孝次, 国崎玲子, 南部隆亮, 加藤沢子, 齋藤武, 水落建輝, 井上幹大, 熊谷秀規, 又吉慶, 石毛崇, 望月貴博, 田尻仁, 日衛嶋栄太郎, 青松友槻, 工藤孝広, 西亦繁雄, 清水泰岳, 平野友梨, 清水俊明.	日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究 2019 診断後 3 年間での治療の実態.	第 19 回日本小児 I B D 研究会	大阪	2019 年 2 月 3 日
水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原潤, 樽井俊介, 小原仁, 角間辰之, 光山慶一.	複数の血清抗体の比較と組み合わせによる小児クローン病診断法の検討: 前方視的多施設研究.	第 19 回日本小児 I B D 研究会	大阪	2019 年 2 月 3 日
石毛崇, 村越孝次, 国崎玲子, 萩原真一郎, 清水泰岳, 齋藤武, 中山佳子, 柳忠宏, 井上幹大, 熊谷秀規, 岩間達, 望月貴博, 田尻仁, 平野友梨, 新井勝大.	小児期発症クローン病における栄養療法による維持療法の有用性・維持効果の検討 日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究 2019.	第 19 回日本小児 I B D 研究会	大阪	2019 年 2 月 3 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
竹内一朗, 河合利尚, 谷口公介, 京戸玲子, 佐藤琢郎, 清水泰岳, 右田王介, 小野寺雅史, 秦健一郎, 新井勝大.	小児希少・未診断疾患イニシアチブ (IRUD-P) による小児炎症性腸疾患患者における全エクソーム解析の成果と今後の展望.	第 19 回日本小児 I B D 研究会	大阪	2019 年 2 月 3 日
竹内一朗, 吉田美智子, 清水泰岳, 京戸玲子, 佐藤琢郎, 庄司健介, 宮入烈, 新井勝大.	超早期発症型炎症性腸疾患加療中の 6 歳男児に生じた B C G 頸部リンパ節炎の一例.	第 15 回日本小児消化管感染症研究会	大阪	2019 年 2 月 2 日
清水泰岳, 京戸玲子, 佐藤琢郎, 竹内一朗, 今留謙一, 新井勝大.	「炎症性腸疾患: シームレスなアプローチを目指して」Special situation におけるコンセンサスとピットフォール 小児期・青年期 I B D 患者におけるチオプリン製剤の使用について.	第 15 回日本消化管学会総会学術集会	佐賀	2019 年 2 月 2 日
清水泰岳, 大西英理子, 竹内一朗, 嘉村浩美, 秦健一郎, 新井勝大.	微生物叢から見た消化管病態の新知見 小児潰瘍性大腸炎 8 例に対する抗菌薬前処置併用複数回反復糞便移植の報告.	第 15 回日本消化管学会総会学術集会	佐賀	2019 年 2 月 1 日
新井勝大, 清水俊明, 工藤孝広, 清水泰岳, 細井賢二, 大塚宜一, 石毛崇, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫.	本邦における超早期発症炎症性腸疾患 (VE0-IBD) の実態解明と診断標準の作成.	厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成 30 年度 第 2 回総会	東京	2019 年 1 月 17 日
水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原潤, 樽井俊介, 光山慶一.	新規血清マーカー ACP353 の小児クローン病診断に対する有用性: 前方視的多施設研究.	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018 年 11 月 22 日
水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 田尻仁, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 光山慶一.	新規血清マーカー ACP353 の小児クローン病診断に対する有用性・前方視的多施設研究.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	埼玉	2018 年 10 月 7 日
丘逸宏, 竹内一朗, 清水泰岳, 清水俊明, 新井勝大.	小児 I B D 患者における MR enterography の実施経験.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	埼玉	2018 年 10 月 7 日
時田万英, 清水泰岳, 竹内一朗, 清水俊明, 新井勝大.	成育医療研究センターにおける小児期発症潰瘍性大腸炎に対するゴリムマブの使用経験.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	埼玉	2018 年 10 月 6 日
細井賢二, 新井勝大, 平野友梨, 清水泰岳, 宮入烈, 亀井宏一, 伊藤秀一, 藤原武男, 清水俊明.	小児炎症性腸疾患患者における B 型肝炎ワクチン接種の効果と安全性.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	埼玉	2018 年 10 月 6 日
竹内一朗, 清水泰岳, 時田万英, 新井勝大.	当院における小児期発症 I B D 患者に対する全エクソーム解析の実績.	第 45 回日本小児栄養消化器肝臓学会	埼玉	2018 年 10 月 6 日
土田奈緒美, 宮武聡子, 桐野洋平, 石川尊士, 田村英一郎, 河合利尚, 内山徹, 新井勝大, 松本直通, 小野寺雅史.	周期性発熱およびペーチェット病症状を呈した A 2 0 ハプロ不全症.	第 9 回関東甲越疫疫不全症研究会	東京	2018 年 9 月 23 日
新井勝大, 清水俊明, 工藤孝広, 清水泰岳, 細井賢二, 大塚宜一, 内田恵一, 石毛崇, 田尻仁, 鈴木康夫.	本邦における超早期発症型炎症性腸疾患 (VE0-IBD) の実態解明と診断基準の作成.	厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成 30 年度 第 1 回総会	東京	2018 年 7 月 26 日
新井勝大, 清水泰岳, 竹内一朗, 時田万英.	小児炎症性腸疾患診療における全消化管評価の有用性.	第 45 回日本小児内視鏡研究会	東京	2018 年 7 月 7 日
新井喜康, 神保圭佑, 伊藤夏希, 時田万英, 吉村良子, 丘逸宏, 京戸玲子, 佐藤真教, 宮田恵理, 細井賢二, 松村成一, 幾瀬圭, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明, 小坂征太郎, 矢崎悠太, 越智崇徳, 山高篤行, 竹内一朗, 清水泰岳, 新井勝大.	I L - 1 0 受容体異常症と診断した超早期発症型炎症性腸疾患の 1 乳児例.	第 45 回日本小児内視鏡研究会	東京	2018 年 7 月 7 日
竹内一朗, 時田万英, 清水泰岳, 新井勝大.	難治性肛門病変で発症し、インフチキシマブ (I F X) 導入後に、肛門機能廃絶による排便障害と、 I F X 効果減弱に伴う腸炎再燃と周期的発熱を呈した乳児期発症炎症性腸疾患の 1 女児例.	第 14 回仙台小児 I B D 研究会	仙台	2018 年 5 月 19 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
吉村聡, 寺島慶太, 木村由依, 白井了太, 山田悠司, 塩田曜子, 清谷知賀子, 大隅朋生, 吉田馨, 安藤理恵, 津村悠介, 竹内一朗, 加藤元博, 富澤大輔, 宮寄治, 新井勝大, 松本公一.	VIP 産生神経芽腫と炎症性腸疾患を合併していた難治性下痢症の幼児例.	第 121 回日本小児科学会 学会集會	福岡	2018 年 4 月 21 日
細井賢二, 新井勝大, 清水泰岳, 宮入烈, 亀井宏一, 伊藤秀一, 藤原武男, 清水俊明.	小児炎症性腸疾患患者における B 型肝炎ワクチン接種の効果と安全性.	第 121 回日本小児科学会 学会集會	福岡	2018 年 4 月 21 日
Shimizu H, Ohnishi E, Arai K, Takeuchi I, Kamura H, Hata K.	Outcome of the Repetitive Fecal Microbiota Transplantation Using Fecal Solution Prepared Under the Anaerobic Condition Following the Antibiotic Pretreatment in Eight Children with Ulcerative Colitis.	Crohn's & Colitis Congress	Las Vegas, USA	2018 年 2 月 7 日
Shimizu H, Arai K, Takeuchi I, Takahashi T, Asahara T, Tsuji H, Matsumoto S, Yamashiro Y.	Anaerobic Preparation Method of Solutions for Fecal Microbiota Transplantation is not Superior to Conventional Aerobic Method.	ADVANCES in INFLAMMATORY BOWEL DISEASES	Florida, USA	2017 年 11 月 10 日
Arai K, Takeuchi I, Kawai T, Oka I, Hirano Y, Funayama R, Onodera M, Hata K, Shimizu H.	Characteristics of very early onset-inflammatory bowel disease: a single center experience using a phenotypic classification.	4th International Symposium on Pediatric Inflammatory Bowel Disease	Barcelona, Spain	2017 年 9 月 14 日
Takeuchi I, Shimizu H, Oka I, Hirano Y, Arai K.	Inflammatory Bowel Disease in Children with Special Health Care Needs.	4th International Symposium on Pediatric Inflammatory Bowel Disease	Barcelona, Spain	2017 年 9 月 14 日
Funayama R, Takeuchi I, Oka I, Shimizu H, Yamaoka K, Nomura S, Hirano Y, Arai K.	Hypozincemia in children with IBD - a single center retrospective study -.	4th International Symposium on Pediatric Inflammatory Bowel Disease	Barcelona, Spain	2017 年 9 月 14 日
Arai K.	Is Nutritional Therapy Still Important in the Biologic Era?.	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017 年 6 月 17 日
Hirano Y, Shimizu H, Oka I, Takeuchi I, Funayama R, Arai K.	Psychological Approach to Children with IBD: A Single Center Experience.	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017 年 6 月 17 日
Oka I, Funayama R, Takeuchi I, Shimizu H, Shimizu T, Arai K.	Predictors of Small Intestine Transit Time of Video Capsule Endoscopy in Children and Adolescents with Inflammatory Bowel Disease.	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017 年 6 月 17 日
Arai K, Takeuchi I, Kaburaki Y, Shimizu H, Oka I, Nagata S.	Infliximab therapy in very early onset inflammatory bowel disease: experience in Japanese children's Hospital.	The 50th Annual Congress of ESPGHAN	Prague, Czech Republic	2017 年 5 月 12 日
船山理恵, 竹内一朗, 東海林宏道, 南部隆亮, 神保圭佑, 原朋子, 工藤孝広, 丘逸宏, 清水泰岳, 野村伊知郎, 山岡和枝, 清水俊明, 新井勝大.	成分栄養剤による栄養管理が行われている乳幼児における脂溶性ビタミン欠乏の予備調査.	第 33 回日本静脈経腸栄養 学会学会集會	横浜	2018 年 2 月 23 日
新井勝大.	小児発症の炎症性腸疾患の現状とトランジション 小児期発症炎症性腸疾患患者のトランジションにおける課題と解決策の検討.	第 14 回日本消化管学会総 会学会集會	東京	2018 年 2 月 9 日
清水泰岳, 時田万英, 竹内一朗, 新井勝大.	「炎症性腸疾患: シームレスなアプローチを目指して」 Total Care から Microbiota まで 成育医療研究センターにおける小児潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブの長期成績.	第 14 回日本消化管学会総 会学会集會	東京	2018 年 2 月 9 日
時田万英, 清水泰岳, 竹内一朗, 清水俊明, 新井勝大.	小児期発症潰瘍性大腸炎に対するゴリムマブの使用経験.	第 18 回日本小児 I B D 研 究会	東京	2018 年 2 月 4 日
竹内一朗, 清水泰岳, 時田万英, 新井勝大.	小児期発症クローン病患者に対するウステキスマブの使用経験.	第 18 回日本小児 I B D 研 究会	東京	2018 年 2 月 4 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
齋藤武, 井上幹大, 国崎玲子, 南部隆亮, 村越孝次, 角田文彦, 石毛崇, 田尻仁, 水落建輝, 加藤沢子, 吉年俊文, 岩田直美, 吉田英生, 内田恵一, 清水泰岳, 平野友梨, 新井勝大.	日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究報告 2018 手術症例の検討.	第 18 回日本小児 I B D 研究会	東京	2018 年 2 月 4 日
新井勝大, 清水俊明, 工藤孝広, 清水泰岳, 細井賢二, 大塚宜一, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫.	本邦における超早期発症型炎症性腸疾患 (V E O - I B D) の実態解明と診断基準の作成.	厚生労働科学研究費 難治性腸疾患等政策研究事業「難治性炎症性腸疾患障害に関する調査研究」平成 29 年度第 2 回総会	東京	2018 年 1 月 18 日
新井勝大.	炎症性腸疾患治療における栄養管理の重要性を見つめ直す!小児クローン病診療における栄養療法の位置づけと問題点.	第 21 回日本病態栄養学会 年次学術集会	京都	2018 年 1 月 14 日
清水泰岳, 時田万英, 竹内一朗, 新井勝大.	肛門病変を伴う難治性超早期発症炎症性腸疾患の 1 女児例.	第 2 回 Pediatric IBD Case Conference	東京	2017 年 12 月 16 日
竹内一朗, 右田王介, 河合利尚, 清水泰岳, 時田万英, 田村英一郎, 小野寺雅史, 秦健一郎, 新井勝大.	小児期発症難治性クローン病として加療中に、全エクソーム解析で X I A P 欠損症の診断に至った 3 例.	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017 年 12 月 1 日
細井賢二, 工藤孝広, 新井勝大, 清水泰岳, 大塚宜一, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫, 清水俊明.	本邦における超早期発症型炎症性腸疾患の疫学的全国調査.	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017 年 12 月 1 日
新井勝大.	早期発症型炎症性腸疾患 (Early Onset IBD; EOIBD) の診断と治療 超早期発症型炎症性腸疾患に対する生物学的製剤治療.	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 22 日
清水泰岳, 竹内一朗, 丘逸宏, 新井勝大.	成育医療研究センターにおける小児潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブの長期成績.	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 22 日
福嶋健志, 倉信奈緒美, 宮原直樹, 村上潤, 田中正則, 竹内一朗, 新井勝大, 神崎晋.	診断に苦慮し、インフリキシマブが有効であった超早期発症型炎症性腸疾患の 2 歳児例.	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 21 日
竹内一朗, 丘逸宏, 清水泰岳, 河合利尚, 小野寺雅史, 小椋雅夫, 右田王介, 秦健一郎, 新井勝大.	高安病を合併した小児期発症クローン病として加療中に、全エクソーム解析で XIAP 欠損症の診断に至った 1 男児例.	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 21 日
船山理恵, 竹内一朗, 東海林宏道, 南部隆亮, 神保圭佑, 原朋子, 工藤孝広, 丘逸宏, 清水泰岳, 野村伊知郎, 山岡和枝, 清水俊明, 新井勝大.	成分栄養剤を用いた栄養管理の適正化を目指した多施設共同研究 - 乳幼児の脂溶性ビタミン欠乏の予備調査 - .	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 21 日
竹内一朗, 清水泰岳, 時田万英, 河合利尚, 田村英一郎, 小野寺雅史, 右田王介, 秦健一郎, 新井勝大.	難治性炎症性腸疾患の表現型を呈した X I A P 欠損症 2 例.	第 8 回関東甲越免疫不全症研究会	東京	2017 年 9 月 23 日
新井勝大, 清水俊明, 工藤孝広, 清水泰岳, 細井賢二, 大塚宜一, 内田恵一, 田尻仁, 鈴木康夫.	本邦における超早期発症型炎症性腸疾患 (V E O - I B D) の実態解明と診断基準の作成.	厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成 29 年度第 1 回総会	東京	2017 年 7 月 19 日
丘逸宏, 清水泰岳, 船山理恵, 竹内一朗, 清水俊明, 新井勝大.	小児病院における小腸カプセル内視鏡検査の後方視的調査研究 1 施設 188 件の検討.	第 44 回小児内視鏡研究会	東京	2017 年 7 月 9 日
竹内一朗, 清水泰岳, 丘逸宏, 新井勝大.	インフリキシマブ導入後もステロイド依存性の難治性超早期発症型炎症性腸疾患の男児.	仙台 IBD 研究会	仙台	2017 年 5 月 20 日
Amano T, Shinzaki S, Iijima H, et al.	Strategy of selecting anti-TNF agent in patients with Crohn's Disease: A multi-center retrospective cohort study by the Osaka Gut Forum	ECCO	Vienna, Austria	2020 年 2 月 14 日
Iijima H, Mizuno S, Shinzaki S, et al.	SEFULNESS OF LEUCINE-RICH ALPHA-2-GLYCOPROTEIN (LRG) TO MONITOR THE EFFICACY OF ADALIMUMAB TREATMENT IN PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS (PLANET STUDY).	UEGW	Barcelona, Spain	2019 年 10 月 21 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Shinzaki S, Matsuoka K, Iijima H, et al.	USEFULNESS OF SERUM LEUCINE-RICH ALPHA-2-GLYCOPROTEIN (LRG) FOR MONITORING THE EFFICACY OF ADALIMUMAB TREATMENT IN PATIENTS WITH CROHN'S DISEASE (PLANET STUDY)	UEGW	Barcelona, Spain	2019年10月21日
Iwatani S, Iijima H, Amano T, et al.	TARGETED LIPIDOMIC ANALYSIS OF THE PLASMA OF INFLAMMATORY BOWEL DISEASE PATIENTS.	Digestive Disease Week	San Diego, USA	2019年5月10日
Tani M, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, et al.	SEASONAL VARIATION OF FECAL MICROBIOTA IN IBD PATIENTS.	Digestive Disease Week	San Diego, USA	2019年5月10日
Yoshihara T, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, et al.	CONCENTRATION OF INFLIXIMAB IN THE NON-INFLAMED MUCOSA AS A PREDICTOR FOR SECONDARY LOSS OF RESPONSE TO INFLIXIMAB FOR CROHN'S DISEASE PATIENTS: A 4-YEAR PROSPECTIVE STUDY.	Digestive Disease Week	San Diego, USA	2019年5月10日
Amano T, Shinzaki S, Iijima H, et al.	MODIFIED GLASGOW PROGNOSTIC SCORE IS USEFUL FOR PREDICTING LONG-TERM CONTINUATION OF ANTI-TNF THERAPY IN PATIENTS WITH CROHN'S DISEASE.	Digestive Disease Week	San Diego, USA	2019年5月9日
Araki M, Iijima H, Yoshihara T, et al.	Depressive psychological status is associated with disease exacerbation in remissive Crohn's disease patients: a prospective observational study.	Digestive Disease Week	San Diego, USA	2019年5月9日
Otake Y, Shinzaki S, Iijima H, et al.	LYSOPHOSPHATIDYL SERINE DETERIORATES MURINE TNBS-INDUCED COLITIS	Digestive Disease Week	San Diego, USA	2019年5月9日
谷瑞季, 新崎信一郎, 田代拓, 飯島英樹, 他.	炎症性腸疾患患者の腸内細菌叢でみられる季節性変化	第10回炎症性腸疾患学会	福岡	2019年11月29日
飯島英樹, 金井隆典, 松本主之	潰瘍性大腸炎のアダリムマブ治療における Leucine-rich alpha-2-glycoprotein (LRG)の有用性 (PLANET study)	JDDW 2019	神戸	2019年11月21日
谷瑞季, 新崎信一郎, 天野孝広, 飯島英樹, 他.	IBD患者の便検体における季節性変化と増悪との関連	第56回日本消化器免疫学会総会	京都	2019年8月1日
岩谷修子, 新崎信一郎, 飯島英樹, 他.	炎症性腸疾患における Galectin-1 の糖鎖を介した抗炎症作用の解明	第56回日本消化器免疫学会総会	京都	2019年8月1日
Iwatani S, Shinzaki S, Iijima H, et al.	OLIGOSACCHARIDE-DEPENDENT ANTI-INFLAMMATORY ROLE OF GALECTIN-1 IN INFLAMMATORY BOWEL DISEASE.	Digestive Disease Week	Washington D.C., USA	2018年6月5日
Yamaguchi T, Iijima H, Tani M, et al.	DEFICIENCY OF CCR7 IS RESPONSIBLE FOR THE DETERIORATION OF NON-STEROIDAL ANTI-INFLAMMATORY DRUG-INDUCED ENTEROPATHY IN MICE.	Digestive Disease Week	Washington D.C., USA	2018年6月2日
谷瑞季, 新崎信一郎, 飯島英樹, 竹原徹郎.	Leucin-rich alpha-2 glycoprotein (LRG)の潰瘍性大腸炎粘膜治癒マーカーとしての有用性.	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019年2月23日
岩谷修子, 飯島英樹, 天野孝広, 他.	IBD患者の Lipidomics 解析	第55回日本消化器免疫学会総会	福岡	2018年12月8日
岩谷修子, 新崎信一郎, 飯島英樹, 他.	炎症性腸疾患における Galectin-1 の糖鎖を介した抗炎症作用の解明	JDDW2018 (消化器病学会)	神戸	2018年11月1日
飯島英樹	潰瘍性大腸炎に対する青黛の臨床的効果と腸炎改善メカニズム	第3回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会	大阪	2018年6月23日
Kawai S, Iijima H, Shinzaki S, et al.	Indigo naturalis ameliorates murine dextran sodium sulfate induced-colitis through the activation of aryl hydrocarbon receptor independently of IL-10.	Digestive Disease Week	Chicago, USA	2017年5月7日
Yamaguchi T, Iijima H, Hiyama S, et al.	Deficiency of CCR7 deteriorates non-steroidal anti-inflammatory drug-induced enteropathy in mice.	Digestive Disease Week	Chicago, USA	2017年5月7日
良原丈夫, 新崎信一郎, 飯島英樹, 他.	クローン病における生物学的製剤の血中濃度、組織濃度と治療効果	日本消化器病学会第108回近畿支部例会	京都	2018年3月17日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
岩谷修子, 新崎信一郎, 飯島英樹, 竹原徹郎.	炎症性腸疾患における Galectin-1 を介した抗炎症作用の解明	第 54 回日本消化器免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 28 日
日山智史, 飯島英樹, 竹原徹郎.	バイエル板 NBI 拡大観察による潰瘍性大腸炎の臨床的再燃予測	第 93 回 日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017 年 5 月 12 日
衛藤 武, 飯塚政弘, 相良志穂, 宮澤秀彰	当科クローン病患者におけるインフリキシマブ投与間隔短縮治療の治療成績	第 16 回日本消化管学会総会	ホテル日航姫路	2020 年 2 月 7 日
飯塚 政弘, 衛藤 武, 相良 志穂	潰瘍性大腸炎難治例における血球成分除去療法の長期治療成績と再有効性に関する検討.	第 27 回日本消化器関連学会週間	神戸国際会議場	2019 年 11 月 22 日
相良 志穂, 保坂 薫子, 佐藤 真喜子, 飯塚 政弘	パネルディスカッション 当センターのヘリコバクター・ピロリ検査、除菌勧奨の実態と新たな試み	第 57 回日本消化器がん検診学会東北地方会	秋田にぎわい交流館 AU	2019 年 7 月 6 日
Toshihide Ohmori, Yoh Ishiguro, Ken Umemura, Masahiro Iizuka.	Safety and effectiveness of granulocyte and monocyte adsorptive apheresis for 90 patients with corticosteroids naïve ulcerative colitis patients: a multicenter cohort study.	United European Gastroenterology Week (UEGW)2018	Austria Center Vienna	2018 年 10 月 22 日
Yoh ISHIGURO, Toshihide Ohmori, Ken Umemura, Masahiro Iizuka.	Safety and effectiveness of granulocyte and monocyte adsorptive apheresis for 90 patients with corticosteroids naïve ulcerative colitis patients. A multicenter cohort study.	ASIAN ORGANIZATION FOR CROHN'S & COLITIS (AOCC) 2018	Shanghai Marriott Hotel Parkview	2018 年 6 月 22 日
飯塚 政弘, 衛藤 武, 吉川健二郎, 相良志穂, 石井 透, 八木澤 仁	潰瘍性大腸炎ステロイド依存例に対する Long-Interval CAP の長期治療成績についての検討.	第 26 回日本消化器関連学会週間	神戸国際会議場	2018 年 11 月 1 日
保坂 薫子, 佐藤 真喜子, 佐々木 留美子, 一関 智子, 川井 美代子, 高橋 典子, 宮崎 昌子, 三森 加奈子, 相良 志穂, 飯塚 政弘	40 以上の受診者におけるピロリ菌と胃がん・胃がん検診に関する意識調査.	第 59 回日本人間ドック学会学術大会	朱鷺メッセ (新潟)	2018 年 8 月 31 日
飯塚 政弘	特別講演 炎症性腸疾患における血球成分除去療法の実際	第 28 回東北アフェレンス研究会	江陽グランドホテル鳳凰の間 (仙台)	2018 年 3 月 3 日
飯塚 政弘, 衛藤 武, 吉川健二郎, 相良志穂, 石井 透, 八木澤 仁.	潰瘍性大腸炎ステロイド依存例に対する Long-Interval CAP の長期治療成績に関する検討.	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会.	東京 (TKP ガーデンシティ品川)	2017 年 12 月 1 日
Y. Ishiguro, T. Ohmori, K. Umemura, M. Iizuka.	Safety and effectiveness of granulocyte and monocyte adsorptive apheresis for 90 patients with corticosteroids naïve ulcerative colitis : A multicentre cohort study.	AOCC	上海	2018 年 6 月 23 日
Tanaka A, Kanmura S, Yutsudo K, Komaki Y, Iwaya H, Tanoue S, Arima S, Sasaki F, Hashimoto S, Ido A.	The very interesting small bowel lesions of Cronkhite-Canada syndrome.	Advances In Inflammatory Bowel Diseases (AIBD2019)	Florida, USA	2019 年 12 月 12 日
田中啓仁, 上村修司, 湯通堂和樹, 小牧祐雅, 佐々木文郷, 井戸章雄.	カプセル内視鏡で特徴的な小腸所見を確認した Cronkhite-Canada 症候群の一例.	第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019 年 11 月 29 日
湯通堂和樹, 小牧祐雅, 小牧路子, 田中啓仁, 佐々木文郷, 平野敦士, 梅野淳嗣, 上村修司, 井戸章雄.	アザチオプリン投与による急性膵炎が疑われた潰瘍性大腸炎の 2 例	第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019 年 11 月 29 日
小牧祐雅, 上村修司, 小牧路子, 田中啓仁, 西俣伸亮, 鮫島洋一, 佐々木文郷, 那須雄一郎, 大井秀久, 中村勇一, 徳重浩一, 鮫島由規則, 井戸章雄.	難治性潰瘍性大腸炎に対するゼルヤンツの有効性の検討	第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 / 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	宮崎	2019 年 11 月 8, 9 日
小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 鮫島洋一, 徳元 攻, 上村 修司, 井戸章雄.	アザチオプリン投与による急性膵炎が疑われた潰瘍性大腸炎の 2 例	第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 / 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	宮崎	2019 年 11 月 8, 9 日
田中啓仁, 上村修司, 湯通堂和樹, 小牧祐雅, 井戸章雄.	当院で経験した Cronkhite-Canada 症候群 3 例の小腸病変の検討.	第 57 回日本小腸学会学術集会	大阪	2019 年 11 月 9 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Tanaka A, Kanmura S, Komaki Y, Sasaki F, Nasu Y, Sameshima Y, Nakamura Y, Tokushige K, Ohi H, Sameshima Y, <u>Ido A.</u>	Infliximab treatment intensification based on endoscopic activity contributes to clinical response in patients with Crohn's disease.	CROHN'S & COLITIS CONGRESS	Las Vegas, USA	2019年2月7-9日
Tanaka A, Kanmura S, Hamamoto H, Kabayama M, Nakamura Y, Maeda H, Hinokuchi M, Arima S, Sasaki F, Nasu Y, Tanoue S, Hashimoto S, <u>Ido A.</u>	The diagnostic utility of linked-color imaging for the evaluation of colonic mucosal inflammation in ulcerative colitis.	ASIAN ORGANIZATION FOR CROHN'S & COLITIS(AOCC2018)	SHANGHAI, CHINA	2018年6月21-23日
Kanmura S, Tanaka A, Hamamoto H, Arima S, Sasaki F, Nasu Y, Tanoue S, Hashimoto S, <u>Ido A.</u>	Optimizing surveillance colonoscopy for colitic cancer in ulcerative colitis: A focus on interfacility differences.	Digestive Disease Week 2018 (DDW2018)	Washington, DC	2018年6月2-5日
Hamamoto H, Kanmura S, Arima S, Tanoue S, Nasu Y, Sasaki F, Hashimoto S, <u>Ido A.</u>	The diagnostic utility of linked-color imaging in the evaluation of mucosal inflammation in patients with ulcerative colitis.	United European Gastroenterology Week 2017 (UEGW2017)	Barcelona, Spain	2017年10月28日
上村修司, 濱元ひとみ, 田中啓仁, 小野陽平, 鮫島洋一, 藤田俊浩, 小園雅哉, 小牧祐雅, 佐々木文郷, 山路尚久, 藤田 浩, 寄山敏男, 徳重浩一, 鮫島由紀則, 大井秀久, 井戸章雄.	当院ならびに関連施設における潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡の現状と問題点.	第110回日本消化器病学会九州支部例会 / 第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	東京	2017年11月17,18日
濱元ひとみ, 上村修司, 井戸章雄.	潰瘍性大腸炎の活動性評価における内視鏡画像強調システム Linked Color Imaging (LCI) の有用性についての検討.	第94回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW2017)	福岡	2017年10月12-15日
濱元ひとみ, 上村修司, 有馬志穂, 田ノ上史郎, 那須雄一郎, 佐々木文郷, 橋元慎一, 井戸章雄.	潰瘍性大腸炎の内視鏡的活動性評価における内視鏡画像強調システム Linked Color Imaging(LCI)の有用性	第93回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017年5月11-13日
田中啓仁, 上村修司, 井戸章雄	乳酸菌 Lactobacillus plantarum 06CC2 株のプロバイオティクス効果の検討	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20-22日
Umeno J, Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Esaki M, Yanai S, Ohmiya N, Hisamatsu T, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hirai F, Hisabe T, Matsui T, Yao T, Kitazono T, <u>Matsumoto T</u> , CEAS Study Group	A nationwide survey of chronic enteropathy associated with SLC22A1 gene in Japan	The 15th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020, 2
Okamoto D, Kakuta Y, Takeo N, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Hisashi S, Fuyuno Y, Umeno J, Hirano A, Torisu T, Nakamura M, <u>Esaki M</u> , <u>Matsumoto T</u> , Kinouchi Y, Masamune A	Genetic analysis of ulcerative colitis in Japanese individuals using population-specific SNP array	The 15th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020, 2
Matsuno Y, Hirano A, Torisu T, Fuyuno Y, Okamoto Y, Shin F, Tomohiko M, <u>Umeno J</u> , Hirakawa Y, <u>Esaki M</u> , Kitazono T	The clinical efficacy and safety of indigo naturalis in induction & maintenance therapy for moderate-to-severe ulcerative colitis: A single-centre prospective uncontrolled open-label study	The 15th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020, 2
Hirano A, <u>Umeno J</u> , Torisu T	Characteristics of mucosal microbial composition of patients with inflammatory bowel disease susceptibility HLA genotype	The 15th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020, 2
Matsuno Y, Torisu T, Fuyuno Y, Okamoto Y, Fujioka S, Hirano A, <u>Umeno J</u> , Moriyama T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	Long-term outcome of watch and wait strategy for gastric antibiotic-resistant mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	27th United European Gastroenterology Week	Barcelona, Spain	2019, 10
Okamoto Y, <u>Esaki M</u> , Morishita T, Hara Y, Hirano A, <u>Umeno J</u> , Maehata Y, Kobayashi H, Ishikawa H, Torisu T, <u>Matsumoto T</u> , and Kitazono T	Preventive effect of lactobacillus salivarius wb21 on small bowel injuries in subjects who take both nsaid and ppi: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial	27th United European Gastroenterology Week	Barcelona, Spain	2019, 10
Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Shin Fujioka, <u>Umeno J</u> , Moriyama T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	Prediction of loss of response to anti-TNF antibody therapy using SES-CD in Crohn's disease patients <poster>	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Taipei Taiwan	2019, 6

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Hirano A, Shibata H, Kakuta Y, Nagasaki M, Tokunaga K, Khor S, Kawai Y, Umeno J, Torisu T, Kitazono T, Esaki M	The association study between HLA genotype and mucosal microbial composition in patients with inflammatory bowel disease.	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Taipei Taiwan	2019, 6
Matsuno Y, Hirano A, Okamoto Y, Fuyuno Y, Fujioka S, Umeno J, Moriyama T, Torisu T, Kitazono T, Esaki M	Short- and long-term outcome of patients treated with Indigo naturalis for inflammatory bowel disease: a single center retrospective study.	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Taipei Taiwan	2019, 6
佐藤大晃, 田中貴英, 藤岡審, 岡本康治, 冬野雄太, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 森山智彦, 川床慎一郎, 保利喜史, 孝橋賢一, 北園孝成	巨大腹部デスマイド腫瘍により尿管を生じた家族性大腸腺腫症の一例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019, 11
吉村悠花, 仁田畑智紀, 藤岡審, 梅野淳嗣, 平野敦士, 冬野雄太, 鳥巢剛弘, 北園孝成	IFXによる加療中に多関節炎を合併し paradoxical arthritis が疑われた潰瘍性大腸炎の一例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019, 11
森下寿文, 藤岡審, 森山智彦, 冬野雄太, 岡本康治, 梅野淳嗣, 平野敦士, 鳥巢剛弘, 北園孝成	当科における食道内視鏡的粘膜下層剥離術施行(ESD)後狭窄の臨床的検討	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019, 11
井原勇太郎, 梅野淳嗣, 保利喜史, 藤原美奈子, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 北園孝成	IV型胃神経内分分泌腫瘍患者におけるATP4A遺伝子変異の同定	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019, 11
田中貴英, 梅野淳嗣, 東晃一, 岡本康治, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 鳥巢剛弘, 森山智彦, 川床慎一郎, 保利喜史, 大石善文, 江崎幹宏, 北園孝成	Tenofovir disoproxil 投与により胃潰瘍を発症したと考えられたB型慢性肝炎の1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019, 11
井原勇太郎, 藤岡審, 鳥巢剛弘, 梅野淳嗣, 平野敦士, 岡本康治, 冬野雄太, 森山智彦, 江崎幹宏, 北園孝成	炎症性腸疾患診療の現状と展望 自験クローン病患者におけるウスエキヌマブの短期および長期治療効果	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019, 11
横手章人, 冬野雄太, 増原裕之, 平野敦士, 梅野淳嗣, 藤岡審, 保利喜史, 藤原美奈子, 山本英崇, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 北園孝成	潰瘍性大腸炎に合併した直腸リンパ増殖性疾患の1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
増原裕之, 岡本康治, 永吉絹子, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 森山智彦, 山本充了, 保利善史, 藤原美奈子, 鳥巢剛弘, 北園孝成	全周性の腸狭窄を来した diverticular colitis の一例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
吉原崇正, 岡本康治, 長末智寛, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 貞効良彦, 永井俊太郎, 保利喜史, 藤原美奈子, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 北園孝成	空腸原発平滑筋肉腫の1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
野田真也佳, 吉原崇正, 河野真一, 藤岡審, 永吉絹子, 永井俊太郎, 中村雅史, 保利喜史, 藤原美奈子, 天野良祐, 冬野雄太, 平野敦士, 梅野淳嗣, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 北園孝成	腸閉塞症状を契機に発見された空腸神経内分分泌腫瘍の1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
野坂佳愛, 岡本康治, 増原裕之, 田中貴英, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 北園孝成	健常な高齢女性に発症したサイトメガロウイルス腸炎の一例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
田中貴英, 平野敦士, 蓑田洋介, 岡本康治, 冬野雄太, 藤岡審, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 森山智彦, 保利喜史, 藤原美奈子, 北園孝成	胃GISTと鑑別を要した胃迷入腺の1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
原田英, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘	消化管出血に対するベストプラクティス 出血源不明Overt-UGIB患者における再出血リスク因子の検討	第114回日本消化器病学会九州支部例会	福岡	2019, 5
長末智寛, 平野敦士, 河野真一, 藤岡審, 梅野淳嗣, 保利善史, 藤原美奈子, 鳥巢剛弘, 森山智彦	胃底腺ポリーポスを背景に発生した胃癌の臨床病理学的特徴	第97回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019, 5
Nagata Y, Esaki M, Fuyuno Y, Okamoto Y, Fujioka S, Hirano A, Umeno J, Torisu T, Moriyama T, Nakamura S, Kitazono T	Postoperative immunosuppressive therapies decrease the risk of second intestinal surgery in patients with Crohn's disease: a retrospective cohort study	The 14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Copenhagen, Denmark	2019, 3
Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Fujioka S, Umeno J, Moriyama T, Kitazono T, Esaki M	Prediction of loss of response to anti-TNF therapy using SES-CD in patients with Crohn's disease	The 14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Copenhagen, Denmark	2019, 3

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Matsuno Y, Hirano A, Okamoto Y, Fuyuno Y, Fujioka S, Umeno J, Moriyama T, Torisu T, Kitazono T, Esaki M	Short- and long-term outcome of patients treated with Indigo naturalis for inflammatory bowel disease: a single center retrospective study.	Crohn's & Colitis Congress 2019	Las Vegas, USA	2019, 2
Hirano A, Shibata H, Kakuta Y, Nagasaki M, Tokunaga K, Khor S, Kawai Y, Umeno J, Torisu T, Kitazono T, Esaki M	The association study between hla genotype and mucosal microbial composition in patients with inflammatory bowel diseases	Crohn's & Colitis Congress 2019	Las Vegas, USA	2019, 2
Matsuno Y, Umeno J, Esaki M, Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Yasukawa S, Hirai F, Watanabe K, Hosoe N, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Kitazono T, and Matsumoto T	Usefulness of Prostaglandin E-major urinary metabolite measurement for the differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS) and Crohn's disease.	Asian Pacific Association of Gastroenterology	Cebu, Philippine	2018, 9
長末智寛, 藤岡審, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 池田祥紀, 藤田恒平, 増原裕之, 江崎幹宏, 北園孝成	インフリキシマブ導入により保存的に改善が得られた下行結腸穿孔を合併した潰瘍性大腸炎の一例	第15回日本消化管学会総会	佐賀	2019, 2
井原勇太郎, 鳥巢剛弘, 梅野淳嗣, 平野敦士, 岡本康治, 冬野雄太, 原田英, 藤岡審, 森山智彦, 江崎幹宏, 北園孝成	炎症性腸疾患に対する新規治療薬の位置付け 当院クローン病患者におけるウステクスマブの臨床的效果	第15回日本消化管学会総会	佐賀	2019, 2
横手章人, 原田英, 井原勇太郎, 吉原崇正, 冬野雄太, 貫陽一郎, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 保利喜史, 山本英崇, 藤田逸人, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 北園孝成	原因不明の消化管出血を契機に発見された小腸消化管間質腫瘍の1例	第106回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	鹿児島	2018, 11
児浦末季史, 吉原崇正, 田中貴英, 岡本康治, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 保利喜史, 藤原美奈子, 北園孝成	ダブルバルーン小腸内視鏡で止血しえた高齢者 Meckel 憩室出血の1例	第106回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	鹿児島	2018, 11
吉原崇正, 河野真一, 横手章人, 長末智寛, 冬野雄太, 岡本康治, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 保利善史, 藤原美奈子, 鳥巢剛弘, 北園孝成	ポリグリコール酸シートとフィブリン糊を併用した被覆法が有効であったESD 後出血性胃潰瘍の1例	第106回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	鹿児島	2018, 11
田中貴英, 藤岡審, 河野真一, 冬野雄太, 岡本康治, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 森山智彦, 永井俊太郎, 保利喜史, 藤原美奈子, 江崎幹宏, 北園孝成	炎症性腸疾患のトータルマネージメント<ワークショップ>当科における悪性腫瘍合併 IBD 症例の検討	第112回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島	2018, 11
増原裕之, 岡本康治, 川井康弘, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 北園孝成	Mg 製剤による大腸内視鏡検査前処置が誘因となり高 Mg 血症を来した S 状結腸吻合部狭窄の1例	第112回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島	2018, 11
野田真也佳, 冬野雄太, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 森山智彦, 貞苺良彦, 保利喜史, 藤原美奈子, 甲斐貴大, 鳥巢剛弘, 北園孝成	腹壁膿瘍加療中にメトロニダゾール脳症を発症した瘻孔部瘻を伴った小腸大腸型クローン病の1例	第112回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島	2018, 11
梅野淳嗣, 冬野雄太, 松野雄一, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 梁井俊一, 大宮直木, 久松理一, 渡辺憲治, 細江直樹, 緒方晴彦, 平井郁仁, 松井敏幸, 八尾恒良, 北園孝成, 松本主之, CEAS study group.	非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について - 全国調査報告 -	第9回日本炎症性腸疾患学会	京都	2018, 11
松野雄一, 梅野淳嗣, 平川洋一郎, 冬野雄太, 岡本康治, 安川重義, 平井郁仁, 渡辺憲治, 細江直樹, 河内修司, 藏原晃一, 八尾恒良, 鳥巢剛弘, 北園孝成, 松本主之, 江崎幹宏	CEAS と Crohn 病の鑑別における尿中プロスタグランジン E 主要代謝産物濃度測定の有用性に関する検討	第9回日本炎症性腸疾患学会	京都	2018, 11
梁井俊一, 中村昌太郎, 川崎啓祐, 永塚真, 上杉憲幸, 梅野淳嗣, 菅井有, 松本主之	非特異性多発性小腸潰瘍症とクローン病の上部消化管粘膜における SLC02A1 蛋白発現	第56回日本小腸学会学術集会	東京	2018, 10
甲斐貴大, 岡本康治, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 北園孝成	肥厚性皮膚骨膜炎の3主徴を伴った非特異性多発性小腸潰瘍症の1例	第111回日本消化器病学会九州支部例会	北九州	2018, 6
今津愛介, 河野真一, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 北園孝成	多彩な消化管病変を形成した ATL/L の一例	第105回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	北九州	2018, 6
永田豊, 梅野淳嗣, 貫陽一郎, 保利喜史, 藤原美奈子, 江崎幹宏	胃 myeloid sarcoma の一例	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018, 5

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Esaki M, Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Kitazono T, Matsumoto T, Suzuki Y	Inter- and intra-observer variation of capsule endoscopic findings for the diagnosis of Crohn's disease: A case control study	The 14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2018, 3
Hirano A, Umeno J, Shibata H, Kitazono T, Esaki M	A comparison study of the mucosa-associated microbiota between inflamed and non-inflamed sites in ulcerative colitis patients	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017, 6
Nagata Y, Esaki M, Hirano A, Umeno J, Maehata Y, Torisu T, Moriyama T, Matsumoto T, Kitazono T	The preventive effect of anti-tumor necrosis factor therapy against initial intestinal surgery in patients with Crohn's disease	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017, 6
Esaki M, Nagata Y, Okamoto Y, Umeno J, Hirano A, Maehata Y, Torisu T, Moriyama T, Kitazono T	Long-term prophylactic effect of anti-TNF therapy against postoperative recurrence in Crohn's disease: 12 years single center experience. <poster>	The 5th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul, Korea	2017, 6
Nuki Y, Umeno J, Washio E, Maehata Y, Hirano A, Kobayashi H, Kitazono T, Matsumoto T, Esaki M	Influence of cytochrome P450 2C19 polymorphisms on exacerbating effect of proton pump inhibitor in nonsteroidal anti-inflammatory drugs-induced small bowel injury.	Digestive Disease Week 2017	Chicago, USA	2017, 5
Moriyama T, Esaki Y, Morishita T, Maehata Y, Torisu T, Umeno J, Hirano A, Okamoto Y, Kitazono T	Learning curve analysis for colorectal endoscopic submucosal dissection	Digestive Disease Week 2017	Chicago, USA	2017, 5
平野敦士, 梅野淳嗣, 江崎幹宏	トランスポーターの機能から紐解く生命現象と病態<シンポジウム> 小腸潰瘍症におけるプロスタグランジン輸送体の役割	日本薬学会第 138 年会	金沢,	2018, 3
田中貴英, 江崎幹宏, 平野敦士, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 梅野淳嗣, 岡本康治, 藤岡審, 冬野雄太, 原田英, 藤原美奈子, 北園孝成	薬剤性消化管障害の診断・治療の課題<ワークショップ> 免疫チェックポイント阻害剤関連腸炎 4 例の臨床病理学的特徴に関する検討	第 14 回日本消化管学会総会	東京	2018, 2
永田豊, 江崎幹宏, 冬野雄太, 岡本康治, 藤岡審, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 森山智彦, 北園孝成.	クローン病の薬物療法・手術療法のすべて<ワークショップ> クローン病患者の腸管再手術に対する術後内科治療の影響	第 14 回日本消化管学会総会学術集会	東京	2018, 2
平野敦士, 梅野淳嗣, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 柴田弘紀, 江崎 幹宏	潰瘍性大腸炎における炎症部と非炎症部での腸内細菌叢の比較検討	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017, 12
田中貴英, 江崎幹宏, 平野敦士, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 梅野淳嗣, 岡本康治, 藤岡審, 冬野雄太, 原田英, 土橋賢司, 藤原美奈子, 保利喜史, 北園孝成	胃癌に対し Pembrolizumab 投与中に広範な腸炎を認めた 1 例	第 104 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	沖縄	2017, 11
和智博信, 原田英, 梅野淳嗣, 伊崎智子, 川久保尚徳, 濱田洋, 江崎幹宏, 北園孝成	多発する消化管血管腫に対し内視鏡的クリッピング術が有効であった blue rubber bleb nevus syndrome の 1 例	第 104 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	沖縄	2017, 11
永田豊, 池上幸治, 梅野淳嗣, 保利喜史, 山元崇英, 江崎幹宏, 北園孝成	内視鏡検査を契機に診断されたマンデル細胞リンパ腫の一例	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017, 11
甲斐貴大, 坂本圭, 平野敦士, 古川大祐, 藤岡審, 梅野淳嗣, 鳥巢剛, 森山智彦, 江崎幹宏, 北園孝成	内科的治療が奏功し全大腸切除術を回避しえた急性心筋梗塞を合併した重症潰瘍性大腸炎の 1 例	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017, 11
井原勇太郎, 江崎幹宏, 森山智彦, 鳥巢剛弘, 梅野淳嗣, 平野敦士, 岡本康治, 鷲尾恵万, 北園孝成	小腸 Gastrointestinal stromal tumor のバルーン内視鏡所見に関する検討	第 55 回日本小腸学会	京都	2017, 10
加藤嘉一, 山遠剛, 林田良啓, 柳忠宏, 水落建輝, 梅野淳嗣	遺伝子解析により非特異性多発性小腸潰瘍症と診断した 12 歳女児	第 166 回日本小児科学会鹿児島地方会	鹿児島	2017, 10
永井博, 木村智哉, 松本信, 下山雄丞, 千葉宏文, 山本勝利, 横山直信, 小野寺基之, 日下順, 内藤健夫, 川上瑠子, 平本圭一郎, 黒羽正剛, 金澤義丈, 角田洋一, 遠藤克哉, 梅野淳嗣, 江崎幹宏, 木内喜孝, 下瀬川徹	肥厚性皮膚骨膜炎を合併した非特異性多発性小腸潰瘍(CEAS)の一例	第 93 回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017, 5

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Esaki M, Takamori A, Umeno J, Hirano A, Fuyuno Y, Torisu T, Taketomi H, Akutagawa T, Tsuruoka N, Sakata Y, Shimoda R, <u>Matsumoto T.</u>	Development of capsule endoscopy scoring system for the diagnosis of small bowel Crohn's disease	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Taipei, Taiwan	2019年6月14-16日
Hirano A, Shibata H, Kakuta Y, Nagasaki M, Tokunaga K, Khor SS, Kawai Y, Umeno J, Torisu T, Kitaono T, <u>Esaki M</u>	The association study between HLA genotype and mucosal microbial composition in patients with inflammatory bowel diseases	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Taipei, Taiwan	2019年6月14-16日
Matsuno Y, Hirano A, Okamoto Y, Fuyuno Y, Fujioka S, Umeno J, Moriyama T, Torisu T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	Short- and long-term outcome of patients treated with Indigo naturalis for inflammatory bowel disease: a single center retrospective study.	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Taipei, Taiwan	2019年6月14-16日
Zeze K, Hirano A, Torisu T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	DIFFERENCE IN CLINICAL EFFICACY AND SAFETY PROFILE IN CROHN'S DISEASE PATIENTS TREATED WITH INFLIXIMAB ACCORDING TO TIMING FOR ADDITION OF THIOPURINE	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Taipei, Taiwan	2019年6月14-16日
Fuyuno Y, Torisu T, Hirano A, Fujioka S, Umeno J, Moriyama T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	Prediction of loss of response to anti-TNF antibody therapy using SES-CD in Crohn's disease patients	The 7th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis,	Taipei, Taiwan	2019年6月14-16日
<u>江崎幹宏</u>	炎症性腸疾患の診断と治療の進歩	第327回日本内科学会九州地方会/第65回九州支部生涯教育講演会	佐賀	2019年11月17日
<u>江崎幹宏</u>	内視鏡の進歩は小腸疾患診断をどのように変えたか?	第75回九州消化器内視鏡技師研究会	久留米	2019年5月26日
井原 勇太郎, 藤岡 審, 鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 岡本 康治, 冬野 雄太, 森山 智彦, <u>江崎 幹宏</u> , 北園 孝成	炎症性腸疾患診療の現状と展望 自験クローン病患者におけるウステキヌマブの短期および長期治療効果	第114回日本消化器病学会九州支部例会	宮崎	2019年11月8-9日
Nagata Y, <u>Esaki M</u> , Fuyuno Y, Okamoto Y, Fujioka S, Hirano A, Umeno J, Torisu T, Moriyama T, Nakamura S, Kitazono T	Postoperative immunosuppressive therapies decrease the risk of second intestinal surgery in patients with Crohn's disease: A retrospective cohort study	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organization	Copenhagen, Denmark	2019年3月
Hirano A, Shibata H, Kakuta Y, Nagasaki M, Tokunaga K, Khor SS, Kawai Y, Umeno J, Torisu T, Kitaono T, <u>Esaki M</u>	The association study between HLA genotype and mucosal microbial composition in patients with inflammatory bowel diseases	Crohn's & Colitis Congress™ 2019,	Las Vegas, USA,	2019年2月
Matsuno Y, Hirano A, Okamoto Y, Fuyuno Y, Fujioka S, Umeno J, Moriyama T, Torisu T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	Short- and long-term outcome of patients treated with Indigo naturalis for inflammatory bowel disease: a single center retrospective study.	Crohn's & Colitis Congress™ 2019,	Las Vegas, USA,	2019年2月
Zeze K, Hirano A, Torisu T, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	DIFFERENCE IN CLINICAL EFFICACY AND SAFETY PROFILE IN CROHN'S DISEASE PATIENTS TREATED WITH INFLIXIMAB ACCORDING TO TIMING FOR ADDITION OF THIOPURINE	Crohn's & Colitis Congress™ 2019,	Las Vegas, USA,	2019年2月
梅野淳嗣、冬野雄太、松野雄一、鳥巢剛弘、 <u>江崎幹宏</u> 、梁井俊一、大宮直木、久松理一、渡辺憲治、細江直樹、緒方晴彦、平井郁仁、松井敏幸、八尾恒良、北園孝成、 <u>松本主之</u>	CEAS study group 非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について—全国調査報告	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
松野雄一、梅野淳嗣、鳥巢剛弘、平川洋一郎、冬野雄太、岡本康治、安川重義、平井郁仁、渡辺憲治、細江直樹、河内修司、蔵原晃一、八尾恒良、北園孝成、 <u>松本主之</u> 、 <u>江崎幹宏</u>	CEASとCrohn病の鑑別における尿中プロスタグランジンE主要代謝産物濃度測定の有用性に関する検討	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
冬野雄太、永田豊、 <u>江崎幹宏</u>	Crohn病におけるSES-CDを用いた抗TNF-抗体製剤の二次無効予測(シンポジウム)	第26回日本消化器関連学会週間(JDDW 2018)	神戸	2018年11月1-4日
<u>江崎幹宏</u> 、鷲尾恵万、森下寿文、坂本圭、 <u>松本主之</u> 、鈴木康夫	クローン病診断におけるカプセル内視鏡の有用性 検証結果報告	第95回日本消化器内視鏡学会総会(パネルディスカッション)	東京	2018年5月10-12日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Matsuno Y, Umeno J, Fuyuno Y, Okamoto Y, Yasukawa S, <u>Hirai F</u> , Watanabe K, Hosoe N, Kochi S, Kurahara K, Yao Y, Kitazono T, <u>Matsumoto T</u> , <u>Esaki M</u> .	Usefulness of Prostaglandin E-major urinary metabolite measurement for the differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS) and Crohn's disease.	2018 Crohn's & Colitis Congress	Las Vegas, USA	2018年1月18-20日
Hirano A, Umeno J, Kitazono T, <u>Esaki M</u>	A Comparison Study of the Mucosa-Associated Microbiota between Inflamed and Non-Inflamed Sites in Ulcerative Colitis Patients.	2018 Crohn's & Colitis Congress	Las Vegas, USA	2018年1月18-20日
永田豊、 <u>江崎幹宏</u> 、冬野雄大、岡本康治、藤岡審、平野敦士、梅野淳嗣、鳥巢剛弘、森山智彦、北園孝成	クローン病患者の腸管再手術に対する術後内科治療の影響	第14回日本消化管学会総会学術集会(ワークショップ)	東京	2018年2月9-10日
小林 由美恵 <u>大藤さとこ</u> <u>福島若葉</u>	食物中の鉄・亜鉛摂取量と潰瘍性大腸炎発症との関連	第105回消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
尾崎隼人、城代康貴、 <u>大宮直木</u>	糞便移植療法の有効性と腸内細菌叢および短鎖脂肪酸の変化	JDDW	神戸	2019年11月22日
城代康貴、尾崎隼人、 <u>大宮直木</u>	再発性 C.difficile 腸炎と炎症性腸疾患に対する糞便移植療法における腸内細菌叢、短鎖脂肪酸の解析	第57回日本小腸学会学術集会	大阪	2019年11月9日
尾崎隼人、城代康貴、 <u>大宮直木</u>	再発性 C.difficile 腸炎と炎症性腸疾患に対する糞便移植療法における腸内細菌叢の変化	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月9日
尾崎隼人、城代康貴、 <u>大宮直木</u>	再発性 C.difficile 腸炎と炎症性腸疾患に対する糞便移植療法の有効性と腸内細菌叢の変化	第61回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋	2018年11月24日
城代康貴、尾崎隼人、 <u>大宮直木</u>	当院におけるクローン病に対する糞便移植療法 (fecal microbiota transplantation: FMT) の有効性の検討	第56回日本小腸学会学術集会	東京	2018年10月27日
尾崎隼人、城代康貴、 <u>大宮直木</u>	糞便移植の有効性と腸内細菌叢変化との関連	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月20日
尾崎隼人、城代康貴、山田日向、寺田剛、河村知彦、内堀遥、吉田大、前田晃平、大森崇史、堀口徳之、生野浩和、小村成臣、大久保正明、鎌野俊彰、田原智満、長坂光夫、中川義仁、柴田知行、 <u>大宮直木</u>	ダブルバルーン小腸内視鏡を用いたクローン病に対する糞便移植の有効性	第22回小腸内視鏡研究会	東京	2018年2月24日
尾崎隼人、城代康貴、生野浩和、山田日向、吉田大、内堀遥、寺田剛、河村知彦、前田晃平、堀口徳之、大森崇史、小村成臣、大久保正明、鎌野俊彰、田原智満、 <u>長坂光夫</u> 、 <u>中川義仁</u> 、 <u>柴田知行</u> 、 <u>大宮直木</u>	炎症性腸疾患に対する糞便移植の有効性と腸内細菌叢の変化	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
城代康貴、生野浩和、 <u>大宮直木</u>	当院における潰瘍性大腸炎、クローン病、クロストリジウム・ディフィシル腸炎に対する糞便移植の有効性と課題	日本消化器病学会東海支部第126回例会	岐阜	2017年6月24日
<u>大宮直木</u> 、城代康貴、生野浩和	クロストリジウム・ディフィシル感染症、潰瘍性大腸炎、クローン病に対する糞便移植の有効性と腸内細菌叢の変化	第93回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	2017年5月12日
Shuji Hibiya, Kiichiro Tsuchiya, Ryu Nishimura, Sho Watanabe, Nobuhiro Katsukura, Tomoaki Shirasaki, <u>Ryuichi Okamoto</u> , <u>Mamoru Watanabe</u>	Establishment of chronic inflammation model using human small intestinal and colonic organoids	UEG Week 2019	Fira Gran Via, Barcelona, Spain	2019年10月23日
<u>Okamoto R</u> , <u>Watanabe M</u>	【Focus Session: Cutting Edge Regenerative Medicine Using Stem Cells】Intestinal Epithelial Stem Cell Organoids and IBD	ISSCR2019	Los Angeles (USA)	2019年6月26日
Shuji Hibiya, Kiichiro Tsuchiya, Ryu Nishimura, Tomoaki Shirasaki, Sho Watanabe, Nobuhiro Katsukura, Shigeru Oshima, <u>Ryuichi Okamoto</u> , Tetsuya Nakamura, <u>Mamoru Watanabe</u>	Long-term inflammation model using human colonic organoids	AOCC2019	Taipei (Taiwan)	2019年6月15日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Kawai M, Hama M, Nagata S, Kawamoto A, Suzuki K, Shimizu H, Anzai S, Takahashi J, Kuno R, Takeoka S, Hiraguri Y, Yui S, Okamoto R, Watanabe M	Functional analysis of isoflavones using patient-derived intestinal organoids	AOCC2019	Taipei (Taiwan)	2019年6月14日
岡本隆一、清水寛路、鈴木康平、高橋純一、川井麻央、平栗優衣、竹岡さや香、杉原ハディ優樹、永田紗矢香、竹中健人、齋藤詠子、福田将義、藤井俊光、長堀正和、油井史郎、土屋輝一郎、大塚和朗、渡辺守	【バイオマーカーと創薬に関するプロジェクト】培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する再生医療の開発	厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度 第2回総会	コングレスクエア日本橋(東京都中央区)	2020年1月24日
岡本隆一	【Keynote lecture】腸上皮オルガノイドを用いた再生医療の開発	ヒューマン・オルガノイド技術の最前線 2019	コングレスクエア日本橋(東京都中央区)	2019年11月25日
岡本隆一、清水寛路、渡辺守	【消化器疾患と再生医療】炎症性腸疾患に対する再生医療の開発	JDDW2019	ポートピアホテル南館(兵庫県神戸市)	2019年11月23日
川井麻央、河本亜美、永田紗矢香、安斎翔、高橋純一、久野玲子、平栗優衣、鈴木康平、清水寛路、油井史郎、岡本隆一、渡辺守	患者由来腸上皮オルガノイドを用いたイソフラボン類による腸上皮機能調節機構の解析	第56回日本消化器免疫学会総会	メルパルク京都(京都府京都市)	2019年8月2日
岡本隆一、清水寛路、鈴木康平、高橋純一、川井麻央、平栗優衣、竹岡さや香、杉原ハディ優樹、永田紗矢香、竹中健人、齋藤詠子、福田将義、藤井俊光、長堀正和、油井史郎、土屋輝一郎、大塚和朗、渡辺守	培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する再生医療の開発	厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」令和元年度 第1回総会	コングレスクエア日本橋(東京)	2019年7月26日
岡本隆一	炎症性腸疾患に対する再生医療の開発	第103回IBDミニカンファレンス	竹橋安田ビル(東京都千代田区)	2019年7月26日
岡本隆一	【シンポジウム13:組織再生とオルガノイド】腸上皮幹細胞オルガノイドによる粘膜再生医療	第40回日本炎症・再生医学学会	神戸国際会議場(兵庫県神戸市)	2019年7月17日
Ryuichi Okamoto, Mao Kawai, Minami Hama, Sayaka Nagata, Ami Kawamoto, Kohei Suzuki, Hiromichi Shimizu, Sho Anzai, Junichi Takahashi, Reiko Kuno, Sayaka Takeoka, Yui Hiraguri, Shiro Yui, Mamoru Watanabe	【The 6th JSGE International Topic Conference Lifestyle-related Diseases in Gastroenterology】Gastrointestinal tract (role of gut microbiome and diet): Food-borne factors in inflammatory bowel disease	第105回日本消化器病学会総会	ホテル日航金沢(石川県金沢市)	2019年5月10日
Kakuta Y, Kawai Y, Naito T, Onodera M, Moroi R, Kanazawa Y, Kuroha M, Shiga H, Kohr S, Tokunaga K, Nagasaki M, Kinouchi Y, Masamune A.	Genetic Background of Thiopurine-induced Pancreatitis in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Digestive Disease Week 2019	San Diego	2019年5月21日
角田洋一	遺伝的背景などを踏まえたIBDの既存治療の適正化に向けた取り組み	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
角田洋一、木内喜孝、正宗淳	チオプリンの副作用を予測するNUDT15遺伝子多型検査の有用性について	JDDW2018	神戸	2018年11月3日
角田洋一、木内喜孝、下瀬川徹	個人ゲノム情報から考えるIBD診療の将来像	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
桂田 武彦、大草 敏史、小早川 雅男	抗菌薬3剤併用による難治性潰瘍性大腸炎の治療	第103回日本消化器病学会総会	京王プラザホテル東京	2017年4月20日
Omura Y, Toiyama Y, Okugawa Y, Yamamoto A, Yin C, Shigemori T, Kusunoki K, Kusunoki Y, Ide S, Kitajima T, Fujikawa H, Yasuda H, Hiro J, Yoshiyama S, Ohi M, Araki T, Kusunoki M	Crohn's like lymphoid reaction is associated with oncological prognosis and host nutrition in pathological Srage / gastric cancer	The Digestive Disease Week (DDW) 2019	San Diego	2019年5月18日
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、重盛恒彦、山本 晃、北嶋貴仁、近藤 哲、大北喜基、問山裕二、楠正人	小児炎症性腸疾患の外科治療における課題.	第16回日本消化管学会総会学術集会	姫路	2020年2月7日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
廣 純一郎、大北喜基、問山裕二、志村匡信、藤川裕之、山本 晃、北嶋貴仁、安田裕美、横江 毅、大井正貴、井上幹大、楠正人	潰瘍性大腸炎および Colitic cancer に対する腹腔鏡下手術.	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019 年 12 月 5 日
近藤 哲、大北喜基、小林美奈子、奥川喜永、藤川裕之、安田裕美、横江 毅、廣 純一郎、大井正貴、問山裕二、内田恵一、楠正人	消化管手術後腹腔内膿瘍に対する経皮的膿瘍ドレナージの有効性.	第 32 回外科感染症学会学術集会	岐阜	2019 年 11 月 29 日
井上幹大、内田恵一、長野由佳、近藤 哲、松下航平、小池勇樹、大北喜基、問山裕二、荒木俊光、楠正人	小児クローン病症例に対する腹会陰式直腸切断術後の会陰創管理における予防的閉鎖陰圧療法の実験.	第 32 回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019 年 11 月 29 日
大北喜基、小林美奈子、北嶋貴仁、近藤 哲、藤川裕之、廣 純一郎、問山裕二、大井正貴、荒木俊光、楠正人	待機的大腸手術における full preparation の有用性.	第 32 回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019 年 11 月 29 日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、奥川喜永、藤川裕之、廣 純一郎、井上幹大、問山裕二、大井正貴、内田恵一、楠正人	潰瘍性大腸炎術後難治性回腸嚢炎の臨床像.	第 27 回消化器関連学会週間 JDDW2019	神戸	2019 年 11 月 23 日
大北喜基、問山裕二、小林美奈子、山本 晃、北嶋貴仁、近藤 哲、奥川喜永、藤川裕之、安田裕美、横江 毅、廣 純一郎、大井正貴、荒木俊光、内田恵一、楠正人	消化管外科病棟における血液培養要請例の検討.	第 81 回日本臨床外科学会総会	高知	2019 年 11 月 14 日
近藤 哲、荒木俊光、大北喜基、今岡裕基、安田裕美、小池勇樹、廣純一郎、吉山繁幸、井上幹大、大井正貴、問山裕二、内田恵一、楠正人	クローン病に対する腹会陰式直腸切断術の検討	第 81 回日本臨床外科学会総会	高知	2019 年 11 月 14 日
井上幹大、内田恵一、長野由佳、松下航平、小池勇樹、楠正人	小児炎症性腸疾患症例における術前骨格筋量と術後合併症との関連性に関する検討.	第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会	奈良	2019 年 11 月 3 日
松下航平、長野由佳、小池勇樹、井上幹大、内田恵一、楠正人	胎児期に腹部腫瘍を指摘された尿道閉鎖、尿道直腸瘻の 1 例.	第 35 回日本小児外科学会秋季シンポジウム	大阪	2019 年 10 月 17 日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、奥川喜永、藤川裕之、廣純一郎、井上幹大、問山裕二、大井正貴、内田恵一、楠正人	痔瘻合併クローン病に対する人工肛門造設術の治療成績.	第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2019 年 10 月 11 日
問山裕二、山本 晃、奥川喜永、楠 蔵人、大村悠介、藤川裕之、大北喜基、廣純一郎、大井正貴、内田恵一、楠正人	網羅的 DNA メチル化解析から抽出した潰瘍性大腸炎合併大腸癌診断マーカー.	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019 年 7 月 19 日
井上幹大、内田恵一、長野由佳、松下航平、小池勇樹、大北喜基、問山裕二、荒木俊光、楠正人	新生児手術症例の SSI 減少を目指して: MRSA 保菌リスク因子の検討と口腔内母乳塗布による MRSA 保菌予防効果.	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019 年 7 月 19 日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、奥川喜永、藤川裕之、廣 純一郎、井上幹大、問山裕二、大井正貴、内田恵一、楠正人	潰瘍性大腸炎手術症例における回腸嚢関連感染症合併症予防のための適切な術式選択	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019 年 7 月 18 日
楠 蔵人、問山裕二、奥川喜永、藤川裕之、安田裕美、大北喜基、廣 純一郎、大井正貴、荒木俊光、楠正人	小腸型、小腸大腸型クローン病における回腸の炎症部と非炎症部の IL6 発現量の比の臨床的意義.	第 74 回日本消化器外科学会総会	東京	2019 年 7 月 17 日
小池勇樹、市川 崇、松下航平、井上幹大、内田恵一、溝口 昭、楠正人	マウス小腸壁内における消化管神経叢の生体観察とその有用性の検討.	第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会	松本	2019 年 7 月 13 日
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、山本 晃、井出正造、北嶋貴仁、大竹耕平、藤川裕之、荒木俊光、問山裕二、楠正人	潰瘍性大腸炎手術開発における小児外科医の関わりと現在の課題.	第 56 回日本小児外科学会学術集会	久留米	2019 年 5 月 25 日
井上幹大、内田恵一、長野由佳、近藤 哲、松下航平、小池勇樹、大北喜基、問山裕二、荒木俊光、楠正人	小児の潰瘍性大腸炎における回腸人工肛門造設後 outlet obstruction 発症のリスク因子の検討.	第 56 回日本小児外科学会学術集会	久留米	2019 年 5 月 23 日
小池勇樹、問山裕二、奥川喜永、長野由佳、松下航平、大北喜基、井上幹大、荒木俊光、内田恵一、楠正人	小児潰瘍性大腸炎患者の直腸粘膜における microRNA-124 メチル化の意義.	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019 年 4 月 18 日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、井出正造、北嶋貴仁、藤川裕之、奥川喜永、廣純一郎、問山裕二、大井正貴、内田恵一、楠正人	人工肛門閉鎖術における予防的局所陰圧閉鎖療法.	第 119 回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019 年 4 月 18 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Toiyama Y, Okugawa Y, Araki T, Uchino M, Ikeuchi H, <u>Kusunoki M</u>	Comprehensive analysis to identify aberrant DNA methylation for predicting colitis associated cancer in ulcerative colitis patients.	IBD and Liver: East Meets West.	京都.	2018年9月8日
Inoue M, Koike Y, Uchida K, Nagano Y, Kondo S, Matsushita K, Okita Y, Araki T, <u>Kusunoki M</u>	Predictors of pouchitis after ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis in pediatric patients.	APPSPGHAN 2018	Bangkok,	2018年10月25日
近藤 哲、荒木俊光、大北喜基、浦谷亮、井出正造、北嶋貴仁、松下航平、重盛恒彦、藤川裕之、安田裕美、小池勇樹、廣純一郎、吉山繁幸、井上幹大、大井正貴、問山裕二、内田恵一、 <u>楠正人</u>	クローン病に対する腹会陰直腸切断術の検討.	日本臨床外科学会三重県支部会第291回三重外科集談会、	津、	2018年12月15日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、藤川裕之、廣 純一郎、井上幹大、問山裕二、大井正貴、内田恵一、 <u>楠正人</u>	潰瘍性大腸炎術後 afferent limb syndrome に対する腹腔鏡下回腸固定術の経験.	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡	2018年12月6日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、藤川裕之、廣 純一郎、問山裕二、大井正貴、内田恵一、 <u>楠正人</u>	潰瘍性大腸炎の3期分割手術計画における prognostic nutritional index の意義	第31回日本外科感染症学会総会学術集会	大阪	2018年11月28日
荒木俊光、大北喜基、近藤 哲、廣 純一郎、吉山繁幸、安田裕美、藤川裕之、北嶋貴仁、井出正造、浦谷 亮、市川 崇、重盛恒彦、山本 晃、問山裕二、大井正貴、 <u>楠正人</u>	回腸囊肛門吻合前後の腔瘻の治療戦略.	第80回日本臨床外科学会総会	東京、	2018年11月23日
問山裕二、奥川喜永、田中光司、荒木俊光、内田恵一、菱田朝陽、内野 基、池内浩基、廣田誠一、 <u>楠正人</u> 、C. Richard Boland、Ajay Goel	直腸粘膜の microRNAs メチル化を用いた潰瘍性大腸炎癌化症例の拾い上げ.	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会、	京都、	2018年11月22日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、藤川裕之、吉山 繁幸、廣 純一郎、井上幹大、問山裕二、大井正貴、内田恵一、 <u>楠正人</u>	:潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・J型回腸囊肛門吻合術後 Stoma-Related Obstruction の特徴	第73回大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月10日
荒木俊光、大北喜基、近藤 哲、北嶋貴仁、藤川裕之、安田裕美、奥川喜永、小池勇樹、廣 純一郎、吉山繁幸、問山裕二、井上幹大、大井正貴、内田恵一、 <u>楠正人</u>	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連合併症に対する手術治療成績	第73回大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
山本 晃、問山裕二、 <u>楠正人</u>	孤発性大腸癌ならびに潰瘍性大腸炎関連癌診断マーカーとしての OPLAH メチル化レベルの有用性	JDDW2018 KOBE 第26回日本消化器関連学会週間、	神戸	2018年11月3日
荒木俊光、大北 喜基、近藤 哲、北嶋 貴仁、藤川 裕之、安田 裕美、奥川喜永、廣純一郎、吉山 繁幸、問山 裕二、井上 幹大、大井正貴、内田恵一、 <u>楠正人</u>	潰瘍性大腸炎術後回腸囊肛門再吻合術の成績	JDDW2018KOBE 第26回日本消化器関連学会週間	神戸、	2018年11月3日
問山裕二、奥川喜永、 <u>楠正人</u>	潰瘍性大腸炎癌化リスク診断としての直腸粘膜生検による DNA メチル化測定法	JDDW2018 KOBE 第26回日本消化器関連学会週間	神戸	2018年11月2日
奥川喜永、問山 裕二、山本 晃、重盛恒彦、藤川裕之、安田裕美、廣 純一郎、吉山繁幸、望木郁代、内田恵一、荒木俊光、中谷 中、 <u>楠正人</u> 、Boland C. Richard、Goel Ajay	:miR-1 メチル化の Filed effct を利用した潰瘍性大腸炎関連癌リスクマーカーとしての有用性の検討	日本人類遺伝学会第63回大会	横浜	2018年10月11日
小池勇樹、長野由佳、松下航平、井上幹大、内田恵一、 <u>楠正人</u>	小児潰瘍性大腸炎術後 Pouchitis 発症に関するリスクファクターの検討	第45回 小児栄養消化器肝臓学会、	埼玉	2018年10月7日
問山裕二、近藤 哲、井出正造、北嶋貴仁、藤川裕之、廣 純一郎、安田裕美、奥川喜永、大北喜基、吉山繁幸、大井正貴、荒木俊光、 <u>楠正人</u>	:癌合併潰瘍性大腸炎患者診断マーカー同定のための直腸粘膜における網羅的 DNA メチル化解析.	第77回日本癌学会学術集会	大阪	2018年9月29日
大北喜基、荒木 俊光、近藤 哲、藤川 裕之、廣 純一郎、吉山 繁幸、問山 裕二、大井 正貴、内田恵一、 <u>楠正人</u>	残存直腸切除・回腸囊肛門吻合術における術後感染性合併症予測因子としての予後推定栄養指数(PNI)の有用性.	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月13日
山本 晃、問山裕二、奥川喜永、重盛恒彦、市川 崇、近藤 哲、藤川裕之、廣純一郎、荒木俊光、 <u>楠正人</u>	:遺伝子のメチル化レベルを指標にした潰瘍性大腸炎関連大腸癌の診断に有用なバイオマーカーの確立.	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018年7月11日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
松下航平、井上幹大、長野由佳、小池勇樹、大北喜基、荒木俊光、問山裕二、内田恵一、天野敬史郎、平山雅浩、楠正人	潰瘍性大腸炎治療と悪性リンパ腫の関連性について。	第 45 回日本内視鏡研究会、	東京、	2018 年 7 月 7 日
小池勇樹、長野由佳、橋本 清、松下航平、大竹耕平、井上幹大、内田恵一、楠正人	: 虫垂炎症状を呈したクローン病の 2 例。	第 32 回日本小児救急医学会学術集会、	つくば	2018 年 6 月 2 日
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、橋本 清、大竹耕平、毛利靖彦、近藤 哲、大北喜基、問山裕二、荒木俊光、楠正人	超早期発症型炎症性腸疾患の外科治療	第 55 回日本小児外科学会学術集会	新潟、	2018 年 5 月 30 日
荒木俊光、近藤 哲、大北喜基、廣 純一郎、吉山繁幸、藤川裕之、安田裕美、北嶋貴仁、志村匡信、沖 哲、浦谷 亮、奥川喜永、井出正造、市川 崇、山本 晃、重盛恒彦、問山裕二、大井正貴、内田恵一、楠正人	炎症性腸疾患に対する抗 TNF- 抗体が維持療法中 paradoxical reaction 発生	第 104 回日本消化器病学会総会、	東京	2018 年 4 月 20 日
近藤 哲、荒木俊光、大北喜基、廣 純一郎、吉山繁幸、藤川裕之、安田裕美、北嶋貴仁、志村匡信、沖 哲、浦谷 亮、奥川喜永、井出正造、市川 崇、山本 晃、重盛恒彦、問山裕二、大井正貴、内田恵一、楠正人	: 炎症性腸疾患に対する抗 TNF- 抗体バイオ後続品スイッチ治療成績。	第 104 回日本消化器病学会総会	東京	2018 年 4 月 19 日
問山裕二、奥川喜永、楠正人	Colitis Associated Cancer の存在診断としての遺伝子検査。	第 104 回日本消化器病学会総会、	東京、	2018 年 4 月 19 日
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、大竹耕平、橋本 清、問山裕二、荒木俊光、田口智章、毛利靖彦、楠正人	小児期発症非特異性多発性小腸潰瘍症の遺伝子診断と外科治療	第 118 回日本外科学会定期学術集会	東京	2018 年 4 月 7 日
Uchida K, Matsushita K, Inoue M, Koike Y, Nagano Y, Otake K, Uratani R, Yamamoto A, Kondo S, Fujikawa H, Yoshiyama S, Hiro J, Toiyama Y, Araki T, Kusunoki M	Clinical characteristics and surgical outcome of pediatric, adult, elderly patients with ulcerative colitis who underwent surgery in a single center.	4 th International Symposium on Pediatric Inflammatory Bowel Disease(PIBD2017),	Barcelona, Spain	2017 年 9 月 14 日
Toiyama Y, Okugawa Y, Hur K, Tanaka K, Araki T, Uchida K, Uchino M, Ikeuchi H, Hirota S, Kusunoki M, Boland CR, Goel A	: The clinical significance of epigenetic microRNA-137 silencing in patients with ulcerative colitis.	AACR Annual Meeting,	Washington, D.C., USA	2017 年 4 月 4 日
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、近藤 哲、大北喜基、問山裕二、荒木俊光、楠正人	小児炎症性腸疾患の外科治療における全人的アプローチ。	第 14 回日本消化管学会総会学術集会	東京、	2018 年 2 月 9 日
近藤 哲、荒木俊光、市川 崇、安田裕美、森本雄貴、吉山繁幸、大井正貴、楠正人	: 肛門部瘻状瘻を合併したクローン病難治性痔瘻の 1 例	第 24 回三重県クローン病研究会	津	2018 年 2 月 8 日
荒木俊光、大北喜基、廣 純一郎、近藤 哲、藤川裕之、安田裕美、小池勇樹、奥川喜永、井上幹大、問山裕二、小林美奈子、大井正貴、内田恵一、楠正人	腹腔鏡下大腸全摘・回腸囊肛門吻合術における回腸囊関連合併症発生抑制のための工夫。	第 30 回日本内視鏡外科学会総会、	京都	2017 年 12 月 9 日
井上幹大、廣 純一郎、内田恵一、長野由佳、松下航平、小池勇樹、荒木俊光、楠正人	: 小児に対する腹腔鏡下大腸全摘術における learning curve の検討	第 30 回日本内視鏡外科学会総会	京都	2017 年 12 月 8 日
松下航平、井上幹大、長野由佳、小池勇樹、荒木俊光、内田恵一、阿部直紀、岩田直美、楠正人	敗血症を繰り返した下行結腸狭窄を伴う乳児期発症炎症性腸疾患の一例	第 51 回日本小児外科学会東海北陸地方会	金沢	2017 年 12 月 3 日
荒木俊光、近藤 哲、吉山繁幸、廣純一郎、安田裕美、藤川裕之、問山裕二、内田恵一、楠正人	: クローン病術後寛解維持のための治療戦略。	第 79 回日本臨床外科学会総会	東京	2017 年 11 月 25 日
山本 晃、問山裕二、大村悠介、近藤 哲、大北喜基、今岡裕基、北嶋貴仁、松下航平、藤川裕之、安田裕美、小池勇樹、奥川喜永、吉山繁幸、廣 純一郎、井上幹大、小林美奈子、大井正貴、内田恵一、楠正人	経口メサラジンが潰瘍性大腸炎組織中メチル化に与える影響の検討。	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017 年 11 月 10 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
近藤 哲、荒木俊光、大北喜基、沖 哲、今岡裕基、北嶋貴仁、松下航平、藤川裕之、安田裕美、小池勇樹、奥川喜永、吉山繁幸、廣 純一郎、井上幹大、小林美奈子、大井正貴、問山裕二、内田恵一、楠正人	クローン病術後の抗 TNF- 抗体の維持治療についての検討.	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017 年 11 月 10 日
荒木俊光、大北喜基、近藤哲、山本晃、藤川裕之、安田裕美、廣純一郎、吉山繁幸、問山裕二、小林美奈子、大井正貴、今岡裕基、北嶋貴仁、沖 哲、松下航平、小池勇樹、井上幹大、井出正造、内田恵一、楠正人	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連合併症とその手術治療成績.	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会、	福岡、	2017 年 11 月 10 日
重盛恒彦、荒木俊光、近藤 哲、大北喜基、山本 晃、濱田康彦、葛原正樹、堀木紀行、中村美咲、小池勇樹、奥川喜永、吉山繁幸、廣 純一郎、井上幹大、小林美奈子、大井正貴、問山裕二、内田恵一、竹井謙之、楠正人	青黛内服中に大腸炎を併発した潰瘍性大腸炎の 1 例 .	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017 年 11 月 10 日
松下航平、井上幹大、小池勇樹、長野由佳、大竹耕平、北嶋貴仁、問山裕二、荒木俊光、楠正人	潰瘍性大腸炎手術における両下肢コンパートメント症候群の経験と現在の予防対策について.	第 28 回日本小児外科 QOL 研究会	静岡	2017 年 11 月 4 日
井上幹大、内田恵一、長野由佳、近藤哲、松下航平、小池勇樹、荒木俊光、楠正人	小児クローン病術後症例における抗 TNF- 抗体製剤の有効性 - 短腸症候群を予防するため - .	第 33 回日本小児外科学会 秋季シンポジウム PSJM2017	川崎	2017 年 10 月 28 日
井上幹大、内田恵一、長野由佳、松下航平、小池勇樹、荒木俊光、楠正人	術後に抗 TNF- 抗体製剤を使用している小児クローン病症例の検討 .	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 22 日
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、近藤哲、大北喜基、荒木俊光、問山裕二、楠正人	E01BD への外科的アプローチ .	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会、	福岡、	2017 年 10 月 22 日
荒木俊光、近藤 哲、大北喜基、藤川裕之、安田裕美、奥川喜永、廣 純一郎、吉山繁幸、問山裕二、井上幹大、小林美奈子、大井正貴、田中光司、井上靖浩、内田恵一、毛利靖彦、楠正人	クローン病腸管切除術後再手術抑制としての抗 TNF- 抗体維持療法	JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間第 15 回日本消化器外科学会大会	福岡	2017 年 10 月 13 日
Kondo S, Araki T, Okita Y, Omura Y, Yamamoto A, Fujikawa H, Yasuda H, Okugawa Y, Hiro J, Yoshiyama S, Toiyama Y, Ohi M, Kobayashi M, Inoue Y, Uchida K, Mohri Y, Kusunoki M	The interval between surveillance colonoscopies and the prognosis of colitis-associated colorectal cancer	JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間第 15 回日本消化器外科学会大会	福岡	2017 年 10 月 13 日
中村美咲、堀木紀行、小島真一、三浦広嗣、佐野 隆、原田哲朗、山田玲子、井上宏之、葛原正樹、濱田康彦、田中匡介、近藤 哲、大北喜基、荒木俊光、楠正人、竹井謙之	クローン病における Infliximab 単独療法の効果維持予測因子の検討 .	JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間第 15 回日本消化器外科学会大会	福岡、	2017 年 10 月 12 日
廣 純一郎、荒木俊光、問山裕二、井上靖浩、藤川裕之、大北喜基、小林美奈子、毛利靖彦、楠正人	潰瘍性大腸炎に対する Reduced Port Surgery ~ 手術時間短縮の工夫 ~	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017 年 7 月 22 日
問山裕二、奥川 喜永、荒木 俊光、小林美奈子、大北 喜基、田中 光司、井上 靖浩、内田 恵一、毛利 靖彦、楠正人	: miRNAs メチル化マーカーパネルを用いた潰瘍性大腸炎患者の癌化リスク診断	第 72 回日本消化器外科学会総会	金沢	2017 年 7 月 21 日
荒木俊光、大北 喜基、藤川 裕之、安田裕美、廣 純一郎、吉山 繁幸、問山 裕二、小林 美奈子、大井 正貴、楠正人	潰瘍性大腸炎術後の難治性回腸囊関連合併症に対する salvage 手術 (How to salvage the complications of ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis) .	第 72 回日本消化器外科学会総会、	金沢、	2017 年 7 月 20 日
奥川喜永、問山裕二、田中光司、荒木俊光、内田恵一、内野 基、池内浩基、廣田誠一、Richard Boland、Ajay Goel、楠正人	Field effect と Epigenetic drift の概念を利用した、MicroRNA メチル化による潰瘍性大腸炎癌化のハイリスク診断	第 87 回大腸癌研究会	四日市	2017 年 7 月 7 日
内田恵一、井上幹大、大竹耕平、小池勇樹、松下航平、長野由佳、橋本 清、問山裕二、荒木俊光、田口智章、楠正人	当科で経験した CEAS (SLC02A1 関連腸症) の検討 .	第 54 回日本小児外科学会学術集会	仙台	2017 年 5 月 12 日
荒木俊光、大北喜基、藤川裕之、安田裕美、廣純一郎、吉山繁幸、問山裕二、小林美奈子、大井正貴、楠正人	潰瘍性大腸炎大腸全摘時回腸粘膜における回腸囊炎予測因子発現の検討.	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017 年 4 月 29 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
大北喜基、荒木俊光、近藤 哲、浦谷亮、奥川喜永、藤川裕之、安田裕美、重盛恒彦、廣 純一郎、吉山繁幸、井上幹大、問山裕二、小林美奈子、大井正貴、田中光司、井上靖浩、内田恵一、毛利靖彦、楠正人	潰瘍性大腸炎における SSI 予測因子としての prognostic あ nutritional index の有用性	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017 年 4 月 29 日
近藤 哲、荒木俊光、大北喜基、浦谷亮、重盛恒彦、藤川裕之、安田裕美、奥川喜永、廣 純一郎、吉山繁幸、問山裕二、大井正貴、小林美奈子、田中光司、井上靖浩、毛利靖彦、内田恵一、楠正人	加齢が潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後の排便機能に与える影響の検討。	第 117 回日本外科学会定期学術集会	横浜	2017 年 4 月 29 日
大北喜基、近藤 哲、浦谷 亮、奥川喜永、藤川裕之、安田裕美、重盛恒彦、廣純一郎、吉山繁幸、井上幹大、問山裕二、小林美奈子、大井正貴、田中光司、井上靖浩、内田恵一、毛利靖彦、楠正人	潰瘍性大腸炎術後慢性回腸囊炎の臨床像	第 103 回日本消化器病学会総会	東京、	2017 年 4 月 22 日
荒木俊光、大北喜基、楠正人	クローン病腸管切除術後抗 TNF 抗体維持療法の再手術抑制効果と危険因子。	第 103 回日本消化器病学会総会、	東京、	2017 年 4 月 20 日
熊谷秀規	小児 IBD の治療戦略	栃木県 IBD 学術講演会 2020	宇都宮	2020 年 2 月 12 日
熊谷秀規、清水俊明、工藤孝広、内田恵一、国崎玲子、杉田 昭、大塚直一、新井勝大、窪田 満、田尻 仁、鈴木康夫。	小児期発症炎症性腸疾患のトランジション	第 16 回日本消化管学会総会学術集会	姫路	2020 年 2 月 7・8 日
熊谷秀規	小児 IBD (炎症性腸疾患) の特徴。	第 117 回 およま薬・薬連携研修会	下野	2020 年 1 月 15 日
熊谷秀規	<パネルディスカッション・小児発症炎症性腸疾患の現状とトランジション> 成人移行期小児炎症性腸疾患患者の自立支援のための手引書：日本小児栄養消化器肝臓学会編。	第 14 回日本消化管学会総会学術集会	東京	2018 年 2 月 9・10 日
熊谷秀規	IBD 診療における小児から成人へのトランジション。	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017 年 12 月 1 日
熊谷秀規、秋山卓士、虻川大樹、位田忍、乾 あやの、工藤孝広、窪田 満	成人移行期小児炎症性腸疾患患者の自立支援のための手引書。	第 44 回日本小児栄養消化器肝臓学会	福岡	2017 年 10 月 20~22 日
日比則孝、小林 拓、森久保 拓、清原裕貴、松林真央、佐上晋太郎、中野 雅、久松理一、日比紀文	Drug-tolerant assay による抗インフリキシマブ抗体測定の有用性	第 56 回日本消化器免疫学会総会	メルパルク 京都	2019 年 8 月 2 日
S Sagami, T Kobayashi, T Kanazawa, K Aihara, H Morikubo, R Ozaki, S Okabayashi, M Matsubayashi, A Fuchigami, H Kiyohara, M Nakano, T Hibi	Accuracy of Doppler transabdominal ultrasound in assessing disease severity and extent in IBD.	14th Congress of ECCO	Bella Center Copenhagen	2019 年 3 月 7 日
M Matsubayashi, T Kobayashi, S Okabayashi, R Ozaki, S Sagami, H Kiyohara, A Fuchigami, H Morikubo, M Nakano, T Hibi	Capsule scoring of ulcerative colitis (CSUC) is useful for monitoring inactive ulcerative colitis.	Crohn's & colitis congress Las Vegas	Bellagio Hotel and Casino, Las Vegas	2019 年 2 月 7 日
細江直樹、中野雅、竹内健、遠藤豊、松岡克善、大森鉄平、林田真理、水野慎大、長沼誠、小林拓、吉田篤史、中里圭宏、金井隆典、日比紀文、鈴木康夫、上野文昭、渡辺守、緒方晴彦	カプセル内視鏡による潰瘍性大腸炎の炎症評価スコア：Capsule Scoring of Ulcerative Colitis(CSUC)とその Validation	第 12 回日本カプセル内視鏡学会学術集会	グランデはがくれ(佐賀)	2019 年 2 月 3 日
松林真央、小林拓、岡林慎二、淵上綾子、尾崎良、佐上晋太郎、清原裕貴、森久保拓、中野雅、日比紀文	非活動期潰瘍性大腸炎患者モニタリングにおける Capsule Scoring of Ulcerative Colitis(CSUC)の意義	第 12 回日本カプセル内視鏡学会学術集会	グランデはがくれ(佐賀)	2019 年 2 月 3 日
佐上晋太郎、小林拓、中野雅、日比紀文	クローン病の大腸内視鏡前処置中に MR エンテログラフィーを追加すると上乗せ効果は期待できるか？	第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	シェーンパッハ・サボ	2018 年 12 月 16 日
森久保拓、小林拓、尾崎良、清原裕貴、淵上綾子、松林真央、佐上晋太郎、中野雅、久松理一、日比紀文	潰瘍性大腸炎における 5-ASA 製剤とチオプリン製剤の相互作用に関する研究	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク 京都	2018 年 11 月 22 日
金沢徹雄、佐上晋太郎、小林拓、相原佳那子、林規隆、森久保拓、松林真央、淵上綾子、清原裕貴、尾崎良、岡林慎二、中野雅、日比紀文	潰瘍性大腸炎の活動性評価における腹部超音波検査の精度	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク 京都	2018 年 11 月 22 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
清原裕貴、 <u>小林拓</u> 、 <u>淵上綾子</u> 、 <u>中野雅</u> 、 <u>日比紀文</u>	5-アミノサリチル酸不耐潰瘍性大腸炎患者の臨床的特徴	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	京王プラザホテル	2018年11月9日
<u>尾崎良</u> 、 <u>小林拓</u> 、 <u>岡林慎二</u> 、 <u>中野雅</u> 、 <u>原敦子</u> 、 <u>大部誠</u> 、 <u>日比紀文</u>	内視鏡的寛解潰瘍性大腸炎における再燃の組織学的リスク因子	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	海運クラブ(東京)	2017年12月1日
<u>尾崎良</u> 、 <u>小林拓</u> 、 <u>齊藤詠子</u> 、 <u>豊永貴彦</u> 、 <u>岡林慎二</u> 、 <u>梅田智子</u> 、 <u>中野雅</u> 、 <u>松岡健太郎</u> 、 <u>森永正二郎</u> 、 <u>久松理一</u> 、 <u>日比紀文</u>	潰瘍性大腸炎における組織学的再燃リスク因子の探索	第59回日本消化器病学会大会	マリメッセ福岡	2017年10月13日
<u>原勇輔</u> 、 <u>岡林慎二</u> 、 <u>小林拓</u> 、 <u>尾崎良</u> 、 <u>佐上晋太郎</u> 、 <u>豊永貴彦</u> 、 <u>中野雅</u> 、 <u>宮本康雄</u> 、 <u>牧田遊子</u> 、 <u>常松令</u> 、 <u>土本寛二</u> 、 <u>日比紀文</u> 、 <u>鈴木雄介</u>	結核スクリーニング陰性にもかかわらず抗TNF-抗体治療中に肺結核を発症したクローン病の1例	日本消化器病学会関東支部第346回例会	海運クラブ(東京)	2017年9月30日
<u>渡辺康博</u> 、 <u>佐上晋太郎</u> 、 <u>小林拓</u> 、 <u>尾崎良</u> 、 <u>岡林慎二</u> 、 <u>豊永貴彦</u> 、 <u>中野雅</u> 、 <u>日比紀文</u>	HIV感染症を併発した潰瘍性大腸炎の1例	日本消化器病学会関東支部第345回例会	海運クラブ(東京)	2017年7月15日
<u>福岡晃平</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	当科におけるブデソニド注腸フォームの使用経験について	第10回日本炎症性腸疾患学会	アクロス福岡	2019年11月29日
<u>久下博之</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎に対する回腸嚢再建術後の治療成績	第10回日本炎症性腸疾患学会	アクロス福岡	2019年11月29日
<u>中本貴透</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>竹井健</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎難治例に対するタクロリムスの位置付け	第27回日本消化器関連学会週間(JDDW2019KOBE)	神戸コンベンションセンター	2019年11月23日
<u>松本弥生</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>庄雅之</u>	当科における高齢発症潰瘍性大腸炎患者の臨床像についての検討	第27回日本消化器関連学会週間(JDDW2019KOBE)	神戸コンベンションセンター	2019年11月23日
<u>久下博之</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎に対する回腸嚢再建術後の治療成績	第27回日本消化器関連学会週間(JDDW2019KOBE)	神戸コンベンションセンター	2019年11月23日
<u>松本弥生</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>庄雅之</u>	当科における高齢発症潰瘍性大腸炎患者の臨床像についての検討	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	ヒルトン東京お台場	2019年10月11日
<u>中本貴透</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	難治性潰瘍性大腸炎症例に対するタクロリムス使用例の検討	第74回日本消化器外科学会総会	グランドプリンスホテル新高輪	2019年7月18日
<u>中本貴透</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>竹井健</u> 、 <u>庄雅之</u>	診断に苦慮した末梢性T細胞リンパ腫を合併した潰瘍性大腸炎の一例	第97回日本消化器内視鏡学会総会	グランドプリンスホテル新高輪	2019年6月1日
<u>中本貴透</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>竹井健</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎に対する手術術式の検討	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪国際会議場	2019年4月18日
<u>福岡晃平</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>竹井健</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎癌化例に対する最適なリンパ節郭清の検討	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪国際会議場	2019年4月18日
<u>中本貴透</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎難治例に対するタクロリムス使用例の検討	第110回日本消化器病学会近畿支部例会	京都テルサ	2019年2月23日
<u>中本貴透</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>竹井健</u> 、 <u>松本弥生</u> 、 <u>庄雅之</u>	狭窄を伴う潰瘍性大腸炎手術症例5例の検討	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	メルパルク京都	2018年11月22日
<u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>稲次直樹</u> 、 <u>吉川周作</u> 、 <u>横尾貴史</u> 、 <u>山岡健太郎</u> 、 <u>庄雅之</u>	直腸肛門部瘻孔を合併した潰瘍性大腸炎症例の病像と外科治療	第26回日本消化器関連学会週間(JDDW2018KOBE)	神戸コンベンションセンター	2018年11月3日
<u>植田剛</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>藤井久男</u>	本邦におけるクローン病術後吻合部潰瘍の現状 吻合部線上潰瘍は再発病変か？	第26回日本消化器関連学会週間(JDDW2018KOBE)	神戸コンベンションセンター	2018年11月3日
<u>植田剛</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>藤井久男</u>	本邦報告例集積から見たクローン病関連直腸肛門部癌症例の特徴とサーベイランスの可能性について	第26回日本消化器関連学会週間(JDDW2018KOBE)	神戸コンベンションセンター	2018年11月3日
<u>中村保幸</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>石岡興平</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>福岡晃平</u> 、 <u>岩佐陽介</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎 IACA 後の吻合部瘻孔にたいし再吻合術を施行した一例	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	TKP ガーデンシティ品川	2017年12月1日
<u>尾原伸作</u> 、 <u>久下博之</u> 、 <u>植田剛</u> 、 <u>井上隆</u> 、 <u>中本貴透</u> 、 <u>佐々木義之</u> 、 <u>中村保幸</u> 、 <u>小山文一</u> 、 <u>庄雅之</u>	潰瘍性大腸炎に起因する colitis associated colorectal cancer 手術症例の後方視的検討	第55回日本癌治療学会学術集会	パシフィコ横浜	2017年10月20日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
小山文二、庄雅之、吉川周作、久下博之、植田剛、井上隆、中本貴透、尾原伸作、佐々木義之、中村保幸、山岡健太郎、稲次直樹、藤井久男、錦織直人	直腸肛門部瘻孔を合併した潰瘍性大腸炎症例のマネージメント	第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2017FUKUOKA)	福岡国際会議場	2017 年 10 月 14 日
植田剛、小山文二、久下博之、井上隆、尾原伸作、中本貴透、佐々木義之、中村保幸、庄雅之	クローン病関連直腸肛門管癌症例の特徴から見たサーベイランスの可能性について	第 87 回大腸癌研究会	四日市都ホテル	2017 年 7 月 7 日
尾原伸作、久下博之、植田剛、井上隆、中本貴透、佐々木義之、中村保幸、小山文二、庄雅之	Colitis associated colorectal cancer に対する手術症例の後方視的検討	第 87 回大腸癌研究会	四日市都ホテル	2017 年 7 月 7 日
尾原伸作、植田剛、井上隆、中本貴透、佐々木義之、中村保幸、小山文二、金廣裕道	潰瘍性大腸炎手術症例に対するタクロリムス・TNF- 抗体製剤の影響	第 117 回日本外科学会定期学術集会	パシフィコ横浜	2017 年 4 月 29 日
小山文二、植田剛、吉川周作	瘻孔を合併した潰瘍性大腸炎のマネージメント - 自験例と本邦報告例の検討から	第 103 回日本消化器病学会総会	京王プラザホテル	2017 年 4 月 22 日
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Miyanaga R, Sugimoto S, Nanki K, Kimura K, Mikami Y, Mizuno S, Mutaguchi M, Sujino T, Naganuma M, Ogata H, Kanai T	Clinical utility of balloon assisted enteroscopy to evaluate deep small bowel lesions of crohn's disease	DDW	San Diego	2019 年 5 月 14 日
長沼 誠、牟田口 真、福田 知広、脇坂悠介、市川 将隆、萩原 裕也、高田 祐明、種本 俊、梅田 智子、吉松 裕介、吉田 康祐、南木 耕作、福原 佳代子、三上 洋平、筋野 智久、高林 馨、緒方晴彦、岩男 泰、金井 隆典	実臨床における潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の短期有効性と安全性	日本消化管学会総会	姫路	2020 年 2 月 9 日
三上 洋平、吉松 裕介、長沼 誠、杉本真也、種本 俊、梅田 智子、福田 知広、野村 絵奈、吉田 康祐、大野 恵子、牟田口 真、南木 康作、水野 慎大、福原 佳代子、筋野 智久、高林 馨、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	当院における潰瘍性大腸炎における青黛坐剤の有用性の検討	日本炎症性腸疾患学会	福岡	2019 年 11 月 29 日
牟田口 真、長沼 誠、福田 知広、南木康作、福原 佳代子、三上 洋平、筋野智久、高林 馨、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	潰瘍性大腸炎における Tofacitinib と Vedolizumab の治療の短期有効性の比較	日本炎症性腸疾患学会	福岡	2019 年 11 月 29 日
福田 知広、長沼 誠、杉本 真也、南木康作、三上 洋平、福原 佳代子、筋野智久、牟田口 真、高林 馨、井上 詠、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	潰瘍性大腸炎における 5-ASA および N-acetyl 5-ASA の大腸粘膜内濃度と粘膜治癒の関係	日本炎症性腸疾患学会	福岡	2019 年 11 月 29 日
高林 馨、細江 直樹、金井 隆典	クローン病におけるバルーン内視鏡を用いた深部小腸評価の有用性の検討	JDDW	神戸	2019 年 11 月 22 日
高林 馨、林 由紀恵、福田 知広、吉松裕介、吉田 康祐、杉本 真也、南木耕作、福原 佳代子、三上 洋平、筋野 智久、牟田口 真、細江 直樹、長沼 誠、緒方 晴彦、金井 隆典	クローン病におけるバルーン内視鏡を用いた深部小腸評価の有用性	日本小腸学会	大阪	2019 年 11 月 9 日
高林 馨、細江 直樹、金井 隆典	Clinical utility of single balloon enteroscopy to evaluate deep small bowel lesions of Crohn's Disease	日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019 年 5 月 31 日
Takabayashi K, Hosoe N, Miyanaga R, Fukuhara S, Kimura K, Mizuno S, Naganuma M, Yahagi N, Kanai T, Ogata H	Clinical utility of novel ultra-thin single-balloon enteroscopy ; a feasibility study	DDW	Washington	2018 年 5 月 24 日
杉本 真也、長沼 誠、福田 知広、南木康作、水野 慎大、木村 佳代子、高林 馨、井上 詠、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	潰瘍性大腸炎患者に対する青黛の現状の位置付け	日本消化管学会	佐賀	2019 年 2 月 1 日
高林 馨、木村 佳代子、細江 直樹、緒方 晴彦、金井 隆典	クローン病に適したシングルバルーン内視鏡の選択	日本消化器内視鏡学会関東地方会	東京	2018 年 12 月 16 日
林 由紀恵、細江 直樹、宮永 亮一、木村 佳代子、水野 慎大、高林 馨、長沼 誠、緒方 晴彦、金井 隆典	潰瘍性大腸炎患者に対する大腸カプセル内視鏡の工夫	日本炎症性腸疾患学会	京都	2018 年 11 月 22 日
福田 知広、水野 慎大、久武 祐太、南木 康作、木村 佳代子、高林 馨、長沼 誠、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	重症潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリンによる治療戦略の検討	日本炎症性腸疾患学会	京都	2018 年 11 月 22 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
水野 慎大、福田 知広、長沼 誠、野村 絵奈、吉田 康祐、吉松 裕介、梅田 智子、杉本 真也、南木 康作、木村 佳代子、高林 馨、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	潰瘍性大腸炎患者の5-ASA製剤不耐は入院の危険因子になる	日本炎症性腸疾患学会	京都	2018年11月22日
高林 馨、細江 直樹、金井 隆典	炎症性腸疾患に対する新型細径シングルバルーン内視鏡の有用性	JDDW	神戸	2018年11月2日
高林 馨、木村 佳代子、細江 直樹、緒方 晴彦、金井 隆典	新型細径シングルバルーン内視鏡の臨床応用	日本消化器内視鏡学会関東地方会	東京	2018年6月17日
高林 馨、細江 直樹、緒方 晴彦	新型細径シングルバルーン内視鏡の有用性	日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018年5月12日
福田 知広、長沼 誠、杉本 真也、大野 恵子、南木康作、水野 慎大、木村 佳代子、牟田口 真、高林 馨、井上 詠、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	Mayo内視鏡スコア1を有する臨床的寛解潰瘍性大腸炎患者に対する治療介入の意義に関する検討	日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018年5月12日
福田 知広、長沼 誠、杉本 真也、南木 康作、水野 慎大、木村 佳代子、高林 馨、井上 詠、緒方 晴彦、岩男 泰、金井 隆典	潰瘍性大腸炎における青黛の副作用に関する検討	日本消化器病学会総会	東京	2018年4月24日
木下 聡、浦岡 俊夫、西澤 俊高、高林 馨、中里 圭宏、長沼 誠、岩男 泰、緒方 晴彦、金井 隆典、矢作 直久	潰瘍性大腸炎の罹患範囲に発生した大型の腫瘍性病変に対する内視鏡診断とESD治療について	日本消化管学会	東京	2018年2月1日
Moriichi K, Fujiya M, Kobayashi Y, Ijiri M, Murakami Y, Iwama T, Kunogi T, Sasaki T, Takahashi K, Ando K, Ueno N, Kashima S, Tanabe H, Okumura T.	Prediction of relapse in patients with ulcerative colitis using conventional endoscopy and autofluorescence imaging	DDW2019	San Diego	2019年5月18日
Konishi H, Fujiya M, Kita A, Tanaka H, Kashima S, Sakatani A, Dokoshi T, Ando K, Ueno N, Moriichi K, Iwama T, Takahashi K, Murakami Y, Ikuta K, Mizukami Y, Goto T, Okumura T.	Abnormal activation of hnRNPA0 inhibits cancer cell apoptosis and promotes excessive mitosis in cancer cells	DDW2019	San Diego	2019年5月18日
安藤勝祥、藤谷幹浩、奥村利勝	寛解期潰瘍性大腸炎における通常・拡大内視鏡を用いた活動性評価と再燃予測	第47回日本潰瘍学会	小田原	2020年1月17日
鈴木歩実、久保百合香、須美隼登、上野伸展、藤谷幹浩、太田一美	炎症性腸疾患を抱える患者の就労支援における看護師の役割	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
村上雄紀、安藤勝祥、杉山雄哉、岩間琢哉、久野木健仁、佐々木貴弘、高橋慶太郎、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、桑井志麻、奥村利勝	不明熱が診断の契機となり、腎機能障害・二次性血小板増多症を伴ったMEFV遺伝子変異合併クローン病の一例	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
安藤勝祥、杉山雄哉、村上雄紀、岩間琢哉、久野木健仁、佐々木貴弘、高橋慶太郎、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	寛解維持療法中の潰瘍性大腸炎患者における通常・拡大内視鏡観察による活動性のモニタリングと治療適正化に関する検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
杉山雄哉、上野伸展、村上雄紀、岩間琢哉、佐々木貴弘、久野木健仁、高橋慶太郎、安藤勝祥、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	シンポジウム1「Total care for IBD whole life-IBD special situationにおける適切なアプローチ」	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
岩間琢哉、安藤勝祥、稲場勇平、杉山雄哉、村上雄紀、久野木健仁、佐々木貴弘、高橋慶太郎、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、山田聡、仲瀬裕志、藤谷幹浩、奥村利勝	炎症性腸疾患入院患者における静脈血栓塞栓症の発症頻度：多施設前向き試験	JDDW2019	神戸	2019年11月21日
立花史音、杉山雄哉、村上雄紀、佐々木貴弘、高橋慶太郎、上野伸展、藤谷幹浩、奥村利勝	T-SPOT陰性であったが抗TNF-製剤導入後に活動性肺結核を発症したベトナム人クローン病の1例	第287回日本内科学会北海道地方会	札幌	2019年11月9日
Konishi H, Kita A, Fujiya M.	Ferrichrome derived from Lactobacillus casei is a potential antitumor agent for gastrointestinal cancer cells	第57回日本癌治療学会学術集会	福岡	2019年10月26日
上野伸展、藤谷幹浩、奥村利勝	ワークショップ8「小腸疾患診療の現状と今後の展望」クローン病小腸評価におけるMR-e、拡散強調画像、腸管動画像撮像法と小腸カプセル内視鏡の相関性とその有用性に関する検討	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月10日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
安藤勝祥、藤谷幹浩、奥村利勝	シンポジウム3「消化器疾患におけるサルコペニア」クローン病に対する生物学的製剤投与時における骨格筋肉量・内臓脂肪量と臨床経過	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月10日
Ueno N, Murakami Y, Iwama T, Sasaki T, Kunogi T, Takahashi K, Tanaka K, Ando K, Kashima S, Inaba Y, Moriichi K, Tnabe H, Taruishi M, Fujiya M, Okumura T.	The utility of fecal calprotectin as a biomarker for predicting the clinical outcome of granulocyte and monocyte adsorptive apheresis treatment in patients with ulcerative colitis	ECCO 2019	Kopenhagen	2019年3月6日
Fujiya M, Ueno N, Kashima S, Tanaka K, Sakatani A, Moriichi K, Konishi H, Okumura T.	Probiotic-derived super-long-chain polyphosphate induces mucosal healing in patients with refractory ulcerative colitis.	FALK symposium IBD and Liver: East Meets West	Kyoto	2018年9月7日
Ando K, Fujiya M, Nomura Y, Inaba Y, Kobayashi Y, Murakami Y, Iwama T, Kunoki T, Ijiri M, Takahashi K, Ueno N, Kashima S, Moriichi K, Tanabe H, Yamada S, Nakase H, Okumura T.	The incidence of venous thromboembolism with inflammatory bowel disease in Japanese inpatients: A prospective cohort study.	AOCC2018	Shanghai	2018年6月21日
Tanida S, Matsuoka K, Naganuma M, Kitamura K, Matsui T, Arai M, Fujiya M, Horiki N, Nebiki H, Kinjo F, Miyazaki T, Matsumoto T, Esaki M, Mitsuyama K, Saruta M, Ido A, Hojo S, Takenaka O, Oketani K, Imai T, Tsubouchi H, Hibi T, Kanai T.	Multiple ascending dose, open-label, phase 1/2 study of E6011, an anti-fractalkine monoclonal antibody, to investigate the safety and clinical response in patients with Crohn's disease	DDW2018	Washington D.C.	2018年6月2日
佐藤允洋、上野伸展、藤谷幹浩、奥村利勝、久野木健仁、佐々木貴弘、岩間琢哉、高橋慶太郎、村上雄紀、嘉島伸、盛一健太郎、安藤勝祥、田邊裕貴、水上裕輔	早期発見が可能であったクローン病を背景としたcolitic cancerの1例	第118回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	札幌	2019年3月3日
石垣憲一、佐藤允洋、齋藤豪志、村上雄紀、岩間琢哉、久野木健仁、高橋慶太郎、安藤勝祥、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、生田克哉、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	多発性骨髄腫に合併し腸重積をきたした小腸形質細胞腫の一例	第124回日本消化器病学会北海道支部例会、第118回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	札幌	2019年3月2日
上野伸展、小林祐、村上雄紀、岩間琢哉、久野木健仁、佐々木貴弘、高橋慶太郎、安藤勝祥、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	クローン病におけるMR-enterographyと小腸カプセル内視鏡の相関性と最適化に関する検討	第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会	佐賀	2019年2月3日
安藤勝祥、藤谷幹浩、小西弘晃、上野伸展、奥村利勝	腸炎モデルマウスにおけるRNA結合蛋白hnRNP A1の腸管粘膜修復作用	第55回日本消化器免疫学会	福岡	2018年12月18日
安藤勝祥、藤谷幹浩、奥村利勝	ワークショップ「消化管粘膜障害・修復研究の最前線」小腸障害モデルマウスにおけるRNA結合蛋白hnRNP A1の粘膜修復作用	第46回日本潰瘍学会	名古屋	2018年12月1日
藤谷幹浩、奥村利勝	ミニシンポジウム「乳酸菌由来長鎖ポリリン酸による腸バリア機能増強作用と新規治療への応用」	第46回日本潰瘍学会	名古屋	2018年12月1日
上野伸展、藤谷幹浩、奥村利勝	顆粒球除去療法(GMA)の効果予測における便中カルプロテクチン測定の有効性	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
村上雄紀、上野伸展、小林裕、岩間琢哉、久野木健仁、佐々木貴弘、高橋慶太郎、安藤勝祥、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	脾腫による胃静脈瘤形成および汎血球減少を呈したクローン病の一例	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
小林裕、上野伸展、村上雄紀、岩間琢哉、久野木健仁、佐々木貴弘、高橋慶太郎、安藤勝祥、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	早期発見が可能であったクローン病を背景としたColitic cancerの1例	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
安藤勝祥、小林裕、村上雄紀、岩間琢哉、佐々木貴弘、久野木健仁、高橋慶太郎、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	手術前後のサルコペニア・内臓脂肪量の変化とクローン病術後経過に関する検討	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
小林 裕、井尻学見、盛一健太郎、齋藤成亮、岩間琢哉、高橋慶太郎、安藤勝祥、野村好紀、上野伸展、嘉島 伸、藤谷幹浩、奥村利勝	通常内視鏡およびAFIによる潰瘍性大腸炎の再燃予測	JDDW2018(第96回日本消化器内視鏡学会総会)	神戸	2018年11月3日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
藤谷幹浩、盛一健太郎、奥村利勝	シンポジウム6「炎症性腸疾患における内視鏡的重症度分類とその意義」通常・拡大観察、AFIによる潰瘍性大腸炎の重症度評価	JDDW2018(第96回日本消化器内視鏡学会総会)	神戸	2018年11月2日
嘉島伸、小林裕、岩間拓哉、高橋慶太郎、安藤勝祥、上野伸展、盛一健太郎、藤谷幹浩、奥村利勝	炎症性腸疾患診療における通院距離と入院頻度・期間および手術頻度との関連性	JDDW2018(第60回日本消化器病学会大会)	神戸	2018年11月1日
上野伸展、藤谷幹浩、奥村利勝	統合プログラム2(W)「腸内細菌叢の制御による消化器疾患の治療の試み」菌由来活性物質である長鎖ポリリン酸の潰瘍性大腸炎患者に対する臨床試験	JDDW2018	神戸	2018年11月1日
安藤勝祥、小林裕、村上雄紀、佐藤裕基、岩間琢哉、久野木健仁、高橋慶太郎、河端秀賢、林明宏、上野伸展、後藤拓磨、嘉島伸、笹島順平、盛一健太郎、田邊裕貴、藤谷幹浩、奥村利勝	内臓脂肪と腸腰筋肉量の変化からみたクローン病術後長期経過の検討	JDDW2018(第60回日本消化器病学会大会)	神戸	2018年11月1日
藤谷幹浩	通常・拡大・自家蛍光内視鏡およびMRIによる炎症性腸疾患の重症度診断	第36回日本大腸検査学会総会	岩手	2018年10月13日
久野木健仁、安藤勝祥、田邊裕貴、小林裕、村上雄紀、岩間琢哉、高橋慶太郎、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、水上裕輔、藤谷幹浩、奥村利勝、小野裕介	Crohn病に合併した痔瘻瘻の一例 -遺伝子解析の結果も含めて-	第123回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2018年9月23日
上野伸展、小林裕、岩間琢哉、高橋慶太郎、安藤勝祥、嘉島伸、盛一健太郎、藤谷幹浩、島本悦宏、奥村利勝	クローン病発症後11年で発生したColitic cancerの一例	第16回日本臨床腫瘍学会学術集会	神戸	2018年7月19日
上野伸展、藤谷幹浩、奥村利勝	ワークショップ4「カプセル内視鏡診療の現状と将来」クローン病の治療戦略におけるカプセル内視鏡の有用性と適正な使用法の検討	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018年5月10日
Matsuoka K, Naganuma M, Tanida S, Kitamura K, Matsui T, Arai M, Fujiya M, Horiki N, Nebiki H, Kinjo F, Miyazaki T, Matsumoto T, Esaki M, Mitsuyama K, Saruta M, Ido A, Hojo S, Takenaka O, Oketani K, Imai T, Tsubouchi H, Hibi T, Kanai T.	Efficacy and safety of anti-fractalkine monoclonal antibody, E6011, in patients with Crohn's Disease who had lost response to anti-TNFalpha agents : A multicentre, open-label, Phase 1/2 study	ECCO2018	Vienna	2018年2月18日
Moriichi K, Fujiya M, Sugiyama Y, Iwama T, Ijiri M, Tanaka K, Takahashi K, Ando K, Nomura Y, Ueno N, Kashima S, Inaba Y, Ito T, Okumura T.	Efficacy of quantitated autofluorescence imaging endoscopy in patients with ulcerative colitis: A multicenter study	AIBD2017	Orlando	2017年11月19日
Ando K, Fujiya M, Nomura Y, Ueno N, Inaba Y, Sugiyama Y, Iwama T, Ijiri M, Takahashi K, Tanaka K, Goto T, Kashima S, Sasajima J, Moriichi K, Mizukami Y, Yamada S, Nakase H, Okumura T.	The incidence and risk factors of venous thromboembolism in Japanese inpatients with inflammatory bowel disease: A retrospective and prospective study	AIBD2017	Orlando	2017年11月19日
Konishi H, Fujiya M, Ijiri M, Tanaka K, Fujibayashi S, Goto T, Kashima S, Ando K, Takahashi K, Ueno N, Sasajima J, Moriichi K, Tanaka H, Ikuta K, Okumura T.	Ferrichrome, a tumor suppressive molecule derived from Lactobacillus casei, inhibits the progression of colorectal cancer via the endoplasmic reticulum stress pathway.	DDW 2017 (AGA)	Chicago	2017年5月6日
杉山 雄哉、嘉島 伸、岩間 琢哉、佐藤 裕基、岡田 哲弘、井尻 学見、田中 一之、高橋慶太郎、安藤 勝祥、林 明宏、河端 秀賢、野村 好紀、上野 伸展、後藤 拓磨、笹島順平、高氏 修平、盛一 健太郎、水上 裕輔、藤谷 幹浩、奥村 利勝	QOL の観点から検討したインフリキシマブバイオシミュラー投与の妥当性	第121回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2018年3月4日
杉山雄哉、上野伸展、岩間琢哉、田中一之、高橋慶太郎、野村好紀、嘉島伸、盛一健太郎、藤谷幹浩、奥村利勝	インフリキシマブバイオシミュラー投与におけるクローン病患者のQOL から見た妥当性の検討	第8回日本炎症性腸疾患学会	東京	2017年12月1日
上野伸展、杉山雄哉、岩間琢哉、井尻学見、田中一之、高橋慶太郎、安藤勝祥、野村好紀、嘉島伸、盛一健太郎、藤谷幹浩、奥村利勝	顆粒球除去療法の効果予測マーカーとしての便中カルプロテクチン測定の意義	第8回日本炎症性腸疾患学会	東京	2017年12月1日
杉山雄哉、嘉島伸、岩間琢哉、井尻学見、田中一之、高橋慶太郎、安藤勝祥、野村好紀、上野伸展、盛一健太郎、藤谷幹浩、奥村利勝	潰瘍性大腸炎における炎症状態評価に有用なCT重症度 score の検討	JDDW2017(第59回日本消化器病学会)	福岡	2017年10月13日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
上野伸展、岩間琢哉、井尻学見、田中一之、高橋慶太郎、安藤勝祥、野村好紀、嘉島伸、盛一健太郎、藤谷幹造、奥村利勝	便中カルプロテクチンを用いた顆粒球除去療法の効果予測に関する検討	JDDW2017 (第 59 回日本消化器病学会)	福岡	2017 年 10 月 13 日
安藤勝祥、野村好紀、杉山雄哉、岩間琢哉、井尻学見、田中一之、高橋慶太郎、上野伸展、嘉島伸、盛一健太郎、藤谷幹造、奥村利勝	炎症性腸疾患入院患者における静脈血栓塞栓症の発症頻度とリスク層別化についての検討	JDDW2017 (第 59 回日本消化器病学会)	福岡	2017 年 10 月 13 日
井尻学見、藤谷幹造、上野伸展、奥村利勝	乳酸菌由来フェリクロームによる抗腫瘍メカニズムの解析	第 54 回日本消化器免疫学会総会	東京	2017 年 9 月 28 日
上野伸展、杉山雄哉、岩間琢哉、岡田哲弘、井尻学見、田中一之、高橋慶太郎、河端秀賢、林明宏、安藤勝祥、野村好紀、嘉島伸、後藤拓磨、笹島順平、盛一健太郎、水上裕輔、藤谷幹造、奥村利勝	当院におけるクローン病に対するカプセル内視鏡の使用成績とその有用性に関する検討	第 115 回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	札幌	2017 年 9 月 3 日
高氏修平、嘉島伸、上野伸展、五十嵐将、杉山雄哉、佐藤裕基、岩間琢哉、岡田哲弘、井尻学見、高橋慶太郎、田中一之、安藤勝祥、川端秀賢、林明宏、野村好紀、笹島順平、盛一健太郎、水上裕輔、藤谷幹造、奥村利勝、垂石正樹	ビタミン K 欠乏により出血傾向を示したクローン病の 1 例	第 121 回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2017 年 9 月 3 日
稲場勇平、佐々木貴弘、杉山隆治、助川隆士、小澤賢一郎、垂石正樹、斉藤裕輔、藤谷幹造、奥村利勝	難治性クローン病における術後吻合部潰瘍の特徴と予後の検討	第 121 回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2017 年 9 月 3 日
盛一健太郎、杉山雄哉、岩間琢哉、佐藤裕基、岡田哲弘、井尻学見、田中一之、高橋慶太郎、河端秀賢、林明宏、安藤勝祥、野村好紀、上野伸展、嘉島伸、後藤拓磨、笹島順平、高氏修平、水上裕輔、藤谷幹造、奥村利勝	内視鏡非専門医における潰瘍性大腸炎の活動性診断能の検討	第 115 回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	札幌	2017 年 9 月 2 日
藤谷幹造	創薬シンポジウム 4「薬理学的アカデミア研究から医師主導治験への橋渡し」長鎖ポリリン酸による潰瘍性大腸炎に対する基礎研究～医師主導治験	生体機能と創薬シンポジウム 2017	京都	2017 年 8 月 25 日
藤谷幹造	シンポジウム 13 臨床応用された腸内細菌研究の進歩 乳酸菌由来分子による腸炎治療	第 17 回日本抗加齢医学会総会	東京	2017 年 6 月 3 日
安藤勝祥、藤谷幹造	潰瘍性大腸炎における Ulcerative Colitis Endoscopic Index of Severity(UCEIS)と拡大内視鏡所見を用いた疾患活動性評価と再燃予測に関する検討	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
Namiko Hoshi	Therapeutic Management update for IBD in Japan	The Conference of Qingdao Digestive Disease in 2019	青島	2019 年 6 月 22 日
Namiko Hoshi, Kengo Sasaki, Jun Inoue, Daisuke Sasaki, Itsuko Fukuda, Yuzo Kodama, Ro Osawa	Pathological intestinal environmental status of ulcerative colitis detected by in vitro human colonic microbiota culture system	The 7 th Asian Organization for Crohn's and Colitis	台湾	2019 年 6 月 15 日
Namiko Hoshi	Evaluation of Impaired Intestinal Environment of Ulcerative Colitis Patients using in vitro Culture System of Human Intestinal Microbiota Model	Qingdao Digestive Disease Summit Forum	青島	2018 年 11 月 17 日
Namiko Hoshi	Evaluation of Impaired Intestinal Environment of Ulcerative Colitis Patients using in vitro Culture System of Human Intestinal Microbiota Model	The 7 th Qingdao Sino-Japanese Academic Exchange Meeting on Digestive Endoscopy	青島	2018 年 11 月 16 日
Namiko Hoshi, Takafumi Otsuka, Makoto Ooi, Daisuke Watanabe, Haruka Yamairi, Yuna Koo, Chika Wakahara, Masaru Yoshida, Yuzo Kodama	Comparison of long-term data of Infliximab vs Tacrolimus for the treatment of moderate to severe ulcerative colitis	The 8 th Asian Organization for Crohn's and Colitis	上海	2018 年 6 月 23 日
大井充、星奈美子、児玉裕三	生物学的製剤投与中の炎症性腸疾患患者における妊娠・出産の経験	第 15 回日本消化管学会総会	佐賀	2019 年 2 月
星奈美子、佐々木建吾、井上潤、佐々木大介、福田伊津子、大澤朗	単槽培養系ヒト大腸細菌叢モデルを利用した潰瘍性大腸炎の病態評価の検討	第 22 回腸内細菌学会	東京	2018 年 5 月

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
大塚崇史, 大井充, 星奈美子	潰瘍性大腸炎(UC)に対する Infliximab(IFX)と Tacrolimus(TAC)の 長期予後の比較検討	第8回日本炎症性腸疾患 学会	東京	2017年12月1日
足立聡一郎, 星奈美子, 井上潤, 安富栄一郎, 大塚崇史, Ramesh Dhakhwa, 王梓, 孔玲玲, 渡 邊大輔, 大井充, 吉田優	複数の腸炎モデルマウスに対する漢方 薬青黛の効果の検討	第8回日本炎症性腸疾患 学会	東京	2017年12月1日
Matsuura M, Yamamoto S, Honzawa Y, Yamada S, Okabe M, Kitamoto H, Seno H.	Long-term efficacy of combined therapies with corticosteroids and thiopurines (accelerated step- care) for induction and remission in biologic-naïve Crohn's disease patients.	The 7 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Taipei	2019年6月15日
松浦 稔	炎症性腸疾患 診断と治療の update 基本からリスク管理まで.	第37回日本消化器内視鏡 学会近畿セミナー	大阪	2019年12月8日
齋藤大祐, 松浦 稔, 和田晴香, 尾崎良, 菊池翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井 達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 櫻庭彰人, 林 田真理, 三好潤, 久松理一	潰瘍性大腸炎に対する Vedolizumab に よる寛解導入療法の治療効果予測に関 する検討.	第10回 日本炎症性腸疾 患学会学術集会	福岡	2019年11月29日
齋藤大祐, 松浦 稔, 尾崎 良, 菊池翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井達也, 三浦 みき, 櫻庭彰人, 林田真理, 三好 潤, 仲 瀬裕志, 久松理一.	当院における MEFV 遺伝子関連腸炎の 臨床的特徴に関する検討.	第57回日本小腸学会学術 集会	大阪	2019年11月9日
林田真理, 三好 潤, 和田晴香, 尾崎良, 菊池翁輝, 徳永創太郎, 箕輪慎太郎, 三井 達也, 三浦みき, 齋藤大祐, 櫻庭彰人, 松 浦 稔, 久松理一.	ペーチェット病の小腸病変に対するカ プセル内視鏡検査と便中カルプロテク チン測定の有用性.	第57回日本小腸学会学術 集会	大阪	2019年11月9日
山田 聡, 山本修司, 本澤有介, 北本博 規, 岡部 誠, 松浦 稔, 妹尾 浩.	MEFV 遺伝子の SNP がクローン病臨床経 過に及ぼす影響についての検討.	第56回日本消化管免疫学 会学会総会	京都	2019年8月1日
我妻康平, 飯田智哉, 南 尚希, 松浦 稔, 平山大輔, 川上賢太郎, 野島正寛, 池内浩 基, 廣田誠一, 白川龍太郎, 堀内久徳, 仲 瀬裕志.	低分子量 GTP タンパク質 Rai とインフ ラマソームとの関連から見た炎症性大 腸癌発癌機序の解明.	第56回日本消化管免疫学 会学会総会	京都	2019年8月1日
Okabe M, Matsuura M, Yamamoto S, Yamada S, Kitamoto H, Honzawa Y, Seno H.	Efficacy and safety of thiopurine and allopurinol cotherapy in thiopurine-naïve Japanese UC patients.	The 6 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Shanghai	2018年6月23日
Honzawa Y, Matsuura M, Yamamoto S, Okabe M, Kitamoto H, Yamada S, Seno H.	Endoscopic findings to predict therapeutic efficacy of anti-TNF agents on patients with ulcerative colitis.	The 6 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Shanghai	2018年6月23日
Kitamoto H, Yamamoto S, Honzawa Y, Yamada S, Okabe M, Seno H, Matsuura M.	Impact of advance in medical therapies on clinical outcome in patients with ulcerative colitis concomitant cytomegalovirus infection.	The 6 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Shanghai	2018年6月23日
松浦 稔	「IBD 治療薬」抗 TNF- α 抗体療法	日本炎症性腸疾患学会 教 育セミナー	京都	2018年11月23日
北本博規, 松浦 稔, 岡部 誠, 山田 聡, 本澤有介, 山本修司, 妹尾 浩.	サイトメガロウイルス再活性化を伴っ た潰瘍性大腸炎の大腸内視鏡所見と臨 床的背景に関する検討.	第9回日本炎症性腸疾患 学会学術集会	京都	2018年11月22日
山田 聡, 松浦 稔, 北本博規, 岡部 誠, 本澤有介, 山本修司, 妹尾 浩.	活動期潰瘍性大腸炎の大腸粘膜にお ける Epstein-Barr virus 再活性化につ いての検討	第9回日本炎症性腸疾患 学会学術集会	京都	2018年11月22日
松浦 稔, 山本修司, 妹尾 浩	Bio ナイブ Crohn 病に対するステロ イドおよびチオプリン製剤による早期 強化療法 (Accelerated step-up) の 長期治療成績	第26回日本消化器関連学 会週間 (JDDW 2018)	神戸	2018年11月3日
Matsuura M, Nakase H, Andoh A, Tsujiikawa T, Naito Y, Kawamura T, Katsushima S, Kusaka T, Okuyama Y, Obata H, Kogawa T.	Long-term Efficacy and Safety of Thiopurine Maintenance Treatment in Biologic-Naïve Patients with Ulcerative Colitis:A Retrospective Multicenter Cohort from JAPAN.	The 5 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017年6月17日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Okabe M, <u>Matsuura M</u> , Yamamoto S, Honzawa Y, Koshikawa Y, Yamada S, Kitamoto H, Seno H.	Early induction of immunosuppressive agents prior to endoscopic balloon dilatation contributes to avoidance of surgery in patients with Crohn's disease.	The 5 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017年6月17日
Honzawa Y, <u>Matsuura M</u> , Yamamoto S, Yamada S, Koshikawa Y, Okabe M, Kitamoto H, Seno H	Long-term outcome of patients with ulcerative colitis after initial tacrolimus rescue therapy.	The 5 th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis	Seoul	2017年6月17日
北本博規、 <u>松浦 稔</u> 、山本修司、岡部 誠、 <u>越川頼光</u> 、山田 聡、本澤有介、妹尾 浩	CMV感染合併潰瘍性大腸炎の臨床転帰に関する検討	第8回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017年12月1日
岡部 誠、 <u>松浦 稔</u> 、妹尾 浩	クローン病の腸管狭窄例における内視鏡的拡張術後の手術回避に関する検討	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20日
山田 聡、 <u>松浦 稔</u> 、本澤有介、岡部 誠、 <u>越川頼光</u> 、南 尚希、山本修司、仲瀬裕志、妹尾 浩	寛解期クローン病患者におけるビタミンK不足と腸内細菌叢の関連性についての検討	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20日
山本修司、 <u>松浦 稔</u> 、妹尾 浩.	潰瘍性大腸炎患者に対するインフリキシマブ治療の長期予後の検討 - インフリキシマブにチオプリン併用は必要か? -	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20日
Yoshioka S, <u>Mitsuyama K</u> , Hirai F, Esaki M, Araki T, Morita M, Yoshimura T, Mori A, Yamauchi R, Kuwaki K, Torimura T	Usefulness of ACP 353 (anti-Crohn's disease peptide 353) as a new biomarker in the diagnosis of inflammatory bowel disease: A multicenter study	27th United European Gastroenterology Week (UEGW 2019)	Barcelona, Spain	2019年10月23日
Yamauchi R, <u>Mitsuyama K</u> , Yamasaki H, Araki T, Morita M, Yoshimura T, Mori A, Yoshioka S, Torimura T	Expression Profiling of Transient Receptor Potential Channels in Peripheral Blood from Inflammatory Bowel Disease Patients	27th United European Gastroenterology Week (UEGW 2019)	Barcelona, Spain	2019年10月22日
Araki T, Yamauchi R, Yamasaki H, Morita M, Yoshimura T, Mori A, Fukunaga S, Kuwaki K, Yoshioka S, <u>Mitsuyama K</u> , Torimura T	Self-assembling peptide hydrogel enhances intestinal barrier function in topical TNBS model in rats	27th United European Gastroenterology Week (UEGW 2019)	Barcelona, Spain	2019年10月22日
Shindo Y, <u>Mitsuyama K</u> , Yamasaki H, Imai T, Kaida Y, Shibata R, Yoshioka S, Torimura T	シンポジウム(4) Apheresis therapy for inflammatory bowel disease - Past, Present, Future-2 Safety and efficacy of single needle leucocyte apheresis for ulcerative colitis: A retrospective analysis	The 12th World Congress of International Society for Apheresis & The 40 th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis2019 (ISFA & JSFA 2019)	Kyoto, Japan	2019年10月18日
Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi K, Ishihara J, Kurei S, <u>Mitsuyama K</u>	DIAGNOSTIC ACCURACY of serum proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibodies FOR pAediatric PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: a prospective multicenter study in Japan	5th International Symposium on Paediatric Inflammatory Bowel Disease	Budapest, Hungary	2019年9月11日
酒見亮介、吉岡慎一郎、山内亨介、森 敦、吉村哲広、森田 俊、荒木俊博、桑木光太郎、溝口充志、宗 祐人、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	炎症性腸疾患患者における血中 Interleukin-22 (IL22) および IL22-binding protein (IL22BP)	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
水落建輝、新井勝大、工藤孝広、南部隆亮、田尻 仁、青松友規、阿部直紀、垣内俊彦、橋本邦生、十河 剛、高橋美智子、恵谷ゆり、高木祐吾、小西健一郎、石原潤、樽井俊介、 <u>光山慶一</u>	小児潰瘍性大腸炎の診断における血清 PR3-ANCA の有用性：前方視的多施設研究	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
衣笠哲史、山崎 博、石原 潤、水落建輝、溝口充志、秋葉 純、田中美穂、南小百合、高木考実、鳥越優子、石橋幹雄、多賀百合、今井徹朗、 <u>光山慶一</u> 、赤木由人	IBD患者に対する Total care を目的とした多職種サポートチームの活動	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD)	福岡市	2019年11月29日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
山崎 博、光山慶一、衣笠哲史、石原潤、水落建輝、溝口充志、秋葉 純、田中美穂、南小百合、高木考実、鳥越優子、石橋幹雄、多賀百合、今井徹郎、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、赤木由人、鳥村拓司	久留米大学炎症性腸疾患センター市民公開講座で実施したアンケート調査に関する検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
森 敦、吉岡慎一郎、桑木光太郎、山内亨介、吉村哲広、森田 俊、荒木俊博、酒見亮介、光山慶一、鳥村拓司	炎症性腸疾患患者における血清カルプロテクチンの検討	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田 俊、森 敦、山内亨介、水落建輝、光山慶一、鳥村拓司	小児～若年炎症性腸疾患における内視鏡的活動度の指標としての便中カルプロテクチンの意義	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
鶴田耕三、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、光山慶一	活動期炎症性腸疾患における新規治療薬 vedplizumab の有用性	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
吉岡慎一郎、森 敦、鶴田耕三、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、山内亨介、山崎博、桑木光太郎、光山慶一	潰瘍性大腸炎における Golimumab 長期有効例の臨床的特徴	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD)	福岡市	2019年11月29日
吉岡慎一郎、光山慶一、鶴田 修	原発性免疫不全症に合併した下部消化管病変の特徴	27th JDDW (第98回日本消化器内視鏡学会総会、第61回日本消化器病学会大会、第57回日本消化器がん検診学会大会)	神戸市	2019年11月23日
吉岡慎一郎、光山慶一、鳥村拓司	新規 IBD 血清抗体マーカーを用いたマルチバイオマーカー診断の有用性：多施設共同研究	27th JDDW (第61回日本消化器病学会大会、第98回日本消化器内視鏡学会総会、第23回日本肝臓学会大会)	神戸市	2019年11月22日
山崎 博、今井徹朗、荒木俊博、森田 俊、吉村哲弘、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、深水 圭、光山慶一、鳥村 拓司	潰瘍性大腸炎に対する single-needle 法を用いた血球成分除去療法 (GMA/LCAP) : 後ろ向き予備的な安全性解析	27th JDDW (第61回日本消化器病学会大会)	神戸市	2019年11月22日
草場喜雄、鶴田 修、永田 務、大内彬弘、中根智幸、福永秀平、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	潰瘍性大腸炎に発生した早期大腸癌の一例	第114回日本消化器病学会九州支部例会 第108回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	宮崎市	2019年11月9日
永田 務、鶴田 修、荒木俊博、長 知徳、草場喜雄、中根智幸、大内彬弘、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	鋸歯状病変を背景に腫瘍化した病変の1例	第114回日本消化器病学会九州支部例会 第108回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	宮崎市	2019年11月9日
久賀征一郎、長田修一郎、森田恭代、長田英輔、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	当院での術前原因診断が困難であった腸閉塞症例の検討	第114回日本消化器病学会九州支部例会 第108回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	宮崎市	2019年11月9日
山内亨介、光山慶一、鳥村拓司	新規蛍光プローブ散布による潰瘍性大腸炎関連腫瘍の内視鏡診断の可能性	第51回日本臨床分子形態学会総会・学術集会	久留米市	2019年9月20日
永田 務、鶴田 修、荒木俊博、長 知徳、草場喜雄、中根智幸、大内彬弘、福永秀平、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	回腸末端腫瘍に対して ESD を施行した1例	第16回拡大内視鏡研究会	東京	2019年9月14日
南 真平、田中寛士、相野 一、白地美紀、梶原雅彦、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	腸重積症を契機に診断された小腸神経鞘腫の症例	第113回日本消化器病学会九州支部例会 第107回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2019年5月25日
福永秀平、吉岡慎一郎、草場喜雄、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、永田 務、徳安秀紀、大内彬弘、向笠道太、秋葉 純、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	青黛服用中に発見され内視鏡的粘膜炎剥離術を行った潰瘍性大腸癌関連腫瘍の一例	第113回日本消化器病学会九州支部例会 第107回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2019年5月25日
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、中根智幸、大内彬弘、福永秀平、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	診断に苦慮した盲腸部粘膜下腫瘍の1例	第113回日本消化器病学会九州支部例会 第107回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2019年5月25日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
吉村哲広、吉岡慎一郎、森田 俊、森敦、山内亨介、桑木光太郎、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司	スニチニブによる薬剤性大腸炎と診断した一例	第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2019 年 5 月 24 日
吉岡慎一郎、吉村哲広、桑木光太郎、森田俊、森 敦、福永秀平、山内亨介、水落建輝、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	若年 IBD 診療における便中カルプロテクチン測定の意義 成人 IBD との比較	第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2019 年 5 月 24 日
井上誠一、菅原脩平、山田康生、後藤諒介、深水 航、柴田 翔、渡邊裕次郎、小林起秋、上野恵里菜、河野弘志、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	A 型インフルエンザ感染症に対するパロキサビルマルボキシリン内服後に発症した急性虚血性大腸炎の 1 例	第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2019 年 5 月 24 日
吉岡慎一郎、光山慶一、鳥村拓司	炎症性腸疾患診断における新規血清バイオマーカーの有用性：多施設共同研究	第 105 回日本消化器病学会総会	金沢市	2019 年 5 月 10 日
Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi K, Ishihara J, Kurei S, Mitsuyama K.	ACP353 as a potential serologic marker for diagnosis of pediatric Crohn's disease: a prospective multicenter study in Japan.	2018 North American Society For Pediatric Gastroenterology, Hepatology & Nutrition annual meeting	Hollywood, Florida, USA	2018 年 10 月 2 日
Maeyama Y, Mitsuyama K, Yoshioka S, Kawano H, Tsuruta O, Torimura T	Prediction of Tumor Grade and Invasion Depth of Colorectal Tumors Through The Scoring of Narrow-Band Imaging Findings	DDW-2018	Washington D.C., USA	2018 年 6 月 2 日
森 敦、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、山内亨介、桑木光太郎、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	当院でのクローン病小腸病変診断における小腸カプセル内視鏡検査の実際	第 12 回日本カプセル内視鏡学会学術集会	佐賀市	2019 年 2 月 3 日
古賀琢真、日高由紀子、吉田裕美、林真樹子、藤本京子、海江田信二郎、岩本一亜、藤田久美、光山慶一、西小森隆太、星野友昭、井田弘明	本邦初の PAC 症候群における臨床的・遺伝的解析	第 2 回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会	東京	2019 年 2 月 3 日
長沼 誠、光山慶一、金井隆典	治療抵抗性潰瘍性大腸炎に対する生薬青黛の有用性	第 46 回日本潰瘍学会	名古屋市	2018 年 12 月 1 日
水落建輝、新井勝大、工藤孝広、南部隆亮、田尻 仁、青松友樹、阿部直紀、垣内俊彦、橋本邦生、十河 剛、高橋美智子、恵谷ゆり、高木祐吾、小西健一郎、石原潤、樽井俊介、光山慶一	新規血清マーカー ACP353 の小児クローン病診断に対する有用性：前方視的多施設研究	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
衣笠哲史、吉田直裕、吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、吉田武史、溝部智亮、光山慶一、藤田文彦、赤木由人	潰瘍性大腸炎患者術後 QOL 評価方法の検討-便中カルプロテクチン測定の意義-	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
畑 啓介、渡邊聡明、味岡洋一、光山慶一、渡辺憲治、花井洋行、仲瀬裕志、国崎玲子、松田圭二、岩切龍一、樋田信幸、田中信治、竹内義明、大塚和朗、村上和成、小林清典、岩男 泰、長堀正和、飯塚文瑛、五十嵐正広、平田一郎、工藤進英、松本主之、上野文昭、渡辺 玄、池上雅博、伊東陽子、大庭幸治、井上永介、友次直輝、武林 亨、杉原健一、鈴木康夫、渡辺守、日比紀文	潰瘍性大腸炎合併大腸癌サーベイランスにおける狙撃生検とランダム生検のランダム化比較試験	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
山崎 博、今井徹朗、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、光山慶一、深水 圭、鳥村拓司	潰瘍性大腸炎に対する single-needle 法を用いた血球成分除去療法 (GCAP/LCAP) の有用性	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
森田 俊、吉岡慎一郎、山崎 博、荒木俊博、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司	活動期潰瘍性大腸炎患者に対するブデゾニド注腸フォーム剤の有用性の検討	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
吉岡慎一郎、平井郁仁、江崎幹宏、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、山崎 博、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司	各種腸疾患における ACP353(Anti-Crohn's disease peptide No.353)血中濃度の測定：多施設共同研究	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
荒木俊博、山崎 博、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、小林 智、光山慶一、鳥村拓司	ラット TNBS 大腸潰瘍モデルにおける自己組織化ハイドロゲルの有用性の検討	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
吉村哲広、桑木光太郎、水落建輝、吉岡慎一郎、山内亨介、森 敦、森田 俊、荒木俊博、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	若年炎症性腸疾患患者における便中カルプロテクチンの有用性	第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都市	2018 年 11 月 22 日
菅原脩平、小林起秋、後藤諒介、深水航、柴田 翔、渡邊裕次郎、山田康生、上野恵里奈、秋山哲司、河野弘志、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司、鶴田 修	腹痛を契機に診断された精巣摘出後の seminoma の一例	第 112 回日本消化器病学会九州支部例会 第 106 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	鹿児島市	2018 年 11 月 9 日
吉岡慎一郎、福永秀平、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、岡部義信、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	当院でのクローン病小腸病変診断マネージメントにおける小腸内視鏡検査の有用性	第 112 回日本消化器病学会九州支部例会 第 106 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	鹿児島市	2018 年 11 月 9 日
渡邊裕次郎、河野弘志、上野恵里奈、伊藤陽平、山田康正、柴田 翔、長 知徳、深水航、後藤諒介、秋山哲司、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	腸閉塞に対するガストログランフィン腸造影の有用性の検討	26th JDDW (第 60 回日本消化器病学会大会)	神戸市	2018 年 11 月 1 日
森 敦、吉岡慎一郎、山崎 博、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、福永秀平、山内亨介、桑木光太郎、鶴田 修、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	当院でゴリムマブを使用した潰瘍性大腸炎患者の臨床背景とその効果	26th JDDW (第 60 回日本消化器病学会大会)	神戸市	2018 年 11 月 1 日
山内亨介、荒木俊博、吉村哲広、森 敦、桑木光太郎、吉岡慎一郎、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	Nivolumab 投与後に大腸炎が認められた当院 3 症例の検討	26th JDDW (第 96 回日本消化器内視鏡学会総会)	神戸市	2018 年 11 月 1 日
吉岡慎一郎、 <u>光山慶一</u> 、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、森 敦、福永秀平、山内亨介、山崎 博、桑木光太郎、鶴田 修、荒木靖三、鳥村拓司	クローン病新規バイオマーカー ACP353 はインフリキシマブ治療と腸管切除に関連する	26th JDDW (第 60 回日本消化器病学会大会)	神戸市	2018 年 11 月 1 日
吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、山内亨介、森 敦、森田 俊、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	クローン病での経口デブソニド製剤の臨床的効果の検討	第 43 回日本大腸肛門病学会九州地方会、第 34 回九州ストーマリハビリテーション研究会	福岡市	2018 年 10 月 6 日
草場喜雄、鶴田 修、永田 務、徳安秀紀、大内彬弘、向笠道太、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	当院における Cold polypectomy の現状と今後	第 43 回日本大腸肛門病学会九州地方会、第 34 回九州ストーマリハビリテーション研究会	福岡市	2018 年 10 月 6 日
向笠道太、鶴田 修、永田 務、徳安秀紀、大内彬弘、草場喜雄、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	抗血栓薬内服の有無における大腸 ESD 後出血の検討	第 43 回日本大腸肛門病学会九州地方会、第 34 回九州ストーマリハビリテーション研究会	福岡市	2018 年 10 月 6 日
福永秀平、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、秋葉 純、衣笠哲史、赤木由人、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	当院で経験した炎症性腸疾患関連腫瘍の特徴とサーベイランス内視鏡の実際	第 43 回日本大腸肛門病学会九州地方会、第 34 回九州ストーマリハビリテーション研究会	福岡市	2018 年 10 月 6 日
草場喜雄、鶴田 修、森田 拓、中根智幸、永田 務、徳安秀紀、大内彬弘、福永秀平、火野坂淳、向笠道太、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	当院における Cold polypectomy の現状と今後	第 26 回日本大腸検査学会九州支部会	福岡市	2018 年 8 月 18 日
山崎 博、今井徹朗、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、 <u>光山慶一</u>	潰瘍性大腸炎に対するシングルニードル法を用いた GMA 療法についての検討	第 13 回九州消化器 GCAP 療法研究会	博多市	2018 年 6 月 30 日
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、中根智幸、大内彬弘、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、向笠道太、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	回腸末端腫瘍に対して ESD を施行した 1 例	第 111 回日本消化器病学会九州支部例会、第 105 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	北九州市	2018 年 6 月 8 日
福永秀平、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、山崎 博、桑木光太郎、岡部義信、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	ショート型シングルパルーン内視鏡を用いた小腸病変診断の有用性	第 95 回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018 年 5 月 10 日
山内亨介、荒木俊博、吉村哲広、森 敦、桑木光太郎、吉岡慎一郎、 <u>光山慶一</u> 、鶴田 修、鳥村拓司	当院の炎症性腸疾患合併妊娠症例における治療と経過	第 104 回日本消化器病学会総会	東京	2018 年 4 月 19 日
Fukunaga S, Kuwaki K, Mitsuyama K, Takedatsu H, Yoshioka S, Yamasaki H, Yamauchi R, Mori A, Tsuruta O, Torimura T	Detection of Calprotectin in Inflammatory Bowel Disease: Fecal and Serum Levels and Immunohistochemical Localization	DDW-2017(Meeting of the American Gastroenterological Association)(AGA)	Chicago, USA	2017 年 5 月 6 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Yamasaki H, Mitsuyama K, Meifu S, Mori A, Yamauchi R, Fukunaga S, Kuwaki K, Yoshioka S, Torimura T	Expression of Transient Receptor Potential Channels in Peripheral Blood Mononuclear Cells from Inflammatory Bowel Disease Patients	DDW-2017(Meeting of the American Gastroenterological Association)(AGA)	Chicago, USA	2017年5月6日
柴田 翔、河野弘志、深水 航、長 知徳、渡邊裕次郎、山田康生、蒲池直紀、小林哲平、上野恵里奈、伊藤陽平、秋山哲司、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	術後再建腸管患者におけるバルーン内視鏡使用下胆道結石の治療成績	第110回日本消化器病学会九州支部例会、第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	那覇市	2017年11月18日
小林哲平、高木孝太、後藤諒介、南 真平、白地美紀、梶原雅彦、小野典之、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	超高齢の上腸間膜動脈閉塞症の1例	第110回日本消化器病学会九州支部例会、第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	那覇市	2017年11月18日
野見山美香、山内亨介、福永秀平、森 敦、山崎 博、吉岡慎一郎、小金丸雅道、秋葉 純、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	リンパ管造影後に蛋白漏出性胃腸症が改善した Turner 症候群の一例	第110回日本消化器病学会九州支部例会、第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	那覇市	2017年11月17日
齊東京祿、山内亨介、有永照子、石田祐介、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	難治性術後胆管炎に続発したと考えられる AA 型腸管アミロイドーシスの一例	第110回日本消化器病学会九州支部例会、第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	那覇市	2017年11月17日
荒木俊博、山内亨介、森 敦、福永秀平、吉岡慎一郎、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司	原発性肺癌に対するニボルマブ投与に起因したと考えられる大腸炎の一例	第110回日本消化器病学会九州支部例会、第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	那覇市	2017年11月17日
吉岡慎一郎、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	エビデンスに基づいて再考した潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡検査の検討	第110回日本消化器病学会九州支部例会、第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	那覇市	2017年11月17日
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、向笠道太、秋葉 純、河野弘志、光山慶一、鳥村拓司	鋸歯状病変を併存した大腸癌の臨床病理学的特徴	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡市	2017年11月10日
光山慶一、吉岡慎一郎、鶴田 修	潰瘍性大腸炎におけるサーベイランス大腸内視鏡-ランダム生検と狙撃生検の比較を中心に	25th JDDW (第59回日本消化器病学会大会、第15回日本消化器外科学会大会 合同)	福岡市	2017年10月14日
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、中根智幸、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	拡大内視鏡観察が SSA/P with cytological dysplasia の診断に有用であった1例	第27回大腸 IIC 研究会	札幌市	2017年9月17日
草場喜雄、鶴田 修、永田 務、森田拓、中根智幸、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	腫瘍径7mmの c病変の1例	第27回大腸 IIC 研究会	札幌市	2017年9月17日
中根智幸、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、永田 務、徳安秀紀、向笠道太、河野弘志、光山慶一、鳥村拓司	肛門管癌(扁平上皮癌)に対して内視鏡的切除術を施行した2例	第318回日本内科学会九州地方会	鹿児島市	2017年8月5日
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、前山泰彦、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司	貧血精査にて指摘された collagenous colitis の1例	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日
徳安秀紀、鶴田 修、草場喜雄、永田 務、進藤洋一郎、火野坂淳、前山泰彦、向笠道太、秋葉 純、光山慶一、鳥村拓司	急性骨髄性白血病に対する移植後に併発した消化管 GVHD の1例	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日
福永秀平、桑木光太郎、光山慶一、竹田津英稔、吉岡慎一郎、山崎 博、山内亨介、森 敦、鶴田 修、鳥村拓司	炎症性腸疾患における便中カルプロテクチン測定の有用性	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日
南 真平、田中寛士、渡邊裕次郎、白地美紀、梶原雅彦、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司	診断および治療方針決定に難渋した非特異性大腸炎の一症例	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日
草場喜雄、鶴田 修、永田 務、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、前山泰彦、向笠道太、秋葉 純、光山慶一、鳥村拓司	便潜血陽性で施行した大腸内視鏡検査で赤痢アメーバ症の診断となった1例	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、前山泰彦、向笠道太、秋葉 純、光山慶一、鳥村拓司	自然脱落を来した大腸癌の1例	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日
吉岡慎一郎、光山慶一、森 敦、福永秀平、山内亨介、桑木光太郎、竹田津英稔、秋葉 純、衣笠哲史、赤木由人、鶴田修、鳥村拓司	サーベイランス内視鏡におけるヒト潰瘍性大腸炎(UC)関連腫瘍の詳細ーマウスDSS腸炎モデル関連腫瘍の特徴も含めて	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月20日
荒木俊博、森 敦、福永秀平、山内亨介、山崎 博、吉岡慎一郎、有永照子、井出達也、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司	B型肝炎ウイルス無症候性キャリアに発症した難治性潰瘍性大腸炎の一例	第109回日本消化器病学会九州支部例会、第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同	福岡市	2017年5月19日
吉岡慎一郎、竹田津英稔、光山慶一、森敦、福永秀平、山内亨介、山崎 博、桑木光太郎、柳 忠宏、河野弘志、鶴田 修、鳥村拓司	当院における小児大腸内視鏡検査の現状-前処置や鎮静における実際と工夫-	第93回日本消化器内視鏡学会総会	大阪市	2017年5月13日
山内亨介、米湊 健、光山慶一、竹田津英稔、山崎 博、吉岡慎一郎、桑木光太郎、福永秀平、森 敦、秋葉 純、鶴田 修、鳥村拓司	マウス大腸炎関連腫瘍における実体顕微鏡を用いた観察: pit pattern の評価	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月22日
山崎 博、森 敦、山内亨介、福永秀平、桑木光太郎、吉岡慎一郎、光山慶一、鳥村拓司	炎症性腸疾患患者の末梢血単核球におけるTransient receptor potential (TRP) チャンネルの発現	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月20日
Naoki Yoshimura, Soh Okano, Minako Sako, Masakazu Takazoe	Efficacy and Safety of Tofacitinib in Patients with Moderate to Severe Ulcerative Colitis: A Real-World Retrospective Study	第15回欧州クローン病・大腸炎会議(ECCO2020)	Vienna	2020年2月14日
吉村 直樹、酒匂美奈子、高添 正和	難治性潰瘍性大腸炎に対する新規薬剤トファシチニブの有効性の検討	JDDW2019	神戸	2019年11月21日
吉村 直樹、岡野 荘、酒匂美奈子、高添 正和	活動期クローン病に対する新規生物学的製剤ウスチキヌマブの有効性の検討	日本消化器病学会 関東支部第356回例会	東京	2019年9月21日
酒匂美奈子、吉村 直樹、高添 正和	クローン病患者における妊娠中のインフリキシマブ投与と新生児の血中濃度について	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月11日
吉村 直樹、酒匂美奈子、高添 正和	難治性潰瘍性大腸炎に対する新規生物学的製剤ゴリムマブの有効性の検討	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019年5月9日
Naoki Yoshimura, Soh Okano, Minako Sako, Masakazu Takazoe	Efficacy of Once a Day Multi Matrix Mesalamine Formulation, Lialda in Patients with Active Mild to Moderate Ulcerative Colitis after Inadequate Response to the pH-Dependent Release Mesalamine Formulation, Asacol	第13回欧州クローン病・大腸炎会議(ECCO2018)	Vienna	2018年2月15日
岡野 荘、酒匂美奈子、吉村 直樹、高添 正和	内視鏡的粘膜治癒を認める潰瘍性大腸炎における組織学的治癒の有無と臨床的所見の検討	第9回日本炎症性腸疾患学会学術集会	京都	2018年11月22日
岡野 荘、酒匂美奈子、吉村 直樹、高添 正和	巨大結腸症を呈した重症・劇症潰瘍性大腸炎に対する内科治療の有効性と限界の検討	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
吉村 直樹、岡野 荘、酒匂美奈子、高添 正和	潰瘍性大腸炎に対するバイオシミラーの有効性と安全性の検討	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018年11月9日
酒匂美奈子、吉村 直樹、高添 正和	クローン病におけるインフリキシマブの効果減弱症例に対する増量の効果と難治例に対する減量・期間短縮投与	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月21日
岡野 荘、酒匂美奈子、吉村 直樹、高添 正和	活動期潰瘍性大腸炎に対する新規5-ASA製剤リアルダの有効性の検討	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018年4月20日
Soh Okano, Naoki Yoshimura, Minako Sako, Masakazu Takazoe	Comparative Short and Long Term Efficacy of Infliximab vs Adalimumab in Patients with Active Ulcerative Colitis: Retrospective Evaluation Undertaking	米国消化器病週間(DDW2017)	Chicago	2017年5月7日
小林 美緒、岡野 荘、酒匂美奈子、吉村 直樹、畑田 康政、高添 正和	潰瘍性大腸炎と鑑別を要した高齢発症の大腸型クローン病の一例	第638回内科学会関東支部例会	東京	2017年12月9日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
岡野 荘、酒匂美奈子、吉村 直樹、高添 正和	当院における潰瘍性大腸炎を背景とした Dysplasia と Colitic Cancer の検討	第 8 回日本炎症性腸疾患学会学術集会	東京	2017 年 12 月 1 日
吉村 直樹、岡野 荘、酒匂美奈子、高添 正和	活動期潰瘍性大腸炎に対する新規 5-ASA 製剤リアルダの有効性の検討	第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017 年 11 月 11 日
吉村 直樹、酒匂美奈子、高添 正和	難治性潰瘍性大腸炎に対する TNF 抗体療法の有効性の検討	第 103 回日本消化器病学会総会	東京	2017 年 4 月 20 日
K. Watanabe, M. Kawai, R. Koshiba, K. Fujimoto, K. Kojima, K. Kaku, N. Kinoshita, T. Sato, K. Kamikozuru, Y. Yokoyama, T. Miyazaki, N. Hida, S. Nakamura	Efficacy including rapid response and safety of tofacitinib in Japanese patients with ulcerative colitis: A preliminary investigation in a specialised IBD centre	The 15th Congress of European Crohn 's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020 年 2 月 14 日
K. Fujimoto, K. Watanabe, K. Hori, K. Kaku, N. Kinoshita, R. Koshiba, K. Kojima, T. Sato, M. Kawai, K. Kamikozuru, Y. Yokoyama, T. Miyazaki, N. Hida, S. Nakamura	Evaluation of histological inflammation by a novel image enhanced endoscopy technique, dual red imaging, in patients with ulcerative colitis: Preliminary study	The 15th Congress of European Crohn 's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020 年 2 月 14 日
T. Sato, K. Kojima, R. Koshiba, K. Fujimoto, M. Kawai, K. Kamikoduru, Y. Yokoyama, T. Miyazaki, K. Watanabe, N. Hida, S. Nakamura	Comparison of therapeutic effects between groups of thiopurine alone and combination of thiopurine with 5-ASA after remission introduced by oral tacrolimus for patients with severe ulcerative colitis	The 15th Congress of European Crohn 's and Colitis Organisation	Vienna, Austria	2020 年 2 月 14 日
Kenji Watanabe	The optimization of biologic treatment in UC: maximizing efficacy and safety	The Forum 6th China-Japan GI Medical Exchange Forum	中国、貴陽	2019 年 9 月 27 日
Kenji Watanabe	Small Bowel Endoscopy for IBD, When and How	The 7th Annual Meeting of AOCC, Endoscopy Workshop I (Diagnostic, Therapeutic, Colitis Screen Endoscopy in IBD)	台北、台湾	2019 年 6 月 15 日
Kenji Watanabe, Motohiro Esaki, Shiro Oka, Fumio Shimamoto, Masakazu Nishishita, Takumi Fukuchi, Shigehiko Fujii, Fumihito Hirai, Kazuki Kakimoto, Takuya Inoue, Ryoichi Nozaki, Hiroshi Kashida, Ken Takeuchi, Naoki Ohmiya, Masayuki Saruta, Shoichi Saito, Yutaka Saito, Shinji Tanaka, Yoichi Ajioka, Hisao Tajiri	THE DETECTION WITH TARGETD BIOPSY AND CHARACTERIZATION OF NEOPLASTIC LESIONS BY MAGNIFYING CHROMOENDOSCOPY AND NBI IN SURVEILLANCE COLONOSCOPY OF PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: A SUB-ANALYSIS OF THE NAVIGATOR STUDY	Digestive Disease Week 2019	San Diego, US	2019 年 5 月 20 日
Toshiyuki Sato, Motoi Uchino, Ryoji Koshiba, Kentaro Kojima, Koji Fujimoto, Mikio Kawai, Koji Kamikozuru, Yoko Yokoyama, Tetsuya Takagawa, Nobuyuki Hida, Kenji Watanabe, Hiroki Ikeuchi, Shiro Nakamura	CLINICAL CHARACTERISTICS AND RISK FACTORS FOR PNEUMOCYSTIS JIROVECI1 PNEUMONIA IN PATIENTS WITH INFLAMMATORY BOWEL DISEASE.	Digestive Disease Week 2019	San Diego, US	2019 年 5 月 19 日
Yoko Yokoyama, Kenji Watanabe, Kentaro Kojima, Koji Fujimoto, Ryoji Koshiba, Toshiyuki Sato, Mikio Kawai, Koji Kamikozuru, Tetsuya Takagawa, Takako Miyazaki, Nobuyuki Hida, Shiro Nakamura	INVESTIGATIONS OF THE CHARACTERISTICS AND ANTI-TNF AGENTS FOR OPTIMIZING TREATMENT IN PEDIATRIC PATIENTS WITH NEW-ONSET CROHN 'S DISEASE	Digestive Disease Week 2019	San Diego, US	2019 年 5 月 18 日
渡辺憲治	小腸内視鏡によるクローン病診療の最適化	第 13 回 日本カプセル内視鏡学会学術集会 ランチョンセミナー2	姫路市	2020 年 2 月 9 日
渡辺憲治、中村正直、大宮直木、藤原靖弘	パテンシーカプセルによる消化管開通性評価時間延長の可能性	第 13 回 日本カプセル内視鏡学会学術集会 シンポジウム-4 小腸カプセル内視鏡の未来	姫路市	2020 年 2 月 9 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
横山陽子、渡辺憲治、賀来宏司、木下直彦、小柴良司、小島健太郎、藤本晃士、佐藤寿行、河合幹夫、上小鶴孝二、宮寄孝子、樋田信幸、中村志郎	当院における炎症性腸疾患妊娠例の検討	第16回日本消化管学会総会学術集会 コアシンポジウム2「炎症性腸疾患：シームレスなアプローチを目指して」	姫路市	2020年2月7日
渡辺憲治	特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為化比較試験 Castle Study：国内多施設共同試験	第16回日本消化管学会総会学術集会 研究助成成果発表2	姫路市	2020年2月7日
上小鶴孝二、渡辺憲治、佐藤寿之、河合幹夫、中村志郎	生物学的製剤二次無効クローン病症例に対する Reset TPN の内視鏡的有効性の検討	第103回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 パネルディスカッション2 下部消化管内視鏡診療の現状と課題	大阪市	2020年1月18日
渡辺憲治	IBD 新時代の潮流：新規薬剤とトータルケア	第10回日本炎症性腸疾患学会学術集会イブニングセミナー1	博多市	2019年11月29日
Yoko Yokoyama, Kenji Watanabe, Shiro Nakamura	Investigations of the characteristics and efficacy of anti-TNF agents for optimizing treatment in pediatric patients with new-onset Crohn's disease	International Session (Symposium) 2, JDDW2019	神戸市	2019年11月21日
渡辺憲治	UC の T2T 戦略"内視鏡的寛解か？組織学的寛解か？"	JDDW2019 ブレックファーストセミナー5	神戸市	2019年11月21日
渡辺憲治、飯田智哉、宮寄孝子、樋田信幸、中村志郎、仲瀬裕志	当院における MEFV 遺伝子関連腸炎小腸病変の検討	第57回日本小腸学会学術集会 主題セッション2 「難治性小腸疾患の診断と治療」	大阪市	2019年11月9日
横山陽子、渡辺憲治、宮寄孝子、中村志郎	高齢者潰瘍性大腸炎患者に対する Cytapheresis の有効性と最適化	第74回日本大腸肛門病学会学術集会、パネルディスカッション2 高齢者に対する炎症性腸疾患の治療	東京都	2019年10月11日
上小鶴孝二、河合幹夫、渡辺憲治	クローン病狭窄性病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有効性と内視鏡的予測因子の検討	第97回 日本消化器内視鏡学会総会、パネルディスカッション5 消化管狭窄に対する内視鏡治療の現状と課題	東京都	2019年6月2日
渡辺憲治	T2T 時代の UC 5-ASA 製剤（経口、局所）の最適化と課題	第113回日本消化器病学会九州支部例会、第107回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	博多市	2019年5月24日
宮寄孝子、樋田信幸、渡辺憲治	Ustekinumab によるクローン病治療の適正化の検討	第105回日本消化器病学会総会 パネルディスカッション7 炎症性腸疾患診療のリアルワールド～生物学的製剤に対するクリニカルクエスチョンを解決する	金沢市	2019年5月9日
K. Watanabe, M. Esaki, S. Oka, F. Shimamoto, M. Nishishita, T. Fukuchi, S. Fujii, F. Hirai, K. Kakimoto, T. Inoue, N. Hida, H. Kashida, K. Takeuchi, N. Ohmiya, M. Saruta, S. Saito, Y. Saito, S. Tanaka, Y. Ajioka, H. Tajiri	The detection with targeted biopsy and characterization of neoplastic lesions by magnifying chromoendoscopy and NBI in surveillance colonoscopy of patients with ulcerative colitis: a sub-analysis of the Navigator Study	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	コペンハーゲン	2019年3月8日
T. Sato, R. Koshiba, K. Kojima, K. Fujimoto, M. Kawai, K. Kamikoduru, Y. Yokoyama, T. Takagawa, M. Uchino, N. Hida, K. Watanabe, H. Miwa, H. Ikeuchi, S. Nakamura	Risk factors and clinical characteristics for Pneumocystis jirovecii pneumonia in Japanese patients with ulcerative colitis	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisation	コペンハーゲン	2019年3月8日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Y. Yokoyama, <u>K. Watanabe</u> , K. Kojima, R. Koshiba, K. Fujimoto, T. Sato, M. Kawai, K. Kamikozuru, T. Takagawa, T. Miyazaki, <u>N. Hida</u> , <u>S. Nakamura</u>	Investigations of the characteristics and efficacy of anti-TNF agents for optimising treatment in paediatric patients with new-onset Crohn's disease	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisatio	コペンハーゲン	2019年3月8日
T. Miyazaki, <u>K. Watanabe</u> , K. Kojima, R. Koshiba, K. Fujimoto, T. Sato, M. Kawai, K. Kamikozuru, T. Takagawa, Y. Yokoyama, <u>N. Hida</u> , <u>S. Nakamura</u>	Endoscopic features for loss of response in patients with Crohn's disease who were treated with infliximab by top-down strategy	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisatio	コペンハーゲン	2019年3月8日
<u>N. Hida</u> , <u>K. Watanabe</u> , T. Miyazaki, Y. Yokoyama, M. Kawai, T. Takagawa, K. Kamikozuru, T. Sato, K. Fujimoto, R. Koshiba, K. Kojima, <u>S. Nakamura</u>	The initial trough concentration at 36 h after starting tacrolimus is important for the personalised medicine strategy in patients with ulcerative colitis	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisatio	コペンハーゲン	2019年3月8日
T. Chohno, <u>K. Watanabe</u> , T. Minagawa, R. Kuwahara, Y. Horio, H. Sasaki, T. Bando, <u>M. Uchino</u> , <u>H. Ikeuchi</u>	Long-term prognosis and predictive factors for surgical treatment of intestinal lesions in patients with Behcet's disease	14th Congress of European Crohn's and Colitis Organisatio	コペンハーゲン	2019年3月8日
Kenji Watanabe, Reo Kawano, Masakazu Nishishita, Fumio Shimamoto, Takumi Fukuchi, <u>Motohiro Esaki</u> , Shiro Oka, Shigehiko Fujii, <u>Fumihito Hirai</u> , Kazuki Kakimoto, Takuya Inoue, Ryoichi Nozaki, Hiroshi Kashida, <u>Ken Takeuchi</u> , <u>Naoki Ohmiya</u> , <u>Masayuki Saruta</u> , Shoichi Saito, Yutaka Saito, <u>Shinji Tanaka</u> , <u>Yoichi Ajioka</u> , Hisao Tajiri	Relevant factors and significant endoscopic findings for detecting UC-associated neoplasms using pancolonoscopic NBI surveillance colonoscopy: a sub-analysis of Navigator Study	2018 Advances in Inflammatory Bowel Diseases	オランダ	2018年12月15日
<u>Kenji Watanabe</u>	Management of colorectal dysplasia in IBD	APDW2018, Recent advances in radiologic and endoscopic monitoring of IBD	ソウル	2018年11月18日
Kenji Watanabe, Reo Kawano, Masakazu Nishishita, Fumio Shimamoto, Takumi Fukuchi, <u>Motohiro Esaki</u> , Shiro Oka, Shigehiko Fujii, <u>Fumihito Hirai</u> , Kazuki Kakimoto, Takuya Inoue, Ryoichi Nozaki, Hiroshi Kashida, <u>Ken Takeuchi</u> , <u>Naoki Ohmiya</u> , <u>Masayuki Saruta</u> , Shoichi Saito, Yutaka Saito, <u>Shinji Tanaka</u> , <u>Yoichi Ajioka</u> , Hisao Tajiri	Relevant Factors and Significant Endoscopic Findings for Detecting UC-Associated Neoplasms Using Pancolonoscopic NBI Surveillance Colonoscopy: A Sub-Analysis of Navigator Study	American College of Gastroenterology 2018 Annual Scientific Meeting	Philadelphia	2018年10月9日
Tetsuya Takagawa, Yoishi Kakuta, Ayako Fujimori, Kentaro Kojima, Ryoji Koshiba, Koji Fujimori, Toshiyuki Sato, Mikio Kawai, Koji Kamikozuru, Yoko Yokoyama, Takako Miyazaki, <u>Nobuyuki Hida</u> , <u>Kenji Watanabe</u> , Kazutoshi Horii, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Shiro Nakamura	Treatment outcome of thiopurines in patients with ulcerative colitis who were heterozygous for NUDT15 R139C (C/T)	FALK Symposium 212, IBD and Liver: East Meets West	京都	2018年9月7日
Yoko Yokoyama, <u>Kenji Watanabe</u> , Koji Kamikozuru, Ayako Fujimori, Toshiyuki Sato, Ryoji Koshiba, Koji Fujimoto, Mikio Kawai, Tetsuya Takagawa, Yuko Kita, Takako Miyazaki, <u>Nobuyuki Hida</u> , <u>Shiro Nakamura</u>	Efficacy and related issues of cytopheresis in elderly patients with ulcerative colitis	FALK Symposium 212, IBD and Liver: East Meets West	京都	2018年9月7日
Ayako Fujimori, <u>Kenji Watanabe</u> , Yoko Yokoyama, Ryoji Koshiba, Koji Fujimoto, Toshiyuki Sato, Mikio Kawai, Tetsuya Takagawa, Takako Miyazaki, <u>Nobuyuki Hida</u> , <u>Shiro Nakamura</u>	Clinical features of Ulcerative Colitis complicated with Autoimmune hepatitis: A Case Series in Japan	6th Annual Meeting of the Asian Organization for Crohn's and Colitis	上海	2018年6月23日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
Yoko Yokoyama, Kenji Watanabe, Koji Kamikozuru, Toshiyuki Sato, Ayako Fujimori, Ryoji Koshiba, Koji Fujimoto, Mikio Kawai, Tetsuya Takagawa, Yuko Kita, Takako Miyazaki, Nobuyuki Hida, Shiro Nakamura	Efficacy and related issues of cytapheresis in elderly patients with ulcerative colitis	6th Annual Meeting of the Asian Organization for Crohn's and Colitis	上海	2018年6月23日
Kenji Watanabe, Masakazu Nishishita, Fumio Shimamoto, Takumi Fukuchi, Motohiro Esaki, Yasuharu Okamoto, Yuji Maehata, Shiro Oka, Shigehiko Fujii, Fumihito Hirai, Toshiyuki Matsui, Kazuki Kakimoto, Toshihiko Okada, Takuya Inoue, Nobuyuki Hida, Ryoichi Nozaki, Toshiharu Sakurai, Hiroshi Kashida, Ken Takeuchi, Naoki Ohmiya, Masayuki Saruta, Shoichi Saito, Yutaka Saito, Shiro Nakamura, Shinji Tanaka, Yasuo Suzuki, Yoichi Ajioka, Hisao Tajiri	Relevant factors and significant endoscopic findings for detecting UC-associated neoplasms using pancolonoscopic NBI surveillance colonoscopy: a sub-analysis of Navigator Study	6th Annual Meeting of the Asian Organization for Crohn's and Colitis	上海	2018年6月23日
Kenji Watanabe, Masakazu Nishishita, Fumio Shimamoto, Takumi Fukuchi, Motohiro Esaki, Yasuharu Okamoto, Yuji Maehata, Shiro Oka, Shigehiko Fujii, Fumihito Hirai, Toshiyuki Matsui, Kazuki Kakimoto, Toshihiko Okada, Takuya Inoue, Nobuyuki Hida, Ryoichi Nozaki, Toshiharu Sakurai, Hiroshi Kashida, Ken Takeuchi, Naoki Ohmiya, Masayuki Saruta, Shoichi Saito, Yutaka Saito, Shiro Nakamura, Shinji Tanaka, Yasuo Suzuki, Yoichi Ajioka, Hisao Tajiri	Relevant factors and significant endoscopic findings for detecting UC-associated neoplasms using pancolonoscopic NBI surveillance colonoscopy: a sub-analysis of Navigator Study	Digestive Disease Week 2018: ASGE Topic Forum: Updates on Lower GI Bleeding and Colitis Surveillance Techniques	ワシントン DC	2018年6月4日
Nobuyuki Hida, Kenji Watanabe, Takako Miyazaki, Yoko Yokoyama, Tetsuya Takagawa, Koji Kamikozuru, Mikio Kawai, Yuko Kita, Toshiyuki Sato, Shiro Nakamura	THE INITIAL TROUGH CONCENTRATION AT 36 HOURS AFTER STARTING TACROLIMUS IS IMPORTANT FOR THE PERSONALIZED MEDICINE STRATEGY IN PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS	Digestive Disease Week 2018	ワシントン DC	2018年6月4日
Yuko Kita, Ayako Fujimori, Ryoji Koshiba, Koji Fujimoto, Toshiyuki Sato, Mikio Kawai, Koji Kamikozuru, Tetsuya Takagawa, Yoko Yokoyama, Takako Miyazaki, Nobuyuki Hida, Kenji Watanabe, Shiro Nakamura	CLINICAL CHARACTERISTICS AND COMPLICATIONS IN HOSPITALISED ELDERLY PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS IN A REAL-WORLD SPECIALISED HOSPITAL	Digestive Disease Week 2018	ワシントン DC	2018年6月4日
横山陽子、渡辺憲治、長瀬和子、上小鶴孝二、小島健太郎、小柴良司、藤本晃士、佐藤寿行、河合幹夫、高川哲也、宮崎孝子、樋田信幸、中村志郎	高齢者潰瘍性大腸炎患者に対する Cytapheresis の最適化とチームアプローチ	第15回 日本消化管学会 総会学術集会 コアシンポジウム2	佐賀	2019年2月2日
宮崎孝子、渡辺憲治、小島健太郎、小柴良司、藤本晃士、佐藤寿行、河合幹夫、上小鶴孝二、高川哲也、横山陽子、樋田信幸、中村志郎	当科におけるクローン病 (CD) に対する ustekinumab の有用性の検討	第15回 日本消化管学会 総会学術集会 ワークショップ1	佐賀	2019年2月1日
渡辺憲治、上小鶴孝二、堀和敏、佐藤寿行、小島健太郎、藤本晃士、佐々木寛文、坂東俊宏、内野基、樋田信幸、池内浩基、中村志郎	サイトメガロウイルス腸炎軽快後に腹痛を認めた1例	第73回日本大腸肛門病学会学術集会 症例検討1 内科 (IBD) - 慢性大腸虚血性病変 (IBD の鑑別として) -	東京	2018年11月10日
渡辺憲治、高川哲也、角田洋一、藤森絢子、小島健太郎、小柴良司、藤本晃士、佐藤寿行、河合幹夫、上小鶴孝二、横山陽子、宮崎孝子、樋田信幸、堀和敏、池内浩基、中村志郎	NUDT15 R139C C/T ヘテロ症例におけるチオプリン製剤を用いた潰瘍性大腸炎の治療成績	第73回日本大腸肛門病学会学術集会 ワークショップ1「潰瘍性大腸炎緩解維持療法の現状」	東京	2018年11月9日
上小鶴孝二、佐藤寿行、樋田信幸、渡辺憲治、中村志郎	IBD 専門施設で経験した Cronkhite-Canada 症候群の3例	第100回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 ワークショップ「知っていて得する内視鏡所見」	大阪	2018年5月26日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
八上佳和、板東具樹、柳生利彦、渡辺憲治	当科の経験例に基づく胃蜂窩織炎の内視鏡所見と鑑別診断の検討	第100回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 ワークショップ「知っていて得する内視鏡所見」	大阪	2018年5月26日
渡辺憲治、湯川知洋、山上博一	クローン病直腸肛門管腫瘍に対する内視鏡的サーベイランスの検討	第95回日本消化器内視鏡学会総会パネルディスカッション-4: 炎症性腸疾患に対する内視鏡診断の役割	東京	2018年5月12日
渡辺憲治、岡 志郎、江崎幹宏	潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における NBI と色素内視鏡の多施設共同前向きランダム化比較試験: Navigator Study	第95回日本消化器内視鏡学会総会シンポジウム2 下部消化管病変における画像強調内視鏡 (Image Enhanced Endoscopy: IEE) の現況と将来	東京	2018年5月11日
宮寄孝子、渡辺憲治、樋田信幸	クローン病インフリキシマブ top-down 治療における臨床課題 の検討	第104回日本消化器病学会総会パネルディスカッション6 炎症性腸疾患に対する抗 TNF- 交代治療薬導入により見えてきた臨床課題	東京	2018年4月21日
K. Watanabe, R. Kawano, M. Nishishita, F. Shimamoto, T. Fukuchi, M. Esaki, Y. Okamoto, Y. Maehata, S. Oka, S. Nishiyama, S. Fujii, F. Hirai, T. Matsui, K. Kakimoto, T. Okada, T. Inoue, N. Hida, R. Nozaki, T. Sakurai, H. Kashida, K. Takeuchi, N. Ohmiya, M. Saruta, S. Saito, Y. Saito, S. Nakamura, S. Tanaka, Y. Suzuki, Y. Ajioka, H. Tajiri	Relevant factors and significant endoscopic findings for detecting colitis-associated neoplasms using pancolonoscopic narrow band imaging surveillance colonoscopy in patients with Ulcerative Colitis: A sub-analysis of prospective randomised trial	13th Congress of ECCO	Vienna	2018年2月16日
Kenji Watanabe	Diagnostic Endoscopy in IBD	TSIBD Annual Meeting, 2017 IBD Update Symposium	Taipei	2017年12月2日
Kenji Watanabe	Therapeutic Endoscopy in IBD	TSIBD Annual Meeting, 2017 IBD Update Symposium	Taipei	2017年12月2日
Naoko Sugita, Kenji Watanabe, Noriko Kamata, Yasuhiro Fujiwara	Clinical and pharmacokinetic investigation of the efficacy of concomitant elemental diet therapy to prevent loss of response to adalimumab in patients with Crohn's disease	AOCC2017	Seoul	2017年6月17日
Watanabe K, Matsumoto T, Motoya S, Hisamatsu T, Nakase H, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Nagahori M, Esaki M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T.	Comparison of Endoscopic Responses to Adalimumab Monotherapy and Combination Therapy with Azathioprine in Patients with Crohn's Disease: A sub-analysis of DIAMOND trial	AOCC2017	Seoul	2017年6月16日
Omori, Teppei; Watanabe, Kenji; Ohmiya, Naoki; Hirai, Fumihito; Nakamura, Masanao; Kagaya, Takashi; Oka, Shiro; Ozeki, Keiji; Kawano, Seiji; Ninomiya, Kazuo; Nakaji, Konosuke; Iimuro, Masaki; Handa, Osamu; Tokuhara, Daisuke; Sagawa, Tamotsu; Wakamatsu, Takahiro; Kato, Shingo; Araki, Akihiro; Koike, Yuji; Hashimoto, Shinichi; Mannami, Tomohiko; Higaki, Shingo; Hayashida, Mari; SAMESHIMA, Yukinori; Hasegawa, Daisuke; Tokushige, Katsutoshi; Matsui, Toshiyuki	A nationwide multicenter study on adverse events associated with a patency capsule: additional survey for the Japanese Association for Capsule Endoscopy-oriented appropriate use survey for patency capsule (J-POP) Study	DDW2017	Chicago	2017年5月7日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
K. Watanabe, T. Matsumoto, S. Motoya, T. Hisamatsu, H. Nakase, N. Yoshimura, T. Ishida, S. Kato, T. Nakagawa, M. Nagahori, M. Esaki, T. Matsui, Y. Naito, T. Kanai, Y. Suzuki, M. Nojima, M. Watanabe, T. Hibi, the DIAMOND Study Group	Comparison of endoscopic responses to adalimumab monotherapy and combination therapy with azathioprine in patients with Crohn's disease: A sub-analysis of DIAMOND trial	DDW2017	Chicago	2017年5月6日
Yu Nishida, Kenji Watanabe, Shuhei Hosomi, Hirokazu Yamagami, Koji Otani, Yasuaki Nagami, Fumio Tanaka, Noriko Kamata, Koichi Taira, Masatsugu Shiba, Kazunari Tominaga, Toshio Watanabe, Yasuhiro Fujiwara	Serum interleukin-6 level predicts short-term clinical response/future outcomes of anti-tumor necrosis factor therapy in patients with ulcerative colitis	DDW2017	Chicago	2017年5月6日
Nakamura, Masanao ; Watanabe, Kenji ; Ohmiya, Naoki ; Hirai, Fumihito ; Omori, Teppei ; Tokuhara, Daisuke ; Nakaji, Konosuke ; Nouda, Sadaharu ; Washio, Ema ; SAMESHIMA, Yukinon ; Mannami, Tomohko ; Maeda, Kohei ; Ninomiya, Kazeo ; Wakamatsu, Takahiro ; Araki, Akihiro ; Ishii, Manabu ; Higaki, Shingo ; Abe, Takashi ; Handa, Osamu ; Kawano, Seiji ; Iwamoto, Maho ; Kato, Shingo ; Kagaya, Takashi ; Goto, Hidemi ; Matsui, Toshiyuki	Prospective, multicenter study for evaluation of the clinical efficacy and safety of PillCam patency capsule in 1,096 cases with suspected small bowel stenosis	DDW2017	Chicago	2017年5月6日
渡辺憲治, 中村志郎, 松井敏幸, 上野文昭	本邦の消化器病学会 IBD 診療ガイドラインと厚労省班会議治療指針の特徴と差異	第8回 JSIBD 学術集会	東京	2017年12月1日
渡辺憲治, 西下正和, 嶋本文雄, 福知工, 江崎幹宏, 岡志郎, 藤井茂彦, 平井郁仁, 井上拓也, 樋田信幸, 野崎良一, 櫻井俊治, 竹内健, 猿田雅之, 斎藤彰一, 斎藤豊, 大宮直木, 味岡洋一, 川野伶緒, 田中信治	潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における NBI 観察と色素内視鏡観察のランダム化比較試験:Navigator Study	第72回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2017年11月11日
渡辺憲治, 大宮直木, 平井郁仁, 松井敏幸	クローン病診断におけるカプセル内視鏡の有用性: J-POP Study 追加検討から	第55回日本小腸学会	京都	2017年10月21日
Kenji Watanabe, Nishishita Masakazu, Shimamoto Fumio	Comparison between newly-developed NBI and panchromoendoscopy for surveillance colonoscopy in patients with longstanding ulcerative colitis; A sub-analysis of Navigator Study	JDDW2017、International Session (Symposium) 9	福岡	2017年10月14日
渡辺憲治, 大宮直木, 松井敏幸	クローン病診断におけるカプセル内視鏡の有用性: J-POP Study 追加検討から	第103回日本消化器病学会総会	東京	2017年4月22日